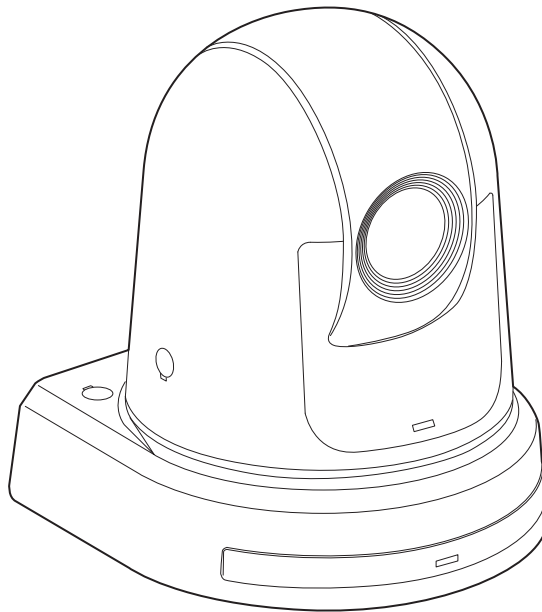


Panasonic®

取扱説明書

4K インテグレートッドカメラ

品番 **AW-UE50W**
品番 **AW-UE50K**
品番 **AW-UE40W**
品番 **AW-UE40K**



HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

HDMI™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

JAPANESE

DVQP2617UA

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Microsoft Edge、Internet Explorer®、ActiveX®およびDirectX® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android™、Chrome™ ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe® および Reader® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- NDI® は映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、改造、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Windows® Internet Explorer® 11 32/64ビット日本語版を Internet Explorer と表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-UE50W	AW-UE50
AW-UE50K	
AW-UE40W	AW-UE40
AW-UE40K	
AW-RP150G	AW-RP150
AW-RP60G	AW-RP60

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Windows Internet Explorer 11 のみ利用可能な機能には、**Windows 1.E.11** マークを付けて記載しています。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

安全上のご注意	4
接地に関するご注意	6
はじめに	7
概要	7
必要なパーソナルコンピューター環境	7
免責について	8
ネットワークに関するお願い	8
特長	9
付属品	10
別売品	10
使用上のお願ひ	10
ワイヤレスリモコン(別売品)について	13
各部の名前とはたらき	14
カメラ部	14
ワイヤレスリモコン: AW-RM50AG (別売品)	22
リモコンIDの設定	24
ネットワークの設定を行う	25
IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う	25
EasyIP Setup Tool Plusを使用して本機の設定を行う	25
初期アカウントを設定する	26
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	27
撮影の基本操作	28
電源の入れ方と切り方	29
電源の入れ方	29
電源の切り方	29
本機を選択	30
撮影モード(シーンファイル)の選択	31
撮影モードの種類	31
選択のしかた	31
撮影する	33
撮影の基本操作で困ったときは	34
より高度な使い方	35
マニュアル撮影	36
フォーカスのマニュアル調整	36
アイリスのマニュアル調整	36
シャッタースピードのマニュアル調整	36
ゲインのマニュアル調整	36
プリセットメモリー	37
ホワイトバランス調整	38
自動調整(AWB: AWB A/AWB B)	38
自動追尾式ホワイト調整(ATW)	39
3200K・5600Kプリセット	39
VAR	39
ブラックバランス調整	40
自動調整	40
黒レベル(マスターペダスタル)調整	41
設定の基本操作	42
ワイヤレスリモコンでの操作	42
カメラメニュー項目	43
カメラメニュー項目の設定	43
トップメニュー(Top Menu)画面	43
Camera画面	44
Brightness 1/2画面	44
Brightness 2/2画面	45
Picture 1/3画面	46
Picture 2/3画面	47
Picture 3/3画面	48
Matrix 1/5画面	49
Matrix 2/5画面	49
Matrix 3/5画面	50
Matrix 4/5画面	50
Matrix 5/5画面	51
Lens画面	51
System 1/2画面	52
System 2/2画面	53
Output 1/5画面	54
Output 2/5画面	55
Output 3/5画面	56
Output 4/5画面	56
Output 5/5画面	57

Pan/Tilt画面	57
Preset 1/2画面	58
Preset 2/2画面	59
Maintenance画面	60
Firmware Version 1/2画面	60
Firmware Version 2/2画面	61
IP Network画面	61
Scene Copy画面	62
Initialize画面	62
Hour Meter 画面	63
HDMI Status画面	64
Error Status 画面	64
カメラメニュー項目一覧	65
Web画面の表示	71
パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示	71
ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]/自動追尾画面[Auto Tracking]の切り替え	73
Web画面へのログイン	73
Web画面からの操作	74
ライブ画面[Live]	74
Web画面からの設定	79
自動追尾画面[Auto Tracking]	79
Web設定画面[Setup]	80
設定状態画面[Setting status]	81
基本画面[Basic]	82
カメラ画面[Image/Audio]	88
連携機能[Linkage]	106
ユーザー管理画面[User mng.]	106
ネットワーク設定画面[Network]	108
メンテナンス画面[Maintenance]	123
タッチパネル搭載PCによるWeb画面表示	127
携帯端末によるWeb画面表示	129
カメラ操作画面[Camera Control]	129
Webカメラ機能	131
画像の調整[Video Proc Amp]	131
カメラ制御[Camera Control]	132
オーディオ入力ミキサー[Audio Input Mixer Properties]	132
リミッターについて	133
リミッターの設定と解除	134
リミッターの基本操作	134
リミッターの設定	134
リミッターの解除	134
リミッターの再設定	134
セーフモード	135
セーフモードについて	135
機器の異常検知について	135
トラブルシューティング	136
保証とアフターサービス(よくお読みください)	143
修理を依頼されるとき	143
定 格	144
さくいん	147

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告

カメラは…

 電源プラグを抜く	■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグおよびPoE+給電のLANケーブルを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき] (そのまま使うと、火災・感電の原因になります。) ⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 販売店にご相談ください。
	■ 回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をとられ、けがの原因になります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
 水場使用禁止	■ 水場で使用しない (火災・感電の原因になります。)
	■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災や感電の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。 ■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒ 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。 ■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。) ■ 使用しない場合は放置せず、カメラや取付金具は必ず撤去する ⇒ 販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (つづき)

ACアダプター、PoE+は…

	■ 電源コード・プラグ、LANケーブルを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] ■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない ■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、発熱により感電・火災の原因になることがあります。) ■ 不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)
 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない (感電・火災の原因になります。)
	■ 電源プラグ、LANケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。 ■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

小さな付属品は…

	■ 本体取付ねじ、金具取付ねじ、落下防止ワイヤー取付ねじ、パンストッパーは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
---	---

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。) ■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60 °C 以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)
---	---

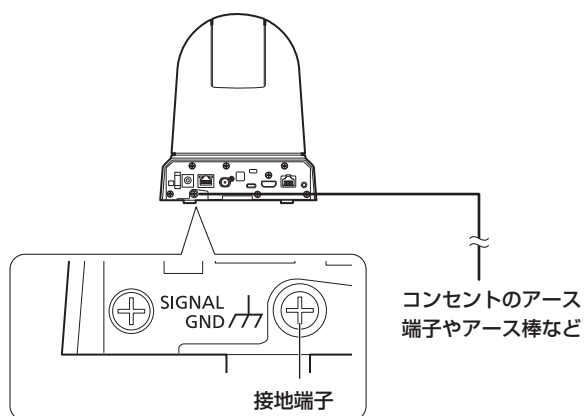
⚠ 注意 (つづき)

	■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。
	■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)
	■ ケーブルなどは引っ張らない (火災や感電の原因になります。)
	■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒点検は販売店にご依頼ください。
 電源プラグ を抜く	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

接地に関するご注意

- 本体の接地端子<SIGNAL GND>から接地を行ってください。



はじめに

概要

- 本製品は、1080/60p、4K/30p フォーマットにも対応した回転台一体型リモートカメラです。
- 光学24倍ズームレンズはもとより、4K対応の1/2.5型MOSセンサーを備え、水平解像度1500本の高画質で臨場感あふれる撮影が可能です。
また、画揺れ補正の機能を備え、幅広い環境下での撮影が可能です。
- 本製品は Vizrt NDI ABのNDI® HX2に準拠しています。
- Pan/Tiltに関しては、Direct Drive方式を採用することで動作音問題を大幅に解消します。
- 本機は、ネットワーク上でのNDI® HX2と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して、映像を送出することが可能です。
- コントローラーを接続すると、IP制御またはシリアル制御によるスムーズなカメラ操作が可能です。
- パーソナルコンピュータと本機をIPネットワーク経由で接続することで、Web画面から本機を操作することができます。
- Panasonic 独自のシリアル通信により、Panasonic 製のカメラのコントローラーとの接続が可能です。
- ご使用の用途や環境に応じて、AW-UE50W/AW-UE40W (ホワイト)、AW-UE50K/AW-UE40K (ブラック)のカラーバリエーションがあります。

必要なパーソナルコンピュータの環境

CPU	Intel® Core™ 第7世代 (Kaby Lake以降) 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 4 GB以上 【Macの場合】 4 GB以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TXまたは1000BASE-T RJ-45コネクター
画像表示機能	解像度：1920×1080ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSと Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 10 Windows® Internet Explorer® 11 64 ビット / 32 ビット Microsoft Edge Google Chrome
	【Mac】 macOS v11.0.1 Safari 14.01 macOS v11.0.1 Google Chrome macOS V10.15 Google Chrome macOS V10.14 Google Chrome
	【iPhone / iPad】 iOS Safari iPadOS
	【Android】 Android OS Google Chrome
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧 するため)

重要

- 必要なパーソナルコンピューターの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Web ブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

〈NOTE〉

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- 対応 OS と Web ブラウザーに関する最新情報については、下記の Web サイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語 : https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/en/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ お客様による撮影映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべての Web ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第三者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも3つを含め8文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。
- 本機を廃棄・譲渡する場合は、ユーザー ID およびパスワードの情報を削除してください。

〈NOTE〉

ユーザー認証について

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ マルチフォーマットに対応

- 以下の複数のフォーマットをカメラメニューまたはWeb操作で切り替えが可能です。

【AW-UE50】

【4Kフォーマット(HDMI出力のみ対応)】

2160/29.97p*¹、2160/25p*¹、2160/24p*¹、
2160/23.98p*¹

【HDフォーマット(SDI対応)】

1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、
1080/29.97p*¹、1080/25p*¹、1080/23.98p*²、
1080/29.97PsF、1080/25PsF、1080/23.98PsF、
1080/24p*¹、1080/23.98p*¹、720/59.94p、
720/50p

【HDフォーマット(HDMI対応)】

1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、
1080/29.97p*¹、1080/25p*¹、1080/23.98p*³、
1080/24p*¹、1080/23.98p*¹、720/59.94p、
720/50p

【AW-UE40】

【4Kフォーマット(HDMI出力のみ対応)】

2160/29.97p*¹、2160/25p*¹、2160/24p*¹、
2160/23.98p*¹

【HDフォーマット(HDMI対応)】

1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、
1080/29.97p*¹、1080/25p*¹、1080/24p*¹、
1080/23.98p*¹、720/59.94p、720/50p

*¹ Native出力

*² OVER 59.94i出力(ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*³ OVER 59.94p出力(ご使用になるモニターは、59.94pの信号として認識されます)

■ 1/2.5型4K MOSセンサー・高性能24倍ズームレンズを採用

- 最新の1/2.5型4K MOSセンサーとDSP(Digital Signal Processor)を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学24倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感あふれる映像が得られます。また、iズームにより画質を保ちながら36倍(4Kモード時は28倍)までのズームが可能です。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチャー(DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影するデジタルノイズリダクション(DNR)を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。
- 水平74.1°の広角撮影が可能なため、限られた設置スペースでも全体を広く映すことができます。

■ 高性能回転台との一体型で快適操作

- 180°/sの高速動作。
- パン範囲: ±175°、チルト範囲: -30°~90°の広い旋回角度。
- 騒音レベルNC25以下の静かな動作。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能。
(コントローラーによって、使用できるプリセットメモリー数は異なります。)

■ 光学式画揺れ補正(O.I.S.)対応

- 本機の揺れを検知すると画揺れ補正を行い、映像の揺れを軽減します。画質劣化の少ない光学式画揺れ補正により、高精度な振動対策が可能です。

■ IP映像出力機能を搭載

- 画像圧縮、IP伝送LSIを搭載。フルHD画質で、最大毎秒60フレームの出力ができます。
- IPコントロールと共に用いることで、遠隔地からのカメラ制御など、幅広い用途での使用が可能となります。

■ 現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)からシリアル制御で最大5台までの本機の操作が可能。
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

〈NOTE〉

- コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
日本語: https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
英語: <https://pro-av.panasonic.net/en/>
本機とコントローラー間の最大距離は1000mです。(シリアル制御時)
映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。

■ 回転台・カメラ・レンズ一体型で、システム構築が容易

- カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、簡単にシステム構築が行えます。

■ 簡単操作なワイヤレスリモコン(別売品)が使用可能

- 本機を最大4台まで操作できるワイヤレスリモコンを使用できます。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

■ かんたん接続&設置で柔軟なカメラレイアウト

- IP制御と軽量の本体、ひとりで施工(屋内限定)できるターンロック機構で優れた接続性・設置性を実現しました。

〈NOTE〉

- 本機は屋内専用です。
屋外での使用はできませんのでご注意ください。

■ 4K対応や多彩なI/Fを搭載しながらも、設置面積は従来機種と同じ

- 従来機種と同様にコンパクトな設置性を維持しています。

■ IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)からIP接続により、最大200台までの本機の操作が可能です。
(LANケーブルの最大長は、100mまでです。)
- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→26ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

■ PoE+*⁴ 搭載によりカメラ電源工事が不要

- PoE+規格対応のネットワーク機器(IEEE 802.3atに準拠)*⁵に接続することによって、カメラ電源工事が不要となります。
ソフト認証(LLDP)にも対応していますが、ネットワーク機器(IEEE 802.3atに準拠)*⁵の設定が必要となる場合があります。

〈NOTE〉

- ACアダプターとPoE+給電の両方を接続した場合は、ACアダプターが優先となります。両方を接続した状態で、PoEソフト認証が完了する前に、ACアダプターを抜くと自動で再起動となり、映像出力が途切れます。
- PoE+給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5eより低いカテゴリのケーブルをご使用されますと給電能力が低下するおそれがあります。

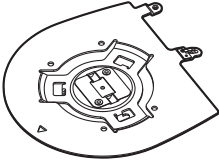
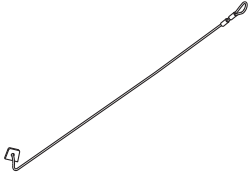
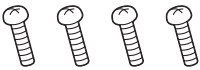
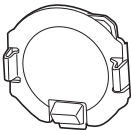
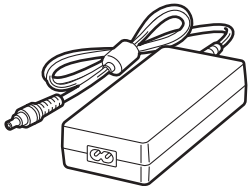
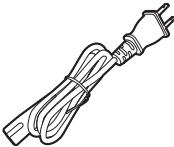
*⁴ Power over Ethernet Plusの略です。以降「PoE+」と表記いたします。

*⁵ 動作確認済みのPoE+給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品

付属品をご確認ください。

・電源コードキャップ(付属している場合)および包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

設置面用 取付金具 (吊り下げ・据え置き) (1) 	本体取付ねじ(平ワッシャー／ スプリングワッシャー付) M3×6 mm (1) 	落下防止ワイヤー (1) 落下防止ワイヤー取付ねじ (1) (本体に装着済み) 	金具取付ねじ(バインド頭) M4×10 mm (4) 
レンズキャップ(1) (本体に装着済み) 	パンストッパー (1) (本体に装着済み) 	ACアダプター (1) 	ACコード (1) 

別売品

- ワイヤレスリモコン AW-RM50AG(単3乾電池×2、電池は別売)
- 天井直付金具 WV-Q105A

〈NOTE〉

・別売品については、カタログをご覧ください。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用上のお願い

■ 油煙やほこりの多い場所では、本機を使わないでください

微粒子などが製品内部に入ると、性能が劣化するおそれがあります。特に舞台演出用のスモークなどを使用した環境では、お気をつけください。

■ 回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

■ お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

■ 本機を手で持つときは、底面を両手で持ってください

レンズ部や側面を持つとモーターに負荷がかかり、故障の原因になります。

■ カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

■ レンズ／回転台について

レンズやパン・チルト回転台などは、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

■ 撮影は適正な照明で

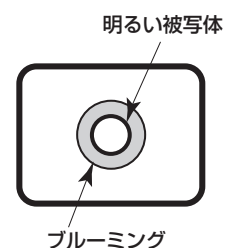
美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。
(推奨温度35℃以下)
設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

■ 強い光にカメラを向けないでください

MOSセンサーの一部分にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)を生じることがあります。



■ 高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

■ オート機能使用のときは

- ・カメラメニューなどの「Scene」では、一部の項目で初期設定がオートとなっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行う場合は、必要に応じてオート設定からマニュアル設定に切り替えてください。
- ・蛍光灯下のATW(自動追尾式ホワイト調整)機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- ・場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。

■ ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズーミングしてください。(ただし、被写体までの距離が1.2 mよりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズーミングすると、フォーカスがずれる場合があります。

■ 電源を入れたときのレンズ動作について

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスが自動的に調整動作を行います。

■ 本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。

詳細については「セーフモードについて」(→135ページ)を参照してください。

■ HDMIについて

本機はHDMI認証機器ですが、接続されるHDMI機器によってはまれに出画しない場合があります。

■ カラーバーについて

カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。

■ H.264/H.265特許プールライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること
- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること

詳細についてはMPEG LA, LLCのWebサイト(<http://www.mpegla.com>)を参照してください。

■ PoE+給電について

本機は、IEEE 802.3atに準拠しています。

PoE+給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE+インジェクターをご使用ください。

ソフト認証(LLDP)は、IEEE 802.3atに準拠していますが、ネットワーク機器の設定が必要となる場合があります。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE+インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

本機に電源スイッチはありません。

ケーブルを抜き差しする場合には、ACアダプターの電源プラグを抜いて、あるいはPoE+給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。

使わなくなったら放置せず、カメラや取付金具は必ず撤去してください。

■ 光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”です。

光学系には絶対に触れないでください。

万一、ほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、撮像素子を傷める原因となります。

■ 使用するパーソナルコンピュータについて

パーソナルコンピュータのモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

■ IPアドレスの設定について

1台のカメラに対して、複数のパーソナルコンピュータ上のIP簡単設定ソフトウェアを操作して、同時にIPアドレスを設定しないでください。

IPアドレスの設定がわからなくなる原因となります。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 電源ON時は、レンズキャップとパンストッパーを外す

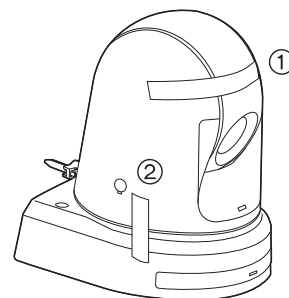
電源をONにするときは、必ずレンズキャップとパンストッパーを外してください。

エラーになった場合は、レンズキャップとパンストッパーを外した後、再度電源をONにしてください。

■ 輸送について

カメラ部が非常に回転しやすい構造のため、輸送時はカメラ部が回転しないように固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。

- ① レンズを下に向け、レンズ部とカメラヘッド部をテープで固定する。
- ② カメラヘッド部と台座を複数箇所テープで固定する。



- ・レンズキャップとパンストッパーは、輸送時のカメラ部を保証するものではありません。輸送時は、必ずテープで固定してください。

■ 移動について

- ・持ち運び場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。
- ・移動するときは、接続ケーブル類をはずしてください。
- ・移動するときは、システム電源を切ってください。
- ・衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- ・本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いください。

■ 設置場所について

揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。

強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に設置してください。

強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

本機はDirect Drive方式の採用とパナソニックの独自技術により、高いパン/チルト精度と静粛性を実現しています。

Direct Drive方式の性能を最大限に活用するため、剛性が十分に確保されている、揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、本機の性能劣化や故障の原因になることがあります。

剛性が不十分な場所にカメラを設置した場合、パン/チルトの制御特性に影響を与えて動作が不安定になることがあります。

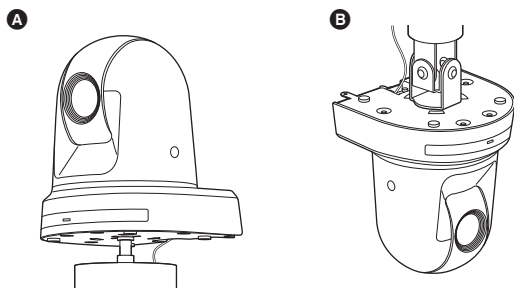
・下図のような環境では、パン/チルトの動作異音や動作エラーが発生する原因になりますのでご注意ください。

設置後にパン/チルト動作が不安定になることでお困りの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

<性能劣化や不具合の可能性がある設置事例>

A 径が小さい円筒支柱構造への1点固定

B 可動部構造への1点固定



■ 本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License(GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記のWebサイトをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

個人情報の保護について

システムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ワイヤレスリモコン(別売品)について

本機は、別売のワイヤレスリモコン(品番: AW-RM50AG)から遠隔操作することができます。

ワイヤレスリモコンは、以下の内容をご確認のうえ使用ください。

●本機のワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)に向けて10 m以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。

●右の<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>を参照してください。

●ワイヤレスリモコン信号の受光角度が大きくなると、受光距離が短くなります。

受光感度は、ワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)それぞれの位置の正面から40°で約半分になります。

特に背面方向からの操作では、動作しにくくなる、もしくは動作しなくなることがあります。

●本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。

必ず以下の方法で設置、使用してください。

- ・蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に入らないようにする。
- ・蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する。

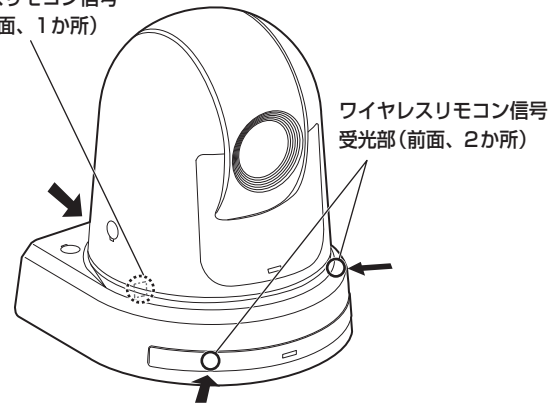
●ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても約10分間は操作対象の選択(最後に押したCAMERA<1>～<4>ボタン)を記憶していますが、さらに時間がたつとCAMERA<1>ボタンを押した状態にリセットされます。

<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>

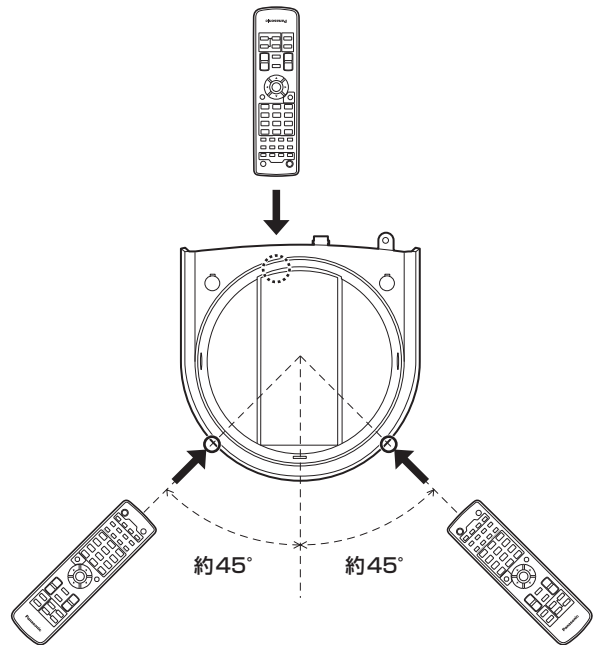
<NOTE>

- ・下図の矢印は、ワイヤレスリモコン信号の受光方向を示しています。

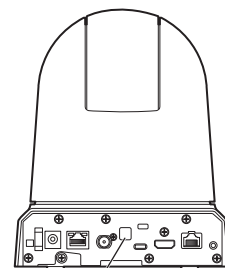
ワイヤレスリモコン信号
受光部(背面、1か所)



・天面図



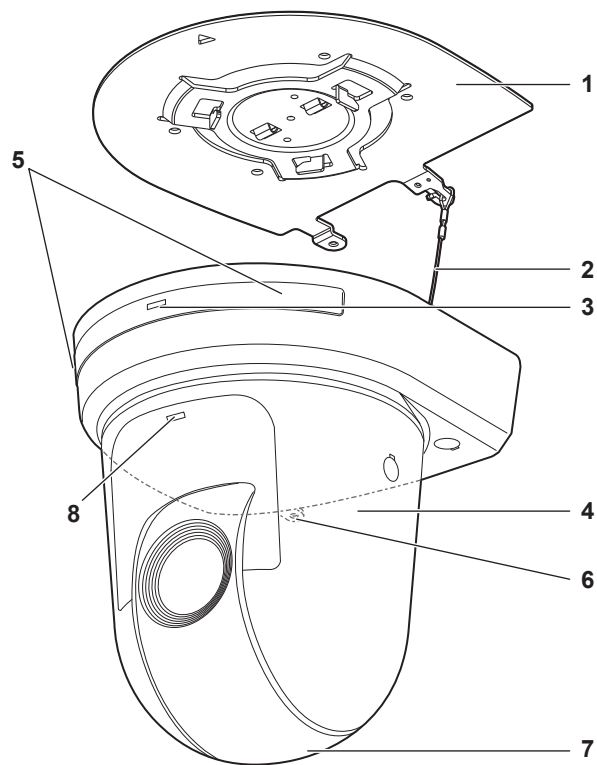
・背面図



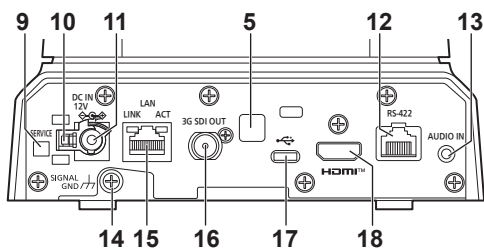
ワイヤレスリモコン信号受光部

各部の名前とはたらき

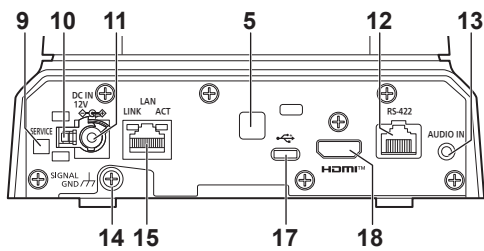
カメラ部



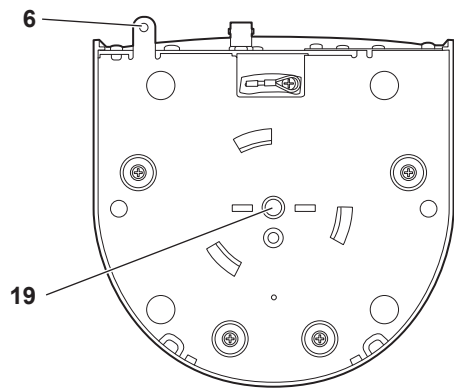
背面パネル AW-UE50



背面パネル AW-UE40



底面パネル



1.設置面用取付金具(付属品)

設置面に取り付けて、カメラ本体を取り付けます。

2.落下防止ワイヤー

カメラ本体の底面にねじ止めしてあります。ワイヤーの輪の部分を取付金具のフック部に取り付けます。

3.状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色	点灯	待機 (Standby) 状態
	2回点滅	電源ON時に、ワイヤレスリモコン(別売品)からリモコンIDが異なる信号を受信しているとき
緑色	点灯	電源ON時
	2回点滅	電源ON時に、ワイヤレスリモコン(別売品)からリモコンIDが一致する信号を受信しているとき
	高速で点滅	初期化処理が完了したとき
赤色	点灯	機器異常時
	低速で点滅	ファームウェアアップデート中
	高速で点滅	PoE+ソフトの認証エラーが発生したとき

4.パンヘッド部

左右方向に回転します。

5.ワイヤレスリモコン信号受光部

カメラ台座部の前面および後面の3か所にあります。

6.カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部の底板にあります。

7.カメラヘッド部

上下方向に回転します。

8.タリーランプ

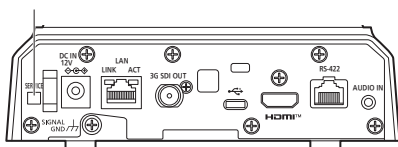
タリーランプ使用設定が「ON」に設定されている場合のみコントロールの制御で点灯／消灯します。タリーランプは赤色／緑色／青色／オレンジ色の4色あります。

赤色	点灯	赤タリー信号を受信しているとき 自動追尾の動作中 ([Tally Color] で [Red] を指定している時)
	1回点滅	Pan/Tiltのリミットを設定したとき
	2回点滅	Pan/Tiltのリミットを解除したとき
	3回点滅	本機の起動が完了したとき
	点滅	自動追尾中で、追尾対象を検出できていないとき ([Tally Color] で [Red] を指定している時)
緑色	点灯	緑タリー信号を受信しているとき 自動追尾の動作中 ([Tally Color] で [Green] を指定している時)
	点滅	自動追尾中で、追尾対象を検出できていないとき ([Tally Color] で [Green] を指定している時)
青色	点灯	USB Video Class/USB Audio Classの動作中
オレンジ色	点灯	自動追尾の動作中 ([Tally Color] で [Amber] を指定している時)
	点滅	自動追尾中で、追尾対象を検出できていないとき ([Tally Color] で [Amber] を指定している時)

9. サービススイッチ<SERVICE>

スイッチの設定は本機の電源を入れる前に行ってください。

サービススイッチ



機能		工場出荷時の設定
SW1	初期化用SW	OFF
SW2	〔「初期化1」および「初期化2」の説明参照〕	OFF

(SW1/SW2の両SWを用いて、初期化1および初期化2を実施します)

初期化1

- Network接続時のユーザー認証設定およびホスト認証設定をリセットします。
(登録済みのユーザー情報(ID/パスワード)およびホスト情報(IPアドレス)をすべて削除します)
- サービススイッチを以下の設定にした状態で、本機の電源を入れてください。



〈NOTE〉

- 初期化が終わると本機前面の状態表示ランプが緑色に点滅します。
サービススイッチを元の状態(SW1とSW2の両方がOFF)に戻して、再起動を実施してください。

初期化2

- 本機を購入したときの状態にリセットします。(カメラメニューの設定値、およびNetwork設定値をすべてリセットします)
- サービススイッチを以下の設定にした状態で、本機の電源を入れてください。



〈NOTE〉

- 初期化が終わると本機前面の状態表示ランプが緑色に点滅します。
サービススイッチを元の状態(SW1とSW2の両方がOFF)に戻して、再起動を実施してください。

10. ケーブル抜け止めクランプ

DC IN端子に接続したケーブルをクランプして、ケーブル抜けを防止します。

11. DC IN端子<12V IN 12V IN 12V IN>

付属のACアダプターを接続し、DC 12 Vを供給します。

- ACアダプターについて
必ず付属のACアダプターをご使用ください。

12. RS-422端子<RS-422>

外部機器から本機をシリアル制御する際に接続するRS-422端子(RJ-45)です。接続には、以下のケーブルを使用してください。
また、R-TALLY信号(2-pin)をGND(1-pin)とショートすると、本機のカメラヘッド部にあるタリーランプ(赤色)を点灯させることができます。

〈NOTE〉

- RS-422端子にはPoEケーブルを接続しないでください。
- R_TALLY_IN信号には電圧を加えないでください。

• [AW-UE50]

本機で受信した赤タリーまたは緑タリー信号のON/OFFを7pin、8pinに出力することができます。

[AW-UE40]

本機で受信した赤タリー信号のON/OFFを7pinに出力することができます。

出力は接点出力で、通常時は「OPEN」、出力時は「MAKE」になります。(→57ページ)

LANケーブル*1(カテゴリー5e以上、STP、ストレートケーブル)
最大1000 m

*1 STP(Shielded Twisted Pair)をご使用ください。

[AW-UE50]



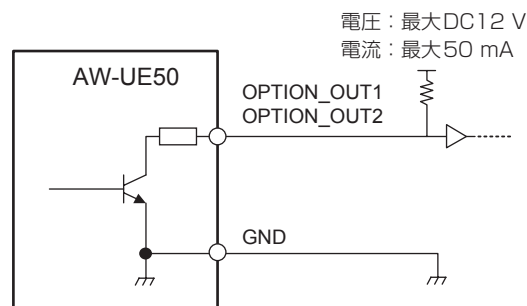
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	R_TALLY_IN	6	RXD+
3	RXD-	7	OPTION_OUT1
4	TXD-	8	OPTION_OUT2

[AW-UE40]

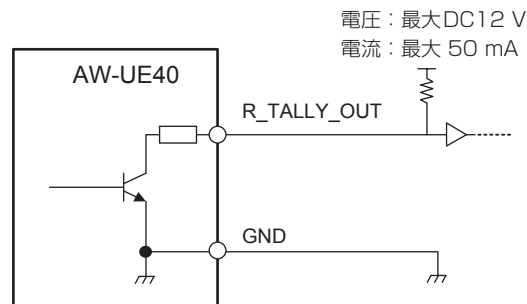


ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	R_TALLY_IN	6	RXD+
3	RXD-	7	R_TALLY_OUT
4	TXD-	8	—

■ OPTION_OUT1、OPTION_OUT2端子接続例



■ R_TALLY_OUT端子接続例



〈NOTE〉

- [Auto Tracking Tally]がOnで、[Tally Color]が[Amber]または[Red]の時、タリーLEDが赤色またはオレンジ色に点灯している時には、R_TALLY_OUTがONの信号が出力されます。

13. 音声入力端子<AUDIO IN>

外部音声(マイク、ライン)の入力用端子です。

14. 接地端子

コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地を行ってください。(→6ページ)

15. IP制御用LAN端子<LAN LINK/ACT>

外部機器から本機をIP制御する際に接続するLAN端子(RJ-45)です。接続には、LANケーブル*¹ (カテゴリー5e以上、STP、最大100 m)を使用してください。

*¹ STP (Shielded Twisted Pair) をご使用ください。

16. [AW-UE50]

3G SDI OUT 端子<3G SDI OUT>

SDI映像信号の出力端子です。出力信号フォーマットにより、3G-SDIまたは1.5G-SDI信号が出力されます。

17. USB 端子*²(Type Cコネクタ)

本機とパーソナルコンピュータをUSB Video Classで接続することにより、本機をWebカメラとして使用することができます。

*² USB2.0 DEVICE、USBバスパワー機能なし

18. HDMI 端子<HDMI>

HDMI映像出力端子です。

19. カメラ取り付け用ねじ穴

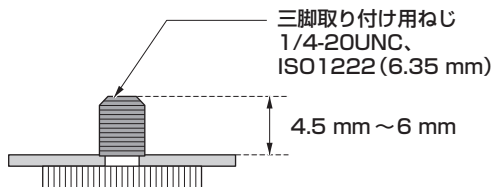
(ねじ : 1/4-20UNC、ISO1222 (6.35 mm))

三脚などに固定する場合に、このねじ穴を使用します。

三脚は、段差のない平面に設置します。

三脚取り付け用ねじを手でしっかり締め付けてください。

三脚取り付け用ねじは、次の規格のものを使用してください。



■ 各映像フォーマットの出力条件

[AW-UE50]

Frequency	System Format	HDMI	3G SDI OUT
59.94Hz	2160/29.97p	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p	1080/29.97p
	1080/29.97PsF	1080/29.97p	1080/29.97PsF
	1080/23.98p over 59.94i	1080/23.98p over 59.94p	1080/23.98p over 59.94i
	720/59.94p	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	2160/25p	1080/25p
	1080/50p	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/50i	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p	1080/25p
	1080/25PsF	1080/25p	1080/25PsF
	720/50p	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98PsF	1080/23.98p	1080/23.98PsF

[AW-UE40]

Frequency	System Format	HDMI
59.94Hz	2160/29.97p	2160/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p
	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	2160/25p
	1080/50p	1080/50p
	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

■ IP映像伝送出力 (多ch表示)

・「Streaming mode」が「H.265」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360	—	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	60fps 30fps	60fps 30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	50fps 25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	24fps	24fps	—	—	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

- ・ 解像度が640×360の場合、60fpsと50fpsは選択できません。
- ・ システム周波数が24/23.98Hzの場合、H.265の解像度は1920×1080のみになります。
- ・ システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

・「Streaming mode」が「SRT(H.265)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	1920×1080 1280×720	—	—	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	60fps 30fps	—	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	—	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	—	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	—	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps

- ・ SRT(H.265)の配信モード(Transmission priority)は選択できません。
- ・ システム周波数が24/23.98Hzの場合、SRT(H.265)モードは選択できません。
- ・ システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

各部の名前とはたらき (つづき)

・「Streaming mode」が「H.264」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	—	—	1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1280×720 640×360 320×180	1280×720 640×360 320×180	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	—	—	60fps 30fps 15fps 5fps	60fps 30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps 12.5fps 5fps	50fps 25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	24fps	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

- ・ 解像度が640×360および320×180の場合、60fpsと50fpsは選択できません。
- ・ システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。
- ・ [Profile type]で[Main profile]または[Baseline profile]を選択している場合、640×360および320×160は選択できません。

・「Streaming mode」が「SRT(H.264)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	—	—	1920×1080 1280×720	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	—	—	60fps 30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps

- ・ SRT(H.264)の配信モード(Transmission priority)は選択できません。
- ・ システム周波数が24/23.98Hzの場合、SRT(H.264)モードは選択できません。
- ・ システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

各部の名前とはたらき (つづき)

・「Streaming mode」が「RTMP」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	—	—	1920×1080 1280×720	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	—	—	60fps 30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	—	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

・システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

・「Streaming mode」が「MPEG2-TS over UDP」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
フレームレート	解像度	—	—	1920×1080 1280×720	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180	640×360 320×180
	システム周波数 59.94Hz	—	—	60fps 30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps 15fps 5fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps 12.5fps 5fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	—	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

・システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

各部の名前とはたらき（つづき）

・「Streaming mode」が「NDI|HX V2」のとき

設定		NDI HX	JPEG(1)
解像度		1920×1080 1280×720	1280×720 640×360 320×180
フレームレート	システム周波数 59.94Hz	60fps 30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps

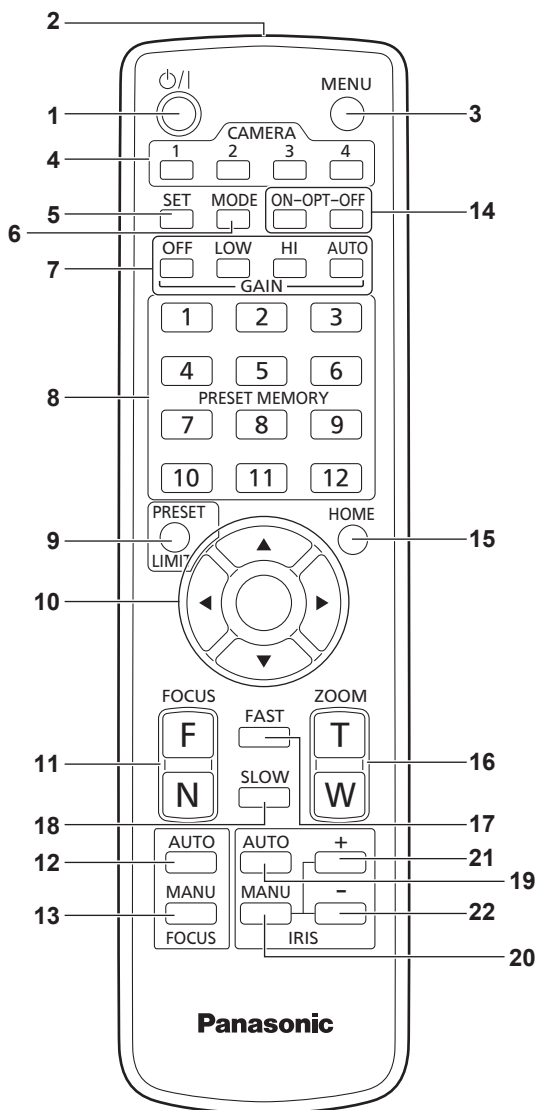
- ・システム周波数が24/23.98Hzの場合、NDI|HX V2モードは選択できません。
- ・システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

・「Streaming mode」が「USB」のとき

設定		MJPEG	YUV
解像度		1920×1080 1280×720 640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 59.94Hz	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps
	システム周波数 50Hz	25fps 12.5fps	25fps 12.5fps
	システム周波数 25Hz	5fps	5fps

- ・システム周波数が24/23.98Hzの場合、USBモードは選択できません。
- ・システムフォーマットが1080/23.98p(59.94i)のときは、USB出力ができません。(AW-UE50のみ)

ワイヤレスリモコン: AW-RM50AG (別売品)



1.ON/STANDBY ボタン< 〇/| >

2秒間押すごとに、本機の電源ONと待機状態(Standby)を切り替えます。

2.信号発信部

3.MENU ボタン<MENU>

2秒間押すごとに、本機のカメラメニューの表示とカメラメニューの終了を切り替えます。
カメラメニューを表示中に、このボタンを短く(約2秒未満)押すと、設定変更をキャンセルします。
また、このボタンとPRESET、LIMIT ボタン<PRESET/LIMIT>、パン・チルトボタン<▲> <▼> <◀> <▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。
詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→134ページ)を参照してください。

4.CAMERA<1> ~ <4> ボタン

操作する本機を選択します。
一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

5.SET ボタン<SET>

ホワイトバランス調整で「AWB A」メモリまたは「AWB B」メモリを選択しているとき、このボタンを約2秒間押すと、ブラックバランスを自動調整して、選択中のメモリに登録します。
このボタンを約2秒未満で押すと、ホワイトバランスを自動調整します。

6.MODE ボタン<MODE>

本機から出力する映像信号を切り替えます。
このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

<NOTE>

- [Audio]の設定が[On]の場合、カラーバーを表示しているときにテストサウンド(1 kHz)を出力します。外部機器の音量にご注意ください。

7.GAIN ボタン<OFF> <LOW> <HI> <AUTO>

ゲインを設定します。
<OFF>、<LOW>、<HI> ボタンで、ゲインアップを3段階で設定できます。
<LOW>は9 dB、<HI>は18 dBに設定されます。
また、<AUTO>ボタンを押すとAGC機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。
AGC機能の最大ゲインは、カメラメニューで設定できます。

8.PRESET MEMORY<1> ~ <12> ボタン

本機のプリセットメモリーNo.1 ~ No.12に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。
ワイヤレスリモコンからプリセットメモリーNo.13以上を呼び出すことはできません。

9.PRESET、LIMIT ボタン<PRESET/LIMIT>

プリセットメモリーの登録やリミッターの設定・解除をします。
このボタンを押しながらPRESET MEMORY ボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。
PRESET MEMORY ボタンの<1> ~ <12>は、本機のプリセットメモリーNo.1 ~ No.12に対応しています。
また、このボタンとMENU ボタン<MENU>、パン・チルトボタン<▲> <▼> <◀> <▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。
詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→134ページ)を参照してください。

10.パン・チルトボタン/メニュー操作ボタン

<▲> <▼> <◀> <▶> <○>

- 1) 本機の向きを変えます。
<▲> <▼> ボタンで上下方向(チルト)、<◀> <▶> ボタンで左右方向(パン)に動きます。
このとき<○> ボタンは、機能しません。
<▲>または<▼> ボタンと、<◀>または<▶> ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。
- 2) 本機がカメラメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。
<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで項目の選択を行います。
選択した項目にサブメニューがあるときは、<○> ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて<○> ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。
<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで設定値の変更を行った後<○> ボタンを押すと、点滅が止まり設定が確定されます。
通常のメニュー項目は、点滅表示状態で設定値を変更すると、すぐに設定が反映されます。
また、点滅表示状態でMENU ボタン<MENU>を短く(約2秒未満)押すと、変更がキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

<NOTE>

- 誤動作を防止するため、一部のメニュー項目([Scene]、[Format]、[Frequency])では、点滅表示状態で設定値を変更しても、すぐには設定が反映されません。
<○> ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されます。
- 一部のメニュー項目では、設定を確定する前に確認画面が表示されます。

11. FOCUS ボタン<F> <N>

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

<F> ボタンで遠く (Far) へ、<N> ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

12. FOCUS AUTO ボタン<FOCUS AUTO>

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

13. FOCUS MANU ボタン<FOCUS MANU>

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン (<F>、<N>) で行います。

14. OPT ボタン<ON> <OFF>

2秒間長押しすると、Auto Tracking ModeのON/OFFを切り替えます。

15. HOME ボタン<HOME>

2秒間押しすると、本機の向き (パン・チルト) を基準位置に戻します。

16. ZOOM ボタン<T> <W>

レンズのズームを調整します。

<T> ボタンで望遠 (Tele) へ、<W> ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

17. FAST ボタン<FAST>

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。

短押しで通常的高速動作、長押しすると、速度をさらに高速に設定することができます。短押しで通常的高速動作に戻ります。

<NOTE>

- ・プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度は、カメラメニューの「Preset Speed」項目で変更できます。

18. SLOW ボタン<SLOW>

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。

短押しで通常の低速動作、長押しすると、速度をさらに低速に設定することができます。短押しで通常の低速動作に戻ります。

19. IRIS AUTO ボタン<IRIS AUTO>

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

20. IRIS MANU ボタン<IRIS MANU>

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、<IRIS +> ボタンと<IRIS -> ボタンで行います。

21. IRIS + ボタン<IRIS +>

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

22. IRIS - ボタン<IRIS ->

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

リモコンIDの設定

ワイヤレスリモコン（別売品）で、本機を最大4台まで操作することができます。
ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

- ワイヤレスリモコンから複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコンIDに設定してください。
- 本機を1台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコンIDを「CAM1」に設定してください。

■ 設定方法

本機のOSDメニューの「System 1/2」画面の「Wireless ID」にて、「CAM1」～「CAM4」を設定してください。

System 1/2

⇨ Frequency 59.94Hz

Format 1080/59.94p

Wireless Control Enable

Wireless ID CAM1

USB

USB Mode Off

USB Auto Active On

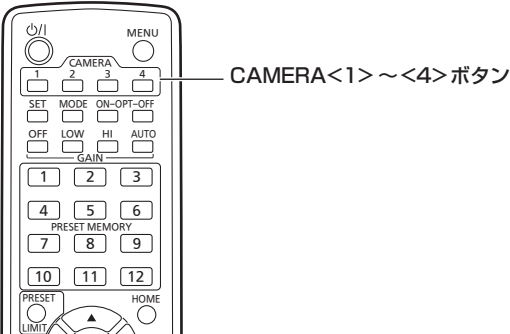
USB Auto Standby Off

Video Conference Mode Off

Return

Wireless ID [CAM1、CAM2、CAM3、CAM4]

リモコンID (CAM1～CAM4) を設定します。
本設定の「CAM1」～「CAM4」がワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>ボタンに対応しています。
(出荷時は、「CAM1」に設定されています。)



■ OSDメニューにおける設置方法（「据え置き」または「吊り下げ」）の設定

本機のOSDメニューの[Pan/Tilt]画面の[Install Position]にて、「据え置き」または「吊り下げ」を設定してください。

Pan/Tilt

⇨ Install Position Desktop

P/T Speed Mode Normal(60deg/s)

Speed With Zoom Position On

Focus Adjust With PTZ. Off

Privacy Mode Off

Power On Position Standby

Preset Number 001

Return

Install Position [Desktop、Hanging]

本機の設置方法を[Desktop]（据え置き）または[Hanging]（吊り下げ）から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

<NOTE>

- [Hanging]（吊り下げ）を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

ネットワークの設定を行う

IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、IP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。

IP簡単設定ソフトウェア(EasyIPSetup.exe)は、以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語 : https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語 : <https://pro-av.panasonic.net/en/>

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、設定メニューのネットワーク設定画面[Network]で個別に本機とパーソナルコンピュータの設定を行います。(→108ページ)

〈NOTE〉

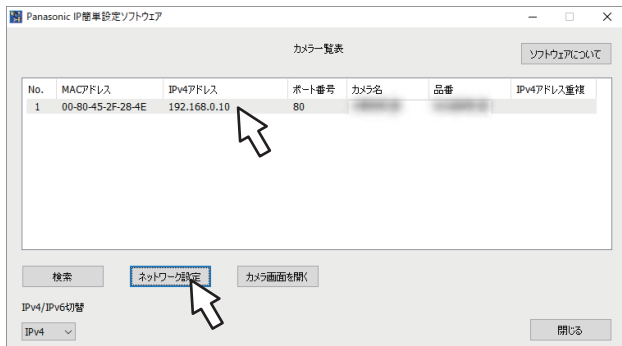
- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。
IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 1台のカメラに対して複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。
また、リモートカメラコントローラーAW-RP150またはAW-RP60の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。
IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラのネットワーク設定ができなくなります。([Easy IP Setup accommodate period]の設定が[20min]の場合 → 110ページ)
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- IP簡単設定ソフトウェアはVer.4.25R00以降をご利用ください。

1.IP簡単設定ソフトウェアを起動する

2.[検索] ボタンを押す



3.設定するカメラのMACアドレス／IPv4アドレスをクリックし、[ネットワーク設定] ボタンをクリックする



〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの[検索] ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラの[IPv4アドレス重複]欄に、重複するカメラNo.が表示されます。
- [カメラ画面を開く] ボタンをクリックすると、選択したカメラのLive画面が表示されます。
- 本機は、IPv4/IPv6切り替え機能に対応しています。

4.ネットワークの各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックする



〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、IP簡単設定ソフトウェアの[DNS]を[Auto]に設定することができます。
- [保存] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約1分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。
- ファイアウォール(ソフト含む)を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

EasyIP Setup Tool Plusを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定・カメラ映像表示・ファームウェアアップデートをEasyIP Setup Tool Plusを使って行うことができます。バージョンアップが可能なPTZカメラを判別し、ファームウェアのダウンロードからバージョンアップまでアプリがすべて行います。EasyIP Setup Tool Plusは以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語 : https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語 : <https://pro-av.panasonic.net/en/>

詳細はEasyIP Setup Tool PlusのHelpページで確認することができます。

初期アカウントを設定する

1. 初期アカウントを設定する

初期状態でWeb画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。（→71ページ）

〈NOTE〉

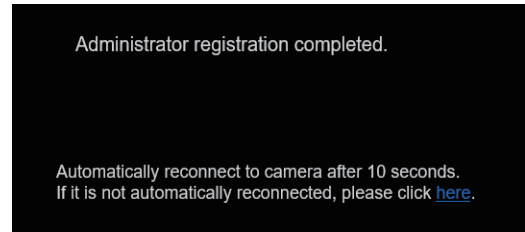
- 第3者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて8文字以上で設定してください。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号(!\$%&'()*+,-./:;@[]^_`~-)
- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のものと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は[Back]ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[Continue]をクリックして設定を完了してください。
- 設定したアカウント情報を忘れた場合、サービススイッチの初期化用SWを使用してネットワーク接続用のユーザー情報をリセットしてください。（→15ページ）

2. 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。

完了画面表示後10秒程度経過すると自動でライブ画面[Live]が表示されます。10秒以上経過してもライブ画面[Live]に移行しない場合は、“please click here”のリンクからライブ画面[Live]に手動で移動してください。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。

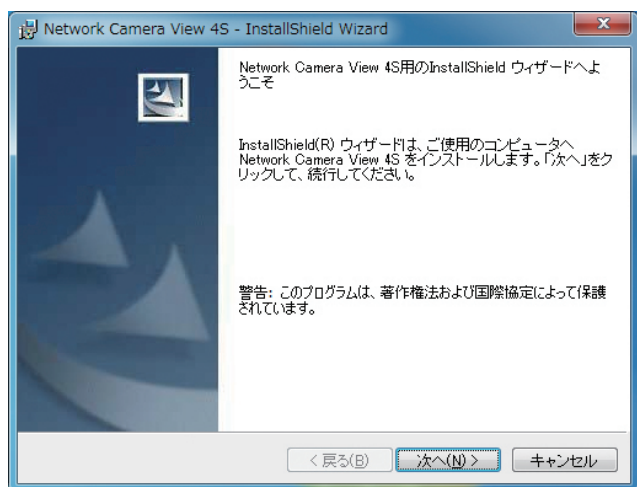


〈NOTE〉

- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機のIP映像をWindows Internet Explorer 11で表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX®)をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



〈NOTE〉

- お買い上げ時は、[Automatic installation of viewer software]が[On]に設定されており、本機から直接インストールすることができます。Webブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、142ページを参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータからライブ画面[Live]を表示すると、表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。(Windows Internet Explorer 11 使用時のみ)
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、[Maintenance]画面の[Product info.] (124ページ) で確認できます。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows上で[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]を選択し、「Network Camera View 4S」を削除してください。

撮影の基本操作

1. 被写体の照度を適正にする

2. 各機器の電源を入れる

3. 操作する本機を選ぶ

本機を1台で使用する場合でも、必ずワイヤレスリモコンまたはコントローラーから本機を選択してください。

4. 撮影モードを選ぶ

撮影状況に合わせて、4種類 (Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3) の撮影モードから選択できます。

各撮影モードはユーザーが設定します。

工場出荷時の設定については、65ページ～70ページを参照してください。

撮影条件、好みに応じて選択してください。

同じ撮影状況で使い続けるときは、再度選択する必要はありません。

5. 撮影する

(終わったら各機器の電源を切る)

〈NOTE〉

- 初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

すでに設定が変更されていて、元の設定に戻す場合は、「撮影の基本操作で困ったときは」(→34ページ)、「カメラメニュー項目」の「Camera画面」(→44ページ)を参照してください。

電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. 接続している機器すべての電源スイッチをONにする

- 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯し、Standbyモードになります。

〈NOTE〉

- 工場出荷状態ではじめて電源を供給したときは、Standbyモードです。(状態表示ランプ: 橙色)
- Standbyモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はStandbyモードとなります。(状態表示ランプ: 橙色)
- Power ONモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はPower ONモードとなります。(状態表示ランプ: 緑色)

2. ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

3. ワイヤレスリモコンの<⏻/|> ボタンを約2秒間押す

Power ONモードになり映像が出力され、コントロールが可能になります。

- このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。

〈NOTE〉

- 初期設定動作は、1台につき最大30秒かかる場合があります。この間、本機の操作はできません。
(状態表示ランプ: 橙色)

4. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順2～3を繰り返す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ONプリセット) します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶 (Power ONプリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

電源の切り方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

2. ワイヤレスリモコンの<⏻/|> ボタンを約2秒間押す

Standbyモードになります。

- このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。

3. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順1～2を繰り返す

4. 接続している機器すべての電源スイッチをOFFにする

- 本機には、電源スイッチがありません。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ONプリセット) します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶 (Power ONプリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

本機を選択

ワイヤレスリモコンまたはコントローラーから操作したい本機を選択してください。

本機を1台で使用する場合でも、必ず選択をしてください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコン1台で、本機を最大4台まで操作することができます。ワイヤレスリモコンで本機を選択するには、本機のOSDメニューの「System 1/2」画面の「Wireless ID」にて設定してください。(24ページ)

1. CAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーで操作する場合

シリアル制御の場合、1台のコントローラーから最大5台の本機を操作することができます。

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→26ページ)

初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

撮影モード(シーンファイル)の選択

撮影モードの種類

撮影状況に合わせて、4種類(Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3)の撮影モードから選択できます。
撮影条件や好みに応じて、撮影モード(Scene)を選択してください。
また、撮影モードごとにBrightness、Picture、Matrix設定を保存しており、メニュー操作でそれらの設定値を変更することができます。
工場出荷時の設定については、65ページ～70ページを参照してください。

フルオート [Full Auto]

自動でシャッタースピード、ゲインや絞りなどの露出設定と一部の画質設定が調節されます。

シーン1 [Scene1]

撮影シーン・照明の状況などに合わせて、お好みの設定を行うことができます。

工場出荷設定は、明るいシーンも含めた通常使用環境での撮影に適した設定になっています。

シーン2 [Scene2]

撮影シーン・照明の状況などに合わせて、お好みの設定を行うことができます。

工場出荷設定は、低照度環境での撮影に適した設定になっています。

シーン3 [Scene3]

撮影シーン・照明の状況などに合わせて、お好みの設定を行うことができます。

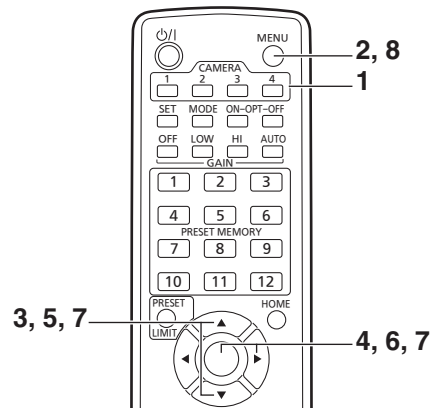
工場出荷設定は、シャッタースピード、ゲインや絞りなどをマニュアル操作で調節する設定になっています。

〈NOTE〉

- ・ホワイトバランスなどの調整結果は、撮影モードごとに別々に記憶されます。必ず、調整を行う前に撮影モードを選択してください。
- ・初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

選択のしかた

ワイヤレスリモコンで操作する場合



1. CAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ

2. <MENU> ボタンを約2秒間押す

トップメニューが表示されます。

* Top Menu *

⇨ Camera
System
Output
Pan/Tilt
Preset
Maintenance

3. <▲>または<▼> ボタンを押して、[Camera]にカーソルを合わせる

4. <○> ボタンを押す

モニターに[Camera]メニューが表示されます。

** Camera **

⇨ Scene Full Auto
Brightness
Picture
Matrix
Lens

Return

5. <▲>または<▼> ボタンを押して、[Scene]にカーソルを合わせる

6.<○> ボタンを押す

撮影モードが点滅します。

7.<▲>または<▼> ボタンを押して、使用する撮影モード(Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3)を選択し、<○> ボタンを押して確定する

8.<MENU> ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影する

ワイヤレスリモコンで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：

<◀>または<▶>ボタンを押す。

上下に動かす(チルト)：

<▲>または<▼>ボタンを押す。

斜めに動かす：

<▲>または<▼>ボタンと、<◀>または<▶>ボタンを同時に押す。

基準の位置に戻す：

<HOME>ボタンを約2秒間押す。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：

<ZOOM>の<T>ボタンを押す。

縮小(ズームアウト)：

<ZOOM>の<W>ボタンを押す。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

高速にする：

<FAST>ボタンを押す。

長押しすると、さらに高速にすることができます。

短押しすると、通常速度(高速)に戻ります。

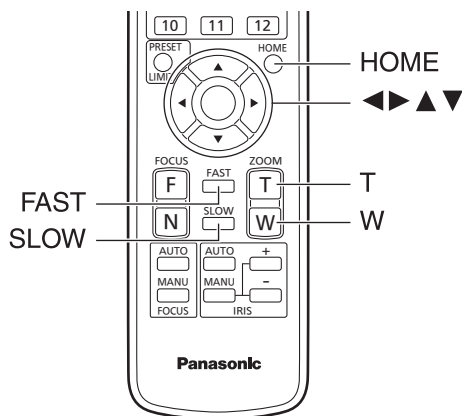
低速にする：

<SLOW>ボタンを押す。

長押しすると、さらに低速にすることができます。

短押しすると、通常速度(低速)に戻ります。

パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの制御スピードが切り替わります。



コントローラーで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：

<PAN/TILT>レバーをL方向またはR方向に傾ける。

上下に動かす(チルト)：

<PAN/TILT>レバーをUP方向またはDOWN方向に傾ける。

斜めに動かす：

<PAN/TILT>レバーを斜めに傾ける。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：

<ZOOM>レバーをTELE方向に傾ける。

縮小(ズームアウト)：

<ZOOM>レバーをWIDE方向に傾ける。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

AW-PR150またはAW-PR60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影の基本操作で困ったときは

下記で解決しないときは、「トラブルシューティング」(→136ページ)を参照してください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

本機が動かない

- CAMERA<1>～<4>ボタンのいずれかを押し、操作したい本機を選択してください。
本機が1台のみの場合、通常はCAMERA<1>ボタンで選択できます。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→29ページ)を参照して電源を入れてください。
- ワイヤレスリモコンを本機のワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、本機の状態表示ランプが点滅しない場合は、ワイヤレスリモコンの電池が消耗しています。
電池を交換してください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<MODE>ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

<MENU>ボタンを2秒間押して、カメラメニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS AUTO>ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- <IRIS AUTO>ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- <GAIN>の<AUTO>ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→39ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。
カメラメニュー[Output 3/5]画面の[OSD Mix](→56ページ)の設定を確認してください。

コントローラーで操作する場合

本機が動かない

- 次の方法で、操作したい本機を選択してください。
AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合
詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→29ページ)を参照して電源を入れてください。
- 本機のアカウント設定が正しく設定されていることを確認してください。(→72ページ)
- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→26ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<BARS>ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS>の<AUTO>ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- <IRIS>の<AUTO>ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- <GAIN>の<AUTO>ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→39ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。
カメラメニュー[Output 3/5]画面の[OSD Mix](→56ページ)の設定を確認してください。

より高度な使い方

マニュアル撮影(→36ページ)

- ・フォーカスのマニュアル調整
- ・アイリスのマニュアル調整
- ・シャッタースピードのマニュアル調整
- ・ゲインのマニュアル調整

プリセットメモリー(→37ページ)

- ・カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲインアップ、ホワイトバランスを最大100件登録して、再生することができます。
- ・登録・再生できる件数は、操作に使用するワイヤレスリモコン(12件)やコントローラーの種類によって異なります。

ホワイトバランス調整(→38～39ページ)

- ・白を正確に表現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・照明条件、明るさが変わったときに必要です。
- ・一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

ブラックバランス調整(→40ページ)

- ・黒を正確に再現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。
- ・一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

黒レベル(マスターベデスタル)調整(→41ページ)

- ・複数のカメラの黒レベル(ベデスタルレベル)を合わせるときに調整します。

マニュアル撮影

フォーカスのマニュアル調整

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<FOCUS MANU>ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える

2.<FOCUS>の<F>または<N>ボタンを押して、フォーカスを調整する

<F>ボタンを押すと遠くへ(Far)、<N>ボタンを押すと近くへ(Near)フォーカスが移動します。

また、<FAST>/<SLOW>ボタンでフォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3.必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、<FOCUS AUTO>ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- フォーカスがマニュアル設定のとき、パン、チルト、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。(Focus Adjust With PTZ.)
この機能を[Off]に設定した場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
(→57ページ、82ページ、105ページ)

アイリスのマニュアル調整

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<IRIS MANU>ボタンを押して、アイリスをマニュアル調整に切り替える

2.<IRIS +>または<IRIS ->ボタンを押して、アイリスを調整する

<IRIS +>ボタンを押すと開く方へ、<IRIS ->ボタンを押すと閉じる方へ動作します。

また、<FAST>/<SLOW>ボタンでアイリスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3.必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、<IRIS AUTO>ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

シャッタースピードのマニュアル調整

シャッタースピードは2種類の方法で設定することができます。ひとつは時間での指定方法(1/250秒など)、もうひとつは周波数での指定方法(シンクロスキャン、60.2 Hzなど)です。
テレビ画面やパーソナルコンピュータのモニターの画面を撮影するとき、画面の周波数に合わせてシンクロスキャンで調整すると、画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にできます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

カメラメニューにて調整します。

詳しくは、[Shutter Mode] (→45ページ)、[Step/Synchro] (→45ページ)を参照してください。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ゲインのマニュアル調整

ゲインの調整は、ワイヤレスリモコンやコントローラーのボタンなどで調整する方法と、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で調整する方法があります。カメラメニューとWeb設定画面[Setup]では、より細かな調整が可能です。

詳しくは、[Gain] (→45ページ、99ページ)を参照してください。

<NOTE>

- ゲインを調整する際、光量が急激に変化する(映像出力にショックが出る)場合があります。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<GAIN>の<OFF> / <LOW> / <HI> ボタンのいずれかを押す

ゲインアップを3段階で切り替えできます。

<LOW>ボタンは9 dB、<HI>ボタンは18 dBとなります。

2.必要に応じてゲインを自動調整(AGC)に戻すには、<GAIN>の<AUTO>ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

どの場合も、自動調整(AGC)の最大ゲインはカメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で設定できます。

[AGC Max Gain] (→45ページ、99ページ)を参照してください。

プリセットメモリー

本機は、カメラの向き（パンとチルト）、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを最大100件登録し、再生することができます。

ただし、操作に使用するワイヤレスリモコンやコントローラーの種類によって、登録・再生できる件数は異なります。

- ・フォーカスとアイリスについて、動作モード（マニュアル／オート設定）は登録・再生しません。現在のフォーカス値、アイリス値を登録します。
- ・フォーカスとアイリスは、マニュアル設定のときに再生できます。
- ・ホワイトバランスは、選択されている White Balance Mode の調整値が登録されます。AWB A、AWB B を選択時にプリセット再生すると、プリセット登録時の調整値が再生されます。このとき、R Gain / B Gain の値は 0 に戻ります。

〈NOTE〉

- ・登録時と再生時の環境温度が大きく異なると、プリセット位置にズレが生じる場合があります。
- ・ズレが生じた場合は、再登録をしてください。
- ・プリセット再生中にパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスいずれかのマニュアル操作を行うと、パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスのプリセット動作を中断します。
- ・プリセット再生中に他のプリセット再生を呼び出した場合、再生中のプリセットを中断し、最後に呼び出したプリセット動作を行います。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコンで登録・再生が可能な件数は12件（プリセット No.1～12）です。

<1>～<12>のボタンは、本機のプリセットメモリー No.1～No.12 に対応しています。

■ プリセットメモリーの登録

1.撮影する映像をモニターに映す

パン・チルトボタンやズームボタンを操作して、カメラアングルを決めます。

必要に応じてフォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを調整してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、登録したいプリセットメモリーNo.のボタンを押す

- ・登録済みのプリセットメモリーNo.を指定した場合は、以前の内容を消して新たに登録します。

■ プリセットメモリーの再生

1.プリセットメモリーが登録されているボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

登録・再生が可能な件数は100件です。

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ホワイトバランス調整

白を正確に再現するために、RGB三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。

調整は、コントローラーの<AWB>ボタンを押したときに自動調整する「AWB」(自動ホワイトバランス調整)か、常時調整し続ける「ATW」(自動追尾式ホワイト調整)のどちらかを選択できます。

AWBの調整結果は、ホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択したとき、AとBの2か所のメモリーにセット(記憶)しておくことができます。

- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておく、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で選択、またはコントローラーのボタンを押すだけで設定完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。
- プリセット再生中は、ホワイトバランス調整はできません。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

自動調整 (AWB : AWB A/AWB B)

ワイヤレスリモコンで操作する場合

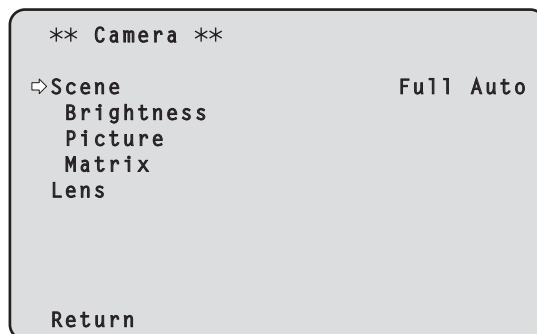
1. 白い被写体(白壁や白いハンカチなど)を画面いっぱいに映す

- 光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

- 手順2～8は、メモリー「AWB A」または「AWB B」を選択するための手順です。すでに選択済みの場合は不要です。

2. 「撮影モード(シーンファイル)の選択」(→31ページ)の

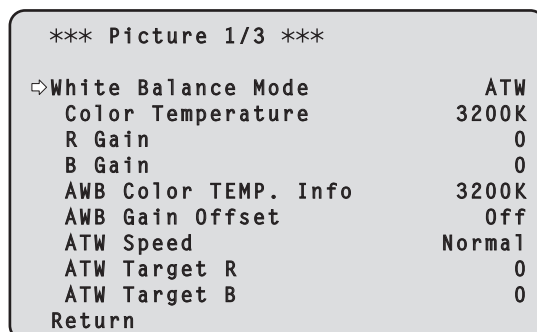
手順で撮影モードを「Full Auto」、「Scene1」、「Scene2」、「Scene3」、のいずれかに設定する



3. <▲>または<▼>ボタンを押して、「Picture」にカーソルを合わせる

4. <○>ボタンを押す

[Picture 1/3]画面が表示されます。



5. <▲>または<▼>ボタンを押して、[White Balance Mode]にカーソルを合わせる

6. <○>ボタンを押す

[White Balance Mode]が点滅します。

7. <▲>または<▼>ボタンを押して、使用するWhite Balance Modeを「AWB A」または「AWB B」へ変更し、<○>ボタンを押して確定する

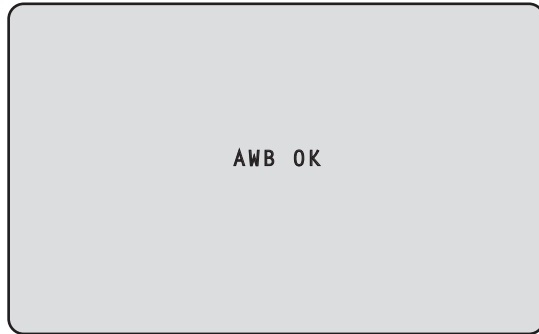
8. <MENU>ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

9. <SET> ボタンを押す

自動ホワイトバランス調整 (AWB) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。

- [OSD Status] (→56ページ) の設定が [On] のとき、ホワイトバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「AWB OK」と表示されます。



<NOTE>

- カラーバーを表示していると、調整できません。
<MODE> ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。
- プリセット再生中は、ホワイトバランス調整はできません。
- 調整に失敗すると、「OUT RANGE NG」、「HIGH LIGHT NG」、「LOW LIGHT NG」、「ATW NG」などのエラーメッセージが表示されます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- 被写体照度が不足している場合は、ホワイトバランスが正しく調整できないことがあります。
- ホワイトバランスをセットしたあとは、本機の電源を切っても内蔵のメモリーに長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合 (撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など) はホワイトバランスをセットし直してください。

自動追尾式ホワイト調整 (ATW)

ホワイトバランス調整を [ATW] に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順 (→38ページ) で、[AWB A] や [AWB B] の代わりに [ATW] を選択すると機能します。

<NOTE>

- 高輝度 (蛍光灯など) が画面に入った場合、ATW が正しく動作しないことがあります。
- 画面上に白い被写体がない場合、ホワイトバランスがずれることがあります。
- 太陽光と蛍光灯など、異なる種類の光源がある場合、ホワイトバランスがずれることがあります。

3200K・5600Kプリセット

ホワイトバランスに [3200K] または [5600K] を選択すると、それぞれ色温度 3200 K (ハロゲンライト相当)、5600 K (デイトライト相当) でホワイトバランスがセットされた状態になります。
「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順 (→38ページ) で、[AWB A] や [AWB B] の代わりに [3200K] または [5600K] を選択すると機能します。

VAR

ホワイトバランスに [VAR] を選択すると、色温度 2000K ~ 15000K を選択することができます。

<NOTE>

- 表示されている [VAR] の値は、絶対値を保証するものではありません。参考値としてご使用ください。

ブラックバランス調整

黒を正確に再現するために、RGB三原色のゼロレベルを調整します。
ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。
ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲の温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。

自動調整

ワイヤレスリモコンで操作する場合

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」(→38ページ)の手順9で、
<SET>ボタンを約2秒間押すと、自動ブラックバランス調整(ABB)を実行し、ブラックバランスがセットされます。
このときレンズをクローズにして調整を行いますので、画面が一時黒くなります。

- ブラックバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「ABB OK」と表示されます。



〈NOTE〉

- カラーバーを表示していると、調整できません。
<MODE>ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。
- プリセット再生中は、ブラックバランス調整はできません。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

黒レベル(マスターペデスタル)調整

本機を含むカメラを複数台使用しているときに、黒レベルを合わせるすることができます。調整は販売店に依頼してください。
(調整はオシロスコープまたはウェブフォームモニターを使用)
黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<IRIS MANU>ボタンを押す

アイリスをマニュアルモードにします。

2.<IRIS ->ボタンを押す

レンズのアイリスを絞り込みます。[Iris Limit]が[On]のときはアイリスCLOSEまで絞れません。

3.<▲>または<▼>ボタンを押して、[Picture]にカーソルを合わせる

4.<○>ボタンを押す

[Picture 2/3]画面が表示されます。

*** Picture 2/3 ***	
◀Chroma Level	0%
Chroma Phase	0
Master Pedestal	0
Detail	On
Master Detail	0
Detail Coring	15
V Detail Level	0
Skin Detail	Off
Skin Detail Effect	16
Return	

5.<▲>または<▼>ボタンを押して、[Master Pedestal]にカーソルを合わせる

*** Picture 2/3 ***	
Chroma Level	0%
Chroma Phase	0
◀Master Pedestal	0
Detail	On
Master Detail	0
Detail Coring	15
V Detail Level	0
Skin Detail	Off
Skin Detail Effect	16
Return	

6.<○>ボタン押し、[Master Pedestal]の値を点滅させる

7.<▲>または<▼>ボタンを押して、[Master Pedestal]の数値を変更し、<○>ボタンを押して確定する

黒レベルが、同じになるように調整します。

8.<MENU>ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

9.必要に応じて、<IRIS AUTO>ボタンを押して、アイリスを自動調整にする

設定の基本操作

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。モニターは、映像信号の出力端子に接続します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

カメラメニューの操作は、ワイヤレスリモコンで行います。

ここでは、ワイヤレスリモコンでカメラメニュー項目を変更するための基本操作を説明します。

■ ワイヤレスリモコンでの操作一覧

カメラメニューの操作	ワイヤレスリモコン
操作するカメラを選ぶ	CAMERA<1>～<4>ボタンのいずれかを押す。
トップメニューを表示する	<MENU> ボタンを2秒間押す。
項目を選ぶ	<▲>または<▼>(<◀>または<▶>) ボタンを押す。
サブメニューを表示させる	<O> ボタンを押す。
ひとつ前のメニューに戻る	[Return]にカーソルを合わせた状態で、<O> ボタンを押す。
設定値を変更する	変更したい項目にカーソルを合わせた状態で、<O> ボタンを押し、値を点滅させる。 <▲>または<▼>(<◀>または<▶>) ボタンにて値を変更し、<O> ボタンを押して確定させる。
設定変更をキャンセルする	設定値が点滅中に、<MENU> ボタンを短く(2秒未満) 押す。
カメラメニュー操作を終了する	<MENU> ボタンを約2秒間押す。

〈NOTE〉

- AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ワイヤレスリモコンでの操作

1. CAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選ぶ

2. <MENU> ボタンを約2秒間押す

トップメニューが表示されます。

3. <▲>または<▼> ボタンを押して、選択したい項目にカーソルを合わせる

<▲>または<▼> ボタンを押すごとに、カーソルが移動します。

<◀>または<▶> ボタンでも同様にカーソルを移動できます。

4. <O> ボタンを押す

選択した項目のサブメニューが表示されます。

(サブメニューの項目には、さらにサブメニューを持っているものもあります。)

5. <▲>または<▼> ボタンを押して、設定したい項目にカーソルを合わせる

<▲>または<▼> ボタンを押すごとに、カーソルが移動します。

<◀>または<▶> ボタンでも同様にカーソルを移動できます。

[Return]にカーソルを合わせた状態で<O> ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

6. <O> ボタンを押す

設定したい項目の値が点滅します。

7. <▲>または<▼> ボタンを押して、設定値を変更する

<◀>または<▶> ボタンでも同様に設定値を変更できます。

8. <O> ボタンを押す

設定したい項目の値が確定し、点滅が止まります。

9. 設定が終わったら、<MENU> ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

カメラメニュー項目

カメラメニュー項目の設定

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

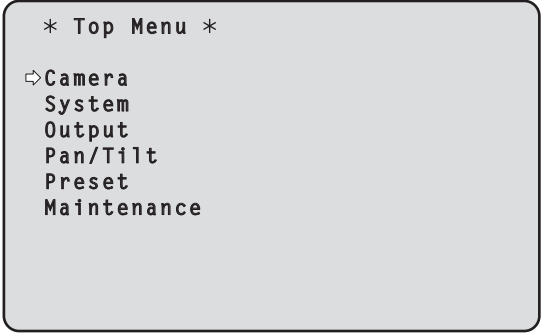
メニュータイトルにある「*」「#」マークは、現在表示中のメニューの階層を表しています。

例えば、「* Top Menu *」は第1階層、「** Camera **」「## System ##」は第2階層を表示中であることを表しています。

「*」マークのメニュー項目は、シーンごとに保持されるデータ、「#」マークのメニュー項目は1台のカメラでシーンにかかわらず共通して保持されるデータを表しています。

工場出荷時の設定については、「カメラメニュー項目一覧」(→65ページ)をご覧ください。

トップメニュー (Top Menu) 画面



```
* Top Menu *  
⇨ Camera  
System  
Output  
Pan/Tilt  
Preset  
Maintenance
```

Camera

カメラ映像に関するカメラメニューを開きます。

System

カメラのシステムフォーマットの設定やゲンロック (外部同期) 位相調整などに関するSystemメニューを表示します。

Output

カメラの映像/音声出力の設定やOSD出力などに関するOutputメニューを表示します。

Pan/Tilt

Pan/Tiltの各種動作に関するPan/Tiltメニューを表示します。

Preset

Preset再生の各種動作に関するPresetメニューを表示します。

Maintenance

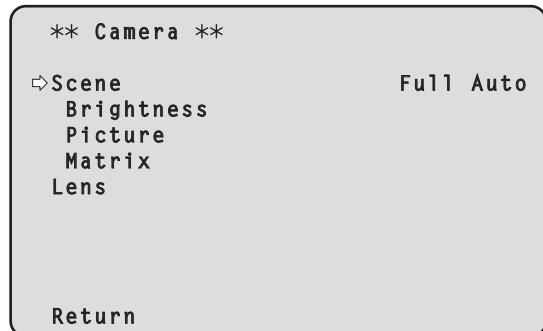
本機のファームウェアバージョンの確認や、設定の初期化に関するMaintenanceメニューを表示します。

〈NOTE〉

- トップメニューには [Return] がありません。

Camera 画面

カメラ映像に関するメニューです。



Scene [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。
撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

Full Auto	撮影条件に合わせて、自動的に最適な露出設定や一部の画質設定を行うモードです。自動化対象となるMENU設定項目は「——」表示になり、設定は変更できません。
Scene1	各種画質設定項目が、[Full Auto]同等の値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。
Scene2	各種画質設定項目が、低照度環境下に対応した値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。
Scene3	各種画質設定項目が、マニュアル操作重視の値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。

Brightness

映像の明るさを設定するBrightness画面を表示します。

Picture

画質調整を行うPicture画面を表示します。

Matrix

カラーマトリクスの設定を行うMatrix画面を表示します。

Lens

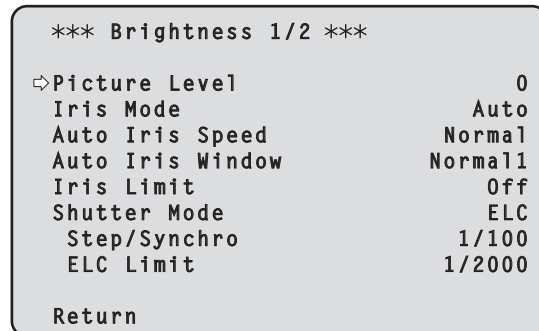
レンズの設定を行うLens画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 1/2 画面

映像の明るさを設定するメニューです。



Picture Level [-50～+50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合
- [Frame Mix]が[Auto]に設定されている場合

Iris Mode [Manual、Auto]

アイリス調整の自動／手動を選択します。

Manual	手でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

〈NOTE〉

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[Auto]固定になります。

Auto Iris Speed [Slow、Normal、Fast]

オートアイリス機能の制御スピードを設定します。

Slow	緩やかなスピードでアイリス制御します。
Normal	標準的なスピードでアイリス制御します。
Fast	素早いスピードでアイリス制御します。

Auto Iris Window [Normal1、Normal2、Center、Full]

オートアイリス検出ウィンドウを選択します。

Normal1	画面中央よりのウィンドウです。
Normal2	画面下よりのウィンドウです。
Center	画面中央のスポット状のウィンドウです。
Full	画面全体のウィンドウです。

Iris Limit [Off、On]

[Iris Mode]が[Manual]のときに、アイリスが閉じないように制限をかける機能のOff/Onを設定します。

Off	アイリスがOPEN～CLOSEの全範囲で動作できます。
On	アイリスがCLOSEにならないようにリミットをかけます。

〈NOTE〉

- [Iris Mode]が[Manual]のときのみ有効です。
- 本機能が[On]に設定されている場合でも、アイリスのOPEN方向のリミットはかかりません。
ただし、本機能が[On]に設定されている場合でも、自動ブラックバランス調整 (ABB) を実行したときはアイリスをCLOSEして調整を行います。
- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[Off]固定になります。

Shutter Mode [Off、Step、Synchro、ELC]

カメラのシャッターモードを選択します。

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定(段階可変)を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定(連続可変)を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

(NOTE)

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[ELC]固定になります。

Step/Synchro

[Shutter Mode]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[Shutter Mode]で [Step]を選択した場合	[Shutter Mode]で [Synchro]を選択した場合
59.94p/ 59.94iモード	1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	60.0 Hz ~ 7200 Hz
29.97pモード	1/30, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	30.0 Hz ~ 7200 Hz
23.98p/24p モード	1/24, 1/48, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	24.0 Hz ~ 7200 Hz
50p/50iモード	1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	50.0 Hz ~ 7200 Hz
25pモード	1/25, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	25.0 Hz ~ 7200 Hz

(NOTE)

- 29.97pモード、23.98p/24pモード、25pモードでは、[Shutter Mode]で[Off]に設定した場合はシャッター速度は[1/50]になります。
- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できません。

ELC Limit [1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000]

ELCの動作時の最大シャッター値を設定します。

(NOTE)

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[1/2000]固定になります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 2/2 画面

*** Brightness 2/2 ***

⇨Gain	Auto
Super Gain	Off
AGC Max Gain	24dB
Frame Mix	Auto
Auto F.Mix Max Gain	6dB
Backlight COMP.	Off
Backlight COMP.Level	Low
Spotlight COMP.	Off
Flicker Suppression	Off
Return	

Gain [(Super GainがOffのとき) Auto、0dB ~ 36dB、(Super GainがOnのとき) Auto、0dB ~ 42dB]

映像のゲイン調整を行います。

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

[Auto]に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

(NOTE)

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[Auto]固定になります。

Super Gain [Off、On]

スーパーゲイン(感度アップ)のモードを設定します。

Off	スーパーゲインモードにしません。
On	スーパーゲインモードにします。

(NOTE)

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[Off]固定になります。

AGC Max Gain [6dB、12dB、18dB、24dB、30dB、36dB]

[Gain]で[Auto]を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

(NOTE)

- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[24dB]固定になります。

Frame Mix [Auto、Off、6dB、12dB、18dB、24dB]

フレーム加算(センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。

フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

[Shutter Mode]が[ELC]のときは、[Auto]または[Off]のみ設定可能です。

[Shutter Mode]が[Step]または[Synchro]のときは設定できません。

フォーマットが2160/29.97p、2160/23.98p、2160/24p、2160/25p、1080/29.97p、1080/23.98p(59.94i)、1080/23.98p、1080/24p、1080/29.97PsF^{*1}、1080/23.98PsF^{*1}、1080/25p、1080/25PsF^{*1}のときは設定できません。

^{*1} AW-UE50のみ

(NOTE)

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが周期的に変ったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。
- [Frame Mix]が6dB、12dB、18dB、24dBのいずれかに設定されている状態で、[Shutter Mode]を[ELC]に設定すると、[Frame Mix]は[Off]に変更されます。
- [Scene]が[Full Auto]のときは、本機能は設定を変更できず、[Auto]固定になります。

Auto F.Mix Max Gain [0dB、6dB、12dB、18dB]

[Frame Mix]が[Auto]で動作する場合の、フレーム加算の最大量を設定します。

[Auto]でフレーム加算が実行された場合、映像がコマ落ちしたように見えます。

Backlight COMP. [Off、On]

逆光補正機能のOn/Offを設定します。

逆光で被写体の後ろ側から光が当たり暗くなるのを軽減するため、画面全体が明るくなるように補正します。

次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合
- [Frame Mix]が[Auto]に設定されている場合

(NOTE)

- [Spotlight COMP.]を[On]にした場合は、[Backlight COMP.]は[Off]になります。

Backlight COMP. Level [Low、Mid、High]

逆光補正のレベルを設定します。

Low	通常の補正を適用します。
Mid	中程度の補正を適用します。
High	強めの補正を適用します。

(NOTE)

- [Backlight COMP.]が[On]のときのみ設定できます。

Spotlight COMP. [Off、On]

スポットライト補正機能のOn/Offを設定します。

スポットライトのように中央が極端に明るい被写体をきれいに撮影できるように補正します。

次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合
- [Frame Mix]が[Auto]に設定されている場合

(NOTE)

- [Backlight COMP.]を[On]にした場合は、[Spotlight COMP.]は[Off]になります。

Flicker Suppression [Off、On]

フリッカー軽減機能のOn/Offを設定します。

蛍光灯などの放電管による照明下で発生する明るさが周期的に変わったり、色が横じまに見えるフリッカーの症状を軽減します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 1/3 画面

*** Picture 1/3 ***	
⇨ White Balance Mode	ATW
Color Temperature	3200K
R Gain	0
B Gain	0
AWB Color TEMP. Info	3200K
AWB Gain Offset	Off
ATW Speed	Normal
ATW Target R	0
ATW Target B	0
Return	

White Balance Mode

[ATW、AWB A、AWB B、3200K、5600K、VAR]

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。

光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。

基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K～15000Kを指定できます。

Color Temperature [2000K～15000K]

色温度2000K～15000Kを指定できます。

[White Balance Mode]が[VAR]のときに有効です。

R Gain [-200～+200]

Rゲインを調整できます。

[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

B Gain [-200～+200]

Bゲインを調整できます。

[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

AWB Color TEMP. Info

[White Balance Mode]が[AWB A]または[AWB B]の時の色温度を表示します。表示のみで設定値変更はできません。

AWB Gain Offset [Off、On]

[White Balance Mode]を[AWB A]、[AWB B]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。

Off	[R Gain]と[B Gain]の値を[0]にします。
On	[R Gain]と[B Gain]で設定した値を保持したままにします。

ATW Speed [Normal, Slow, Fast]

ATW機能の制御スピードを設定します。

Normal	通常のスピードで追従します。
Slow	[Normal]よりも遅いスピードで追従します。
Fast	[Normal]よりも速いスピードで追従します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

ATW Target R [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

ATW Target B [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 2/3 画面

*** Picture 2/3 ***

⇨Chroma Level	0%
Chroma Phase	0
Master Pedestal	0
Detail	On
Master Detail	0
Detail Coring	15
V Detail Level	0
Skin Detail	Off
Skin Detail Effect	16
Return	

Chroma Level [Off, -99%～99%]

映像の色の濃淡を設定します。

Chroma Phase [-31～+31]

映像の色の位相の微調整を行います。

Master Pedestal [-200～+200]

黒レベルの調整(ペDESTAL調整)を行います。

マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

Detail [Off, On]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。

Master Detail [-31～+31]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。

[Detail]が[On]のときに有効です。

Detail Coring [0～60]

ディテール効果を働かせないようにする信号(ノイズを含む)のレベルを設定します。

[Detail]が[On]のときに有効です。

V Detail Level [-7～+7]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

[Detail]が[On]のときに有効です。

Skin Detail [Off, On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。

[Detail]が[On]のときに有効です。

Skin Detail Effect [0～31]

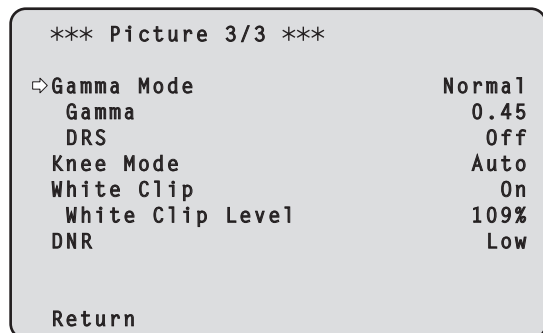
設定値が大きいほど、人物の肌をより滑らかに撮影できます。

[Detail]が[On]で、[Skin Detail]が[On]のときに有効です。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 3/3 画面



Gamma Mode

[Normal, HD, Cinema1, Cinema2, Still Like]

ガンマカーブのタイプを選択します。

Normal	標準的なガンマ特性です。
HD	HD(High Definition)用のビデオガンマ特性です。
Cinema1	コントラストが強めのガンマ特性です。
Cinema2	落ち着いた調子のガンマ特性です。
Still Like	デジタルスチルカメラの画質トーンのガンマ特性です。

<NOTE>

- [DRS] が [Off] のときのみ有効です。
- [Scene] が [Full Auto] のときは、本機能は設定を変更できず、[Normal] 固定になります。

Gamma [0.30~0.75]

ガンマ補正レベルの調整を行います。

低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。

高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。

<NOTE>

- [Gamma Mode] が [Normal] または [HD] のときに有効です。
- [Scene] が [Full Auto] のときは、本機能は設定を変更できず、[0.45] 固定になります。

DRS [Off, Low, Mid, High]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行う DRS 機能を設定します。

[Low]、[Mid]、[High] から効果が選択できます。

<NOTE>

- [Gamma Mode] が [Normal] または [HD] のときに有効です。
- [Scene] が [Full Auto] のときは、本機能は設定を変更できず、[Off] 固定になります。

Knee Mode [Off, Auto, Low, Mid, High]

階調圧縮 (ニー) の動作モードを設定します。

Off	ニーをオフにします。
Auto	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
Low、Mid、High	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを手動で3段階に設定できます。

<NOTE>

- [DRS] を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。
- [Scene] が [Full Auto] のときは、本機能は設定を変更できず、[Auto] 固定になります。

White Clip [Off, On]

ホワイトクリップ機能の Off、On を設定します。

White Clip Level [90% ~ 109%]

ホワイトクリップレベルを設定します。

[White Clip] が [On] のときに有効です。

<NOTE>

- [Knee Mode] が [Auto] のとき、[White Clip Level] の値を変更すると、ニーの値も追従して変更されます。

DNR [Off, Low, High]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。

[Low]、[High] を選択すると、ノイズを除去することができます。

ただし、残像が増える場合があります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 1/5画面

*** Matrix 1/5 ***

⇨Matrix Type

Adaptive Matrix

Normal

Off

Return

Matrix Type [Normal、Professional、User]

カラーマトリクスタイプを選択します。

Normal	標準的なプリセットマトリクス設定です。
Professional	当社製放送機器と同等のプリセットマトリクス設定です。
User	[Matrix 2/5]画面で[Linear Matrix]の値を調整できます。 [Matrix 3/5]画面、[Matrix 4/5]画面、[Matrix 5/5]画面で[Color Correction]の値を調整できます。

〈NOTE〉

- [User]以外のプリセットされているカラーマトリクスデータは、[Matrix 2/5]画面、[Matrix 3/5]画面、[Matrix 4/5]画面、[Matrix 5/5]画面で値を参照できます。

Adaptive Matrix [Off、On]

撮影状況に応じてリニアマトリクスを抑制する機能のOff、Onを設定します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 2/5画面

*** Matrix 2/5 ***

⇨R-G

R-B

G-R

G-B

B-R

B-G

[Linear Matrix]

0

0

0

0

0

0

Return

Linear Matrix

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。

R-G	各軸方向の色調整を-63～+63の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

〈NOTE〉

- [Matrix Type]が[User]以外に設定されている場合は、プリセットされている設定が表示されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 3/5 画面

```

*** Matrix 3/5 ***
      [Color Correction 1/3]

      Saturation      Phase
B_Mg  ⇨              0          0
Mg              0          0
Mg_R              0          0
Mg_R_R           0          0
R              0          0
R_R_Yl           0          0

Return
    
```

Color Correction 1/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation [-63～+63]

各色の飽和度を調整します。

Phase [-63～+63]

各色の色相を調整します。

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色
R	赤
R_R_Yl	赤と黄の比率が 3:1 の色

〈NOTE〉

- [Matrix Type]が[User]以外に設定されている場合は、プリセットされている設定が表示されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 4/5 画面

```

*** Matrix 4/5 ***
      [Color Correction 2/3]

      Saturation      Phase
R_Yl  ⇨              0          0
R_Yl_Yl              0          0
Yl              0          0
Yl_Yl_G             0          0
Yl_G              0          0
G              0          0

Return
    
```

Color Correction 2/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation [-63～+63]

各色の飽和度を調整します。

Phase [-63～+63]

各色の色相を調整します。

R_Yl	赤と黄の中間色
R_Yl_Yl	赤と黄の比率が 1:3 の色
Yl	黄
Yl_Yl_G	黄と緑の比率が 3:1 の色
Yl_G	黄と緑の中間色
G	緑

〈NOTE〉

- [Matrix Type]が[User]以外に設定されている場合は、プリセットされている設定が表示されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 5/5画面

*** Matrix 5/5 ***		
[Color Correction 3/3]		
	Saturation	Phase
G_Cy ⇨	0	0
Cy	0	0
Cy_B	0	0
B	0	0
Return		

Color Correction 3/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation [-63~+63]

各色の飽和度を調整します。

Phase [-63~+63]

各色の色相を調整します。

G_Cy	緑とシアンの間色
Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の間色
B	青

〈NOTE〉

- [Matrix Type]が[User]以外に設定されている場合は、プリセットされている設定が表示されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Lens画面

### Lens ###	
⇨ Focus Mode	Auto
AF Sensitivity	Normal
Zoom Mode	Opt.Zoom
Max Digital Zoom	x10
Digital Extender	Off
O.I.S. Mode	Off
Return	

Focus Mode [Auto、Manual]

フォーカス調整 (ピント合わせ) 機能の自動/手動を選択します。

Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。
Manual	フォーカスをマニュアル操作します。

AF Sensitivity [Normal、Stable、Stable2]

オートフォーカス機能の追従モードを選択します。

Normal	通常の追従性でフォーカス合わせをします。
Stable	安定性を重視してフォーカス合わせをします。
Stable2	2 m以上の遠距離を中心にフォーカス合わせをします。 被写体までの距離がある講義室内などでの撮影時に有効です。

Zoom Mode [Opt.Zoom、i.Zoom、D.Zoom]

ズームの最大倍率を設定します。

Opt.Zoom	光学ズームのみを使用します。 光学24倍までズームが可能です。
i.Zoom	i.Zoom機能を有効にします。 この機能を有効にすると、画質劣化を軽減しながらデジタルズームを行います。 [System 1/2]画面の[Format]が2160/29.97p、2160/25p、2160/24p、2160/23.98pのとき 光学ズームとデジタルズームを合わせて28倍までズームが可能です。 • [System 1/2]画面の[Format]がそれ以外のときは、 光学ズームとデジタルズームを合わせて36倍までズームが可能です。
D.Zoom	デジタルズーム機能を有効にします。 デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

Max Digital Zoom

[×2、×3、×4、×5、×6、×7、×8、×9、×10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

[Zoom Mode]が[D.Zoom]のときに有効です。

〈NOTE〉

- デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

Digital Extender [Off、×1.4、×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

Off	デジタルエクステンダーの機能をOffにします。
×1.4	常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが2.0倍として動作します。

[Zoom Mode]が[Opt.Zoom]のときに有効です。

O.I.S. Mode [Off, O.I.S.]

光学式画揺れ補正(O.I.S.)のモードを設定します。

Off	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOffにします。
O.I.S.	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOnにします。

〈NOTE〉

- ・[O.I.S.]では、パンチルト動作時の画揺れ補正の収束応答を小さくするため、パンチルト動作中は画揺れ補正機能(O.I.S.)による補正量を低下させます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

System 1/2画面

## System 1/2 ##	
Frequency	59.94Hz
Format	1080/59.94p
Wireless Control	Enable
Wireless ID	CAM1
USB	
USB Mode	Off
USB Auto Active	On
USB Auto Standby	Off
Video Conference Mode	Off
Return	

Frequency [59.94Hz, 50Hz, 24Hz, 23.98Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

- ・周波数変更方法の詳細については、「周波数変更について」(→53ページ)を参照してください。

Format

[59.94Hz]のとき

2160/29.97p, 1080/59.94p, 1080/59.94i,
1080/29.97p, 1080/29.97PsF*¹,
1080/23.98p(59.94i)*^{1,2}, 720/59.94p

[50Hz]のとき

2160/25p, 1080/50p, 1080/50i, 1080/25p,
1080/25PsF*¹, 720/50p

[24Hz]のとき

2160/24p, 1080/24p

[23.98Hz]のとき

2160/23.98p, 1080/23.98p, 1080/23.98PsF*¹

*¹ AW-UE50のみ

*² 1080/23.98p over 59.94iを示します。

〈NOTE〉

- ・システムフォーマット変更時にストリーミングが停止します。
- ・フォーマット変更方法の詳細については、「フォーマット変更について」(→54ページ)を参照してください。

Wireless Control [Enable, Disable]

ワイヤレスリモコンからの操作の有効[Enable]/無効[Disable]を設定します。

〈NOTE〉

- ・ワイヤレスリモコンから電源をONした場合、本設定値に関係なく、ワイヤレスリモコンによる操作が可能となります。
- ・本項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。
- ・本項目が[Enable]の状態では電源をONした場合、本設定は動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。

Wireless ID [CAM1, CAM2, CAM3, CAM4]

本機のリモコンIDを設定します。

この項目の設定が、ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>のボタンに対応します。

USB

USB Video Class/USB Audio Class関連の設定を行います。

USB Mode [Off, On]

USBモードを設定します。

[On]に設定すると、USB Video Class/USB Audio Class配信が可能になります。

〈NOTE〉

- ・Web画面の[Streaming mode]と連動し、[On]に設定すると[Streaming mode]が[USB]になり、[Off]に設定すると[Streaming mode]が[H.264]になります。
- ・[Frequency]が[24Hz]または[23.98Hz]のとき、または[Format]が[1080/23.98p(59.94i)]*¹のとき、[Off]固定となり"----"表示となります。
- ・USB映像の配信中は、IP映像配信が以下に制限されます。
 - H.264/H.265：配信不可
 - M-JPEG：640×360 1fpsで1ストリームのみ配信可

*¹ 1080/23.98p over 59.94iを示します。

USB Auto Active [Off, On]

[USB Auto Active]を[On]にすると、給電中、Power On状態のときにUSBケーブルを検出した場合、[USB Mode]が自動的に[On]に切り替わります。

USB Auto Standby [Off, On]

USB配信が終了した際に、カメラを後方に向ける機能のOff/Onを設定します。

[USB Auto Standby]が[On]のとき、USB配信を終了すると自動的にStandbyモードに移行し、カメラは後方を向きます。

[USB Auto Standby]が[On]のとき、[Privacy Mode]は[On]、[Power On Position]は[Standby]として動作します。

〈NOTE〉

- ・[USB Auto Standby]が[On]のときのみ、StandbyモードでもUSBデバイスとして認識し配信を開始することができます。

Video Conference Mode [Off, On]

[Video Conference Mode]を[On]にすると、オンライン会議に適した調整を行います。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

System 2/2画面

```

## System 2/2 ##

⇨ Auto Tracking Mode          On
  Angle                        Off
  Target Marker                Off
  Tracking Status              Tracking
  Tracking Start               - - -
  Tracking Stop                Execute
  Tracking Auto Start          Enable
  Home Position                Preset1

Return
    
```

Auto Tracking Mode [Off, On]

自動追尾モードを設定します。

[On]に設定すると、人物の検出を開始し、後述のメニューに従って枠の表示や追尾を開始します。

Angle [Off, Full Body, Upper Body]

追尾時の画角を指定します。

OFF	現在の画角を維持します。
Full Body	追尾対象のほぼ全身が表示される画角に設定します。
Upper Body	追尾対象の胸から上が表示される画角に設定します。

Target Marker [Off, On]

枠の表示を設定します。

[Target Marker]が[On]のとき、[OSD Mix]が[On]になっている端子で追尾枠が表示されます。

Tracking Status [Not Tracking, Tracking, Lost]

自動追尾の状態を表示します。

Not Tracking	追尾を開始していません。
Tracking	追尾中です。
Lost	対象を検出できません。対象を捕捉すると追尾を開始します。

Tracking Start [Execute]

追尾を開始します。

Tracking Stop [Execute]

追尾を停止します。

Tracking Auto Start [Disable, Enable]

起動直後などに追尾を開始するかを設定します。

[Tracking Auto Start]が[Enable]の場合、[Auto Tracking Mode]を[On]にしたときや、[Auto Tracking Mode]が[On]でカメラを起動するとすぐに追尾を開始します。

Home Position [Preset1, Preset2, Preset3, None, Wide]

追尾対象をロストしたときの動作を設定します。

Preset 1～3	追尾対象をロストした後に規定時間が経過すると、カメラの位置を指定されたプリセットの位置に戻します。
None	追尾対象をロストした後、カメラの位置を変更しません。
Wide	追尾対象をロストした後、カメラのPan/Tilt位置を変更せずにZoom倍率のみ最小に設定します。

上記動作中に追尾対象を検出した場合は、追尾を再開します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ 周波数変更について

[System 1/2]画面で、周波数を現在選択中のものから変更すると、Frequency切り替え前確認画面を表示します。

Frequency切り替え前確認画面

```

### Frequency ###

Do you want to set Frequency?
( 59.94Hz )
OSD of some outputs
may be hidden.

⇨ CANCEL
  O.K.
    
```

- 画面中の()内には、設定対象の周波数が表示されます。
- Frequency切り替え前確認画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、周波数が変更されます。

〈NOTE〉

- 59.94Hz/50Hz/24Hz/23.98Hzの各周波数に対応していないモニターを使用している場合、周波数変更後に映像が出なくなってしまう場合があります。周波数を変更する前に、モニターが変更後の周波数に対応しているかどうかを確認してください。
- Frequencyを変更すると、本機は再起動します。

■ フォーマット変更について

[System 1/2]画面で、フォーマットを現在選択中のものから変更すると、Format切り替え前確認画面を表示します。

Format切り替え前確認画面

```

#### Format ####

Do you want to set Format?
( 1080/23.98p(59.94i) )
OSD of some outputs
may be hidden.

⇨CANCEL
O.K.
    
```

- 画面中の()内には設定対象のフォーマットが表示されます。
- Format切り替え前確認画面で、[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、Format切り替え後確認画面が表示されます。

Format切り替え後確認画面

```

#### Format ####

Are you O.K.?

⇨No
Yes
    
```

- [Yes]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え後のフォーマットで[System 1/2]画面に戻ります。
- [No]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え前のフォーマットに再度変更した後に、[System 1/2]画面に戻ります。10秒以上操作しなかった場合も同様です。
- Formatを変更すると、IP映像配信は停止します。
- Formatを変更すると、各出力端子(3G SDI OUT*¹、HDMI)のFormatは、所定の値にリセットされます。

*¹ AW-UE50のみ

Output 1/5画面

```

## Output 1/5 ##

⇨3G SDI
  Format          1080/59.94p
  3G SDI Out      LevelA
  HDMI
  Format          2160/29.97p

Return
    
```

3G SDI (AW-UE50のみ)

3G SDI OUT端子の出力設定を行います。

Format

出力フォーマットを設定します。

[System 1/2]画面の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI)
59.94Hz	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF
	1080/23.98p(59.94i)* ¹	1080/23.98p(59.94i)* ¹
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	1080/25p
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	1080/25PsF	1080/25PsF
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF

*¹ 1080/23.98p over 59.94iを示します。

3G SDI Out [LevelA、LevelB]

[Format] (3G SDI)が[1080/59.94p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

LevelA	Level A方式
LevelB	Level B方式

〈NOTE〉

- [Format] (3G SDI)が[1080/59.94p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI Out]は変更できません。

HDMI

HDMI端子の出力設定を行います。

Format

出力フォーマットを設定します。

[System 1/2]画面の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (HDMI)
59.94Hz	2160/29.97p	2160/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p
	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	1080/29.97PsF ^{*1}	1080/29.97p ^{*1}
	1080/23.98p(59.94i) ^{*1, 2}	1080/23.98p(59.94p) ^{*1, 3}
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	2160/25p
	1080/50p	1080/50p
	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	1080/25PsF ^{*1}	1080/25p ^{*1}
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98PsF ^{*1}	1080/23.98p ^{*1}

^{*1} AW-UE50のみ

^{*2} 1080/23.98p over 59.94iを示します。

^{*3} 1080/23.98p over 59.94pを示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Output 2/5画面

## Output 2/5 ##	
⇨Bar	Camera
Color Bar Type	Type2
Tone	Normal
Audio	Off
Input Type	Line
Volume Level CH1	0dB
Volume Level CH2	0dB
Plugin Power	Off
Return	

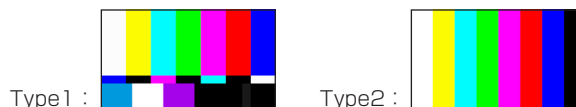
Bar [Camera, Colorbar]

カメラ映像とカラーバーの切り替えを行います。

Camera	カメラ映像
Colorbar	カラーバー

Color Bar Type [Type1、Type2]

表示するカラーバーのタイプを選択します。



Type1 : Type2 :

[Bar]が[Colorbar]のときに有効です。

Tone [Off, Low, Normal]

カラーバー映像のときに出力するテストトーン信号(1 kHz)に関する設定を行います。

Off	テストトーンを出力しません。
Low	テストトーンを小さめの音量で出力します。
Normal	テストトーンを通常の音量で出力します。

[Bar]が[Colorbar]のときに有効です。

Audio [Off, On]

Audio入力をOff/Onします。

Input Type [Mic, Line]

Mic	マイク入力に設定します。
Line	ライン入力に設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

Volume Level CH1 [-36dB ~ +12dB]

音声出力(CH1)のボリュームを設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

Volume Level CH2 [-36dB ~ +12dB]

音声出力(CH2)のボリュームを設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

Plugin Power [Off, On]

オーディオのプラグインパワーをOff/Onします。

[Audio]が[On]のときに有効です。

[Input Type]が[Mic]のときに有効です。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Output 3/5 画面

## Output 3/5 ##	
⇨ OSD Mix	
3G SDI	On
HDMI	On
IP/NDI HX	On
OSD Off with R-Tally	Off
OSD Status	Off
Return	

OSD Mix

カメラメニューやステータス表示のOff/Onを選択します。

3G SDI [Off, On] (AW-UE50のみ)

3G SDI OUT 端子から出力される映像に対するOff/Onを選択します。

HDMI [Off, On]

HDMI端子から出力される映像に対するOff/Onを選択します。

IP/NDI|HX [Off, On]

LAN端子から出力されるNDI以外の映像(H.264/H.265/JPEG/RTMP/SRT/NDI|HX)の映像に対するOff/Onを選択します。

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

(NOTE)

- 表示を[Off]に設定した場合でも、本機の電源をONにした後1分間は、カメラメニューを表示することができます。
- [Auto Tracking Mode]の[Target Marker]が[On]のとき、[OSD Mix]が[On]の端子でのみ追尾枠が表示されます。

OSD Off With R-Tally [Off, On]

赤タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。

赤タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

OSD Status [Off, On]

AWBおよびABB実行時のステータス表示、およびエラー発生時のエラー表示をOff/Onします。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Output 4/5 画面

## Output 4/5 ##	
⇨ Tally	Enable
Tally LED Limit	
R	Unlimit
G	Unlimit
B	Unlimit
Auto Tracking Tally	Disable
Tally Color	Amber
Tally Brightness	Low
Return	

Tally [Enable, Disable]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効[Disable]/有効[Enable]を設定します。

Tally LED Limit

各色(R/G/B)ごとに、タリーランプの点灯を抑止するかどうかを設定します。

R [Limit, Unlimit]

G [Limit, Unlimit]

B [Limit, Unlimit]

Limit	タリーランプの点灯を抑止します。
Unlimit	タリーランプを点灯させます。

(NOTE)

- [Tally LED Limit]で[Limit]を選択した場合、本機のタリーランプの点灯のみ抑止し、外部機器(AW-RP150、AW-RP60の盤面等)でのタリー状態表示は有効となります。
- 赤/緑タリーはタリー信号により点灯制御が可能です。青タリーはUSB Video Class/USB Audio Class動作中を示すランプです。

Auto Tracking Tally [Enable, Disable]

自動追尾の追尾状況をタリーランプで表示するかどうかの無効[Disable]/有効[Enable]を設定します。本設定が有効[Enable]の時、[Tally Color]で設定した色でタリーランプが点灯/点滅します。

指定した色で点灯 (オレンジ色/赤色/緑色)	自動追尾動作中です。 ([Tracking Status]が[Tracking]の状態です)
指定した色で点滅 (オレンジ色/赤色/緑色)	自動追尾が開始されているものの、追尾対象を検出できていない状態です。 ([Tracking Status]が[Lost]の状態です)
消灯	自動追尾が開始されていない状態です。 ([Auto Tracking Mode]が[Off]または[Tracking Status]が[Not Tracking]の時です)

(NOTE)

- 本設定が有効[Enable]の時でも、タリー信号(赤タリー信号/緑タリー信号)を受信した場合はタリー信号の点灯(赤点灯/緑点灯)を優先します。
- [Tally]がDisableの時、本項目が「Enable」であっても、自動追尾中にタリーランプは点灯/点滅しません。

Tally Color [Amber, Red, Green]

自動追尾の追尾状態でタリーランプで表示する点灯色を設定します。

(NOTE)

- [Tally LED Limit]のRまたはGがLimitに設定されている時、本設定で[Red]または[Green]が指定されている場合、自動追尾中にタリーランプは点灯/点滅しません。

Tally Brightness [Low, Mid, High]

タリーLEDの光量を調整します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Output 5/5画面

```

## Output 5/5 ##

⇨Status Lamp                      Enable
External Output
Output1                            Off
Output2                            Off

Return

```

Status Lamp [Enable、Disable]

状態表示ランプの無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。
本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[Disable]に設定してください。

<NOTE>

- [Disable]に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

External Output (AW-UE50のみ)

RS-422端子のExternal Outputの信号線(Output1、Output2)から出力する信号の種類を選択します。(→15ページ)

Output1 [Off、R-Tally、G-Tally]

Output2 [Off、R-Tally、G-Tally]

Off	信号を出力しません。
R-Tally	赤タリー信号受信状態を出力します。
G-Tally	緑タリー信号受信状態を出力します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Pan/Tilt画面

```

## Pan/Tilt ##

⇨Install Position                Desktop
P/T Speed Mode                  Normal(60deg/s)
Speed With Zoom Position        On
Focus Adjust With PTZ.          Off
Privacy Mode                     Off
Power On Position                Standby
Preset Number                    001

Return

```

Install Position [Desktop、Hanging]

本機の設置方法を[Desktop](据え置き)または[Hanging](吊り下げ)から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

<NOTE>

- [Hanging](吊り下げ)を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

P/T Speed Mode [Normal(60deg/s)、Fast1(90deg/s)、Fast2(180deg/s)]

Pan/Tilt動作のスピードを設定します。

Normal(60deg/s)	Pan/Tiltを通常スピード(最大約60°/秒)で動作させます。
Fast1(90deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード1(最大約90°/秒)で動作させます。
Fast2(180deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード2(最大約180°/秒)で動作させます。

Speed With Zoom Position [Off、On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

本機能はプリセット動作には効果がありません。

Focus Adjust With PTZ. [Off、On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、[Focus Mode]を[Auto]に設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに有効です。

Privacy Mode [Off、On]

本機をStandbyモードにしたときに、カメラの向きを後方に向ける機能のOff/Onを設定します。

Off	Standbyモードに移行したときのカメラの向きを変更しません。(Power On状態のときのカメラの向きを維持)
On	Standbyモードに移行したときに、カメラの向きを後方に移動します。 再度、Power On状態に移行したときは、[Power On Position]に従った位置に移動します。

<NOTE>

- [USB Auto Standby]が[On]のときは、[On]固定となり"----"表示となります。

Power On Position [Standby、Home、Preset]

電源を入れたとき、Pan/Tilt/Zoomの初期位置をどこにするかを選択します。

Standby	前回Standbyモードに移行したときのPan/Tilt/Zoomの位置に移動します。
Home	Pan/Tiltはホームポジション(正面)に移動し、Zoomはワイド端となります。
Preset	[Preset Number]で指定したプリセット位置でプリセット再生します。

〈NOTE〉

- [USB Auto Standby]が[On]のときは、[Standby]固定となり"----"表示となります。

Preset Number [001～100]

[Power On Position]で[Preset]が設定されているとき、電源ON時にプリセット再生する番号を指定します。

〈NOTE〉

- 未登録のプリセット番号が設定されている場合は、プリセット再生せずに[Standby]の動作となります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Preset 1/2 画面

## Preset 1/2 ##	
⇨Preset Speed Unit	Speed Table
Preset Speed Table	Fast
Preset Speed	20
Preset Scope	Mode A
Preset Digital Extender	Off
Preset Thumbnail Update	On
Preset Name	Reset
Return	

Preset Speed Unit [Speed Table、Time]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときに、その再生時間のスピードを指定するか時間を指定するかを選択します。

Speed Table	プリセット再生時に、スピードを指定して再生します。
Time	プリセット再生時に、時間を指定して再生します。

Preset Speed Table [Slow、Fast]

プリセットスピードのテーブル(Slow、Fast)を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った[Preset Speed](1～30)の値でプリセットを実行します。

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のときに有効です。

Preset Speed [1～30 / 1s～99s]

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のとき：[1～30]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

〈NOTE〉

- [Preset Speed]を大きな値に設定すると、停止するときに画面が揺らぐことがあります。

[Preset Speed Unit]が[Time]のとき：[1s～99s]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作時間を1秒～99秒で設定します。

〈NOTE〉

- パン・チルトの移動距離によっては、指定した時間と誤差が生じる場合があります。

Preset Scope [Mode A、Mode B、Mode C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

Mode A	Pan、Tilt、Zoom(デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan、Tilt、Zoom(デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan、Tilt、Zoom(デジタルズーム含む)、Focus

〈NOTE〉

- 以下のときは、プリセットメモリー再生時にFocus位置は再現されません。
 - [Focus Mode]が[Auto]のとき
 - [Focus Adjust with PTZ.]が[On]のとき

Preset Digital Extender [Off, On]

プリセットデジタルエクステンダー機能をOff/Onします。
 [On]に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。
 [Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

Preset Thumbnail Update [Off, On]

プリセットメモリーを登録したときに、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録する機能をOff/Onします。
 [On]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録します。
 [Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録せずに、事前に登録していた静止画(サムネール)を継続します。

〈NOTE〉

- [OSD Mix]の[IP/NDI|HX]が[On]の場合は、静止画(サムネール)の生成時に表示されているOSDメニューの文字列がサムネールに取り込まれます。
- Web画面等から、Camera(ALL)、Camera(SYSTEM)またはCamera(PRESET)のアップロードを実施した場合、プリセットメモリーで登録されている静止画(サムネール)は消去されます。(→126ページ)

Preset Name [Reset, Hold]

プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録されていたプリセット名称をリセットするか、維持するかの設定を行います。

Reset	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。 リセットするプリセット名称は、[Preset***]となります。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
Hold	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称を維持します。

〈NOTE〉

- 工場出荷時には、プリセット名称は[Preset***]が設定されています。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
- プリセット名称の登録は、Webブラウザから設定できます。
0～9、A～Z、a～z、_、半角スペース

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Preset 2/2 画面

## Preset 2/2 ##	
⇨Preset Iris	Off
Preset Shutter	On
Preset Zoom Mode	Mode A
Freeze During Preset	Off
Return	

Preset Iris [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときに、Irisに関する各種メニュー値を再現させるかどうかをOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時に以下の各メニューの値を再現させます。

- Picture Level
- Iris Mode
- Auto Iris Speed
- Auto Iris Window

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]または[Mode B]のときに有効です。

Preset Shutter [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときに、Shutterの設定値を再現させるかどうかをOff/Onします。

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]のときに有効です。
- プリセットメモリーを登録したときのフレームレートと、プリセットメモリーを再生するときのフレームレートが一致するときのみ、Shutter値を再現させます。

Preset Zoom Mode [Mode A, Mode B]

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

Mode A	パン・チルトの動作に合わせてズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作よりも速くズーム動作を行います。

Freeze During Preset [Off, On]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。
 [On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Maintenance 画面

```
## Maintenance ##  
  
⇨ Firmware Version  
IP Network  
Scene Copy  
Initialize  
Hour Meter  
HDMI Status  
Error Status  
  
Return
```

Firmware Version

本機に導入されているファームウェアのバージョンを確認できる [Firmware Version] 画面を表示します。

IP Network

本機に設定されている [IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway] の確認と設定ができる [IP Network] 画面を表示します。

Scene Copy

カメラ内部に記憶されている各 Scene の情報 ([Full Auto]/[Scene 1]/[Scene 2]/[Scene 3]) を相互にコピーします。

Initialize

カメラの設定値の初期化が行える [Initialize] 画面を表示します。操作の詳細については、「初期化 (Initialize) について」(→ 63 ページ) を参照してください。

Hour Meter

動作履歴を表示する [Hour Meter] 画面を表示します。

HDMI Status

HDMI 出力状態を表示する [HDMI Status] 画面を表示します。

Error Status

エラー発生状況を表示する [Error Status] 画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware Version 1/2 画面

```
### Firmware Version 1/2 ###  
  
System Version          V01.00  
  
CPU Software  
Main/Network            V01.00  
Camera                  V01.00  
Lens                    V01.00  
Servo                   V01.00  
  
⇨ Return
```

System Version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

CPU Software

Main/Network

メイン/ネットワークソフトのバージョンを表示します。

Camera

カメラソフトのバージョンを表示します。

Lens

レンズソフトのバージョンを表示します。

Servo

サーボソフトのバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware Version 2/2画面

```

### Firmware Version 2/2 ###

EEPROM
Main/Network          V01.00
FPGA
AVIO                   V01.00

⇨Return
    
```

EEPROM

Main/Network

メイン/ネットワークのEEPROMバージョンを表示します。

FPGA (AW-UE50のみ)

AVIO

映像信号処理部のバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

IP Network画面

```

### IP Network ###

IP Address              192.168.0.10
Subnet Mask             255.255.255.0
Default Gateway         192.168.0.1

Set Execute

⇨Return
    
```

IP Address

本機のIPアドレスを設定します。

[Set Execute]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

Subnet Mask

本機のサブネットマスクを設定します。

[Set Execute]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

Default Gateway

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

[Set Execute]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

Set Execute

[IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway]に設定している値を、本機に適用します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

〈NOTE〉

- DHCP機能が[On]のとき、IP Network設定の変更はできません。
- DHCP機能を使用しない場合は、Webブラウザのネットワーク設定画面から[DHCP]を[Off]に設定してください。(→109ページ)

Scene Copy画面

```

### Scene Copy ###

Scene Copy
From          Scene1
To            Scene1

Execute

⇨Return
    
```

Scene Copy

カメラ内部に記憶されている各Sceneの情報 ([Full Auto]/[Scene 1]/[Scene2]/[Scene3]) を相互にコピーします。

From [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

コピー元のSceneを選択します。

To [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

コピー先のSceneを選択します。

〈NOTE〉

- [Full Auto]、[Scene1] ～ [Scene3]間のコピーの場合、排他条件などにしたがって一部の設定値が変更される場合があります。
- [From]が[Full Auto]の場合、[Auto]で動作している項目においては、コピーを実施する時点で動作している設定値が適用されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Initialize画面

```

### Initialize ###

All
Scene All
Full Auto
Scene1
Scene2
Scene3

⇨Return
    
```

All

すべてのOSDメニューの設定値を工場出荷時の設定に戻します。

〈NOTE〉

以下の項目は初期化されません。

- ネットワーク設定
- [AWB]および[ABB]の調整値
- プリセットメモリの登録情報
- [System 1/2]画面の[Frequency]
- [System 1/2]画面の[Format]
- [Output 1/5]画面の[3G SDI]*¹ および[HDMI]の[Format]

*¹ AW-UE50のみ

Scene All

OSDメニューの設定値のうち、シーンファイルとして保存されるすべてのデータ (Full Auto、Scene1 ～ 3) の設定値を、工場出荷時の設定に戻します。

シーンファイルとして保存されるデータとは、OSDメニュー画面のタイトルが「*」で囲まれている画面内の各設定項目です。

(シーンファイルとして保存されないデータは、OSDメニュー画面のタイトルが「#」で囲まれている画面内の各設定項目です。)

Full Auto

Scene1

Scene2

Scene3

OSDメニューの設定値で、シーンファイルとして保存されるデータのうち、指定されたシーン番号 (Full Auto、Scene1 ～ 3のいずれか) の設定値を、工場出荷時の設定に戻します。

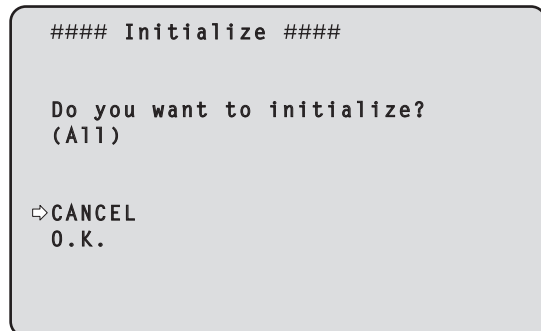
Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ 初期化 (Initialize) について

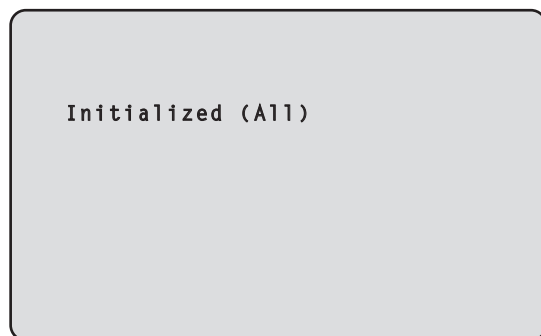
[Initialize]画面で[All/Scene All/Full Auto/Scene1/Scene2/Scene3]のいずれかを選択すると、Initialize確認画面が表示されます。

Initialize確認画面



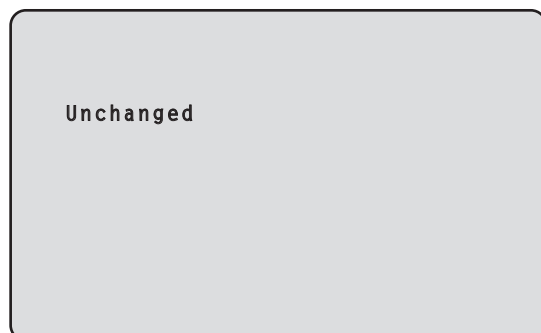
- Initialize確認画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、Initialize完了画面を5秒間表示し、カメラの各種設定値を工場出荷時の設定に戻します。

Initialize完了画面

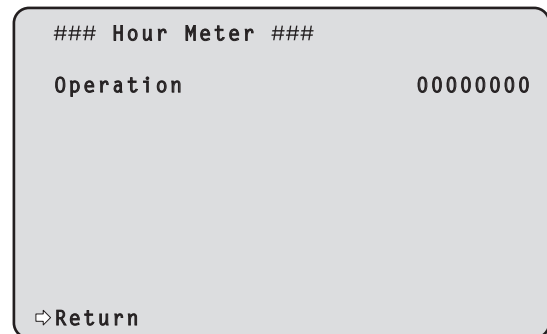


- Initialize確認画面で[CANCEL]にカーソルを合わせ決定すると、Initializeキャンセル画面を5秒間表示し、初期化動作を行わずに[Initialize]画面へ戻ります。

Initializeキャンセル画面



Hour Meter 画面



Operation

本機に通電が行われた累積時間を表示します。(8桁の数値)

Return

一階層上のメニューに戻ります。

HDMI Status 画面

```

### HDMI Status ###

Connect                      HDMI
Format                      2160/29.97p
Video Sampling YPbPr 4:2:2/10bit
Monitor                      Available

⇨Return
    
```

Connect

HDMI端子の接続状態を表示します。
接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

Unconnect	接続されていません。
HDMI	HDMI形式で接続されています。
DVI	DVI形式で接続されています。

Format

HDMI端子から出力されている映像のフォーマットを表示します。
[Output 1/5]画面の[HDMI]の[Format]で指定されているものと
同じフォーマットが表示されます。

Video Sampling

HDMI端子から出力されている映像のビデオサンプリングが表示されます。
メニューおよび接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

---	[Connect]がHDMI以外の場合に表示されます。
RGB 8bit	[Connect]がHDMIで、RGB 8bitで出力している場合に表示されます。
YPbPr 4:2:2/10bit	[Connect]がHDMIで、YPbPr 4:2:2/10bitで出力している場合に表示されます。

Monitor

HDMI端子の接続先のデバイス/モニターの状態を表示します。
接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

---	[Connect]がHDMI以外の場合に表示されます。
Available	[Connect]がHDMIで、本機が出力するフォーマットに対して、接続先のデバイス/モニターが対応できているときに表示します。
Unsupport UHD	[Connect]がHDMIで、本機が出力するフォーマットに対して、接続先のデバイス/モニターが非対応の内容を表示します。
Unsupport Format	[Connect]がHDMIで、接続先のデバイス/モニターが上記以外の要因で非対応のときに表示されます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Error Status 画面

```

### Error Status ###

Lens                        No Error
Pan/Tilt                   No Error
Temperature                 No Error

⇨Return
    
```

Lens [No Error、Error]

Lensのエラー状況を表示します。

No Error	Lensは正常動作しています。
Error	Lensのエラーが発生しています。

Pan/Tilt [No Error、Error]

パン・チルト駆動部のエラー状況を表示します。

No Error	パン・チルト駆動部は正常動作しています。
Error	パン・チルト駆動部のエラーが発生しています。

Temperature [No Error、High Temperature、Sensor Error]

温度関連のエラー状況を表示します。

No Error	正常動作温度範囲内です。
High Temperature	高温状態になっています。
Sensor Error	温度センサーが壊れている可能性があります。

<NOTE>

- 上記の各エラーが発生した場合、IP/シリアル経由での外部機器（AW-RP150またはAW-RP60等）に対してエラー通知を行うため、外部機器側でのエラー表示が可能です。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

カメラメニュー項目一覧

カメラメニュー			項目	出荷時設定				選択項目
Top Menu	Camera	Scene	Scene	Full Auto				Full Auto, Scene1, Scene2, Scene3
			(Sceneモードごとに出荷設定が異なる)	[Full Auto] 時	[Scene1] 時	[Scene2] 時	[Scene3] 時	
			Brightness 1/2	Picture Level 0				-50 ~ +50 (step: 1)
				Iris Mode - - - (Auto) Auto Auto Manual				Manual, Auto
				Auto Iris Speed Normal				Slow, Normal, Fast
				Auto Iris Window Normal1				Normal1, Normal2, Center, Full
				Iris Limit - - - (Off) Off				Off, On
				Shutter Mode - - - (ELC) ELC Off				Off, Step, Synchro, ELC
				Step/Synchro ([Shutter Mode]が [Step]のとき) [59.94Hz] - - - (1/100) [59.94Hz] 1/100 [50Hz] - - - (1/120) [50Hz] 1/120				59.94p/59.94iモード 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000 29.97pモード 1/30, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000 23.98p/24pモード 1/24, 1/48, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000 50p/50iモード 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000 25pモード 1/25, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000
				Step/Synchro ([Shutter Mode]が [Synchro]のとき) [59.94Hz] - - - (60.0Hz) [59.94Hz] 60.0Hz [50Hz] 50.0Hz [50Hz] 50.0Hz				59.94p/59.94iモード 60.0 Hz ~ 7200 Hz 29.97pモード 30.0 Hz ~ 7200 Hz 23.98p/24pモード 24.0 Hz ~ 7200 Hz 50p/50iモード 50.0 Hz ~ 7200 Hz 25pモード 25.0 Hz ~ 7200 Hz
				ELC Limit ([Shutter Mode]が [ELC]のとき) - - - (1/2000) 1/2000 1/250 1/2000				1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
			Brightness 2/2	Gain - - - (Auto) Auto Auto 0dB				([Super Gain]が[On]のとき) Auto, 0dB ~ 42dB (step: 1dB) ([Super Gain]が[Off]のとき) Auto, 0dB ~ 36dB (step: 1dB)
				Super Gain - - - (Off) Off On Off				Off, On
				AGC Max Gain - - - (24dB) 24dB 36dB 24dB				6dB, 12dB, 18dB, 24dB, 30dB, 36dB
				Frame Mix - - - (Auto) Auto Auto Off				Auto, Off, 6dB, 12dB, 18dB, 24dB
				Auto F.Mix Max Gain 6dB 6dB 18dB 0dB				0dB, 6dB, 12dB, 18dB
				Backlight COMP. Off				Off, On
				Backlight COMP. Level Low				Low, Mid, High
				Spotlight COMP. Off				Off, On
				Flicker Suppression Off				Off, On

カメラメニュー項目一覧（つづき）

カメラメニュー				項目	出荷時設定				選択項目	
Top Menu	Camera	Scene	(Sceneモードごとに出荷設定が異なる)		[Full Auto] 時	[Scene1] 時	[Scene2] 時	[Scene3] 時		
			Picture	Picture 1/3	White Balance Mode	ATW			AWB A	ATW, AWB A, AWB B, 3200K, 5600K, VAR
					Color Temperature	3200K				2000K ～ 15000K
					R Gain	0				‐200 ～ +200
					B Gain	0				‐200 ～ +200
					AWB Color TEMP. Info	3200K				2000K ～ 15000K
					AWB Gain Offset	Off				Off, On
					ATW Speed	Normal				Normal, Slow, Fast
					ATW Target R	0				‐10 ～ +10
					ATW Target B	0				‐10 ～ +10
			Picture 2/3	Chroma Level	0%				Off, ‐99% ～ 99% (step: 1%)	
				Chroma Phase	0				‐31 ～ +31	
				Master Pedestal	0				‐200 ～ +200 (step: 1)	
				Detail	On				Off, On	
				Master Detail	0				‐31 ～ +31	
				Detail Coring	15				0 ～ 60	
				V Detail Level	0				‐7 ～ +7	
				Skin Detail	Off				Off, On	
				Skin Detail Effect	16				0 ～ 31	
			Picture 3/3	Gamma Mode	‐ ‐ ‐ (Normal)	Normal			Normal, HD, Cinema1, Cinema2, Still Like	
				Gamma	‐ ‐ ‐ (0.45)	0.45			0.30 ～ 0.75 (step: 0.01)	
				DRS	‐ ‐ ‐ (Off)	Off			Off, Low, Mid, High	
				Knee Mode	‐ ‐ ‐ (Auto)	Auto			Off, Auto, Low, Mid, High	
				White Clip	On				Off, On	
				White Clip Level	109%				90% ～ 109% (step: 1%)	
DNR	Low				Off, Low, High					

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー				項目	出荷時設定				選択項目	
Top Menu	Camera	Scene	(Sceneモードごとに出荷設定が異なる)		[Full Auto]	[Scene1]	[Scene2]	[Scene3]		
					時	時	時	時		
			Matrix	Matrix 1/5	Matrix Type	Normal				Normal, Professional, User
					Adaptive Matrix	Off				Off, On
			Matrix 2/5	Matrix 2/5	[Linear Matrix]					
					R-G	0				-63～+63
					R-B	0				-63～+63
					G-R	0				-63～+63
					G-B	0				-63～+63
					B-R	0				-63～+63
					B-G	0				-63～+63
			Matrix 3/5	Matrix 3/5	[Color Correction 1/3]					
					B_Mg Saturation	0				-63～+63
					B_Mg Phase	0				-63～+63
					Mg Saturation	0				-63～+63
					Mg Phase	0				-63～+63
					Mg_R Saturation	0				-63～+63
					Mg_R Phase	0				-63～+63
					Mg_R_R Saturation	0				-63～+63
					Mg_R_R Phase	0				-63～+63
					R Saturation	0				-63～+63
					R Phase	0				-63～+63
					R_R_YI Saturation	0				-63～+63
					R_R_YI Phase	0				-63～+63
			Matrix 4/5	Matrix 4/5	[Color Correction 2/3]					
					R_YI Saturation	0				-63～+63
					R_YI Phase	0				-63～+63
					R_YI_YI Saturation	0				-63～+63
					R_YI_YI Phase	0				-63～+63
					YI Saturation	0				-63～+63
					YI Phase	0				-63～+63
					YI_YI_G Saturation	0				-63～+63
					YI_YI_G Phase	0				-63～+63
					YI_G Saturation	0				-63～+63
					YI_G Phase	0				-63～+63
					G Saturation	0				-63～+63
					G Phase	0				-63～+63
			Matrix 5/5	Matrix 5/5	[Color Correction 3/3]					
					G_Cy Saturation	0				-63～+63
					G_Cy Phase	0				-63～+63
					Cy Saturation	0				-63～+63
					Cy Phase	0				-63～+63
					Cy_B Saturation	0				-63～+63
					Cy_B Phase	0				-63～+63
B Saturation	0				-63～+63					
B Phase	0				-63～+63					
Lens			Focus Mode	Auto				Auto, Manual		
			AF Sensitivity	Normal				Normal, Stable, Stable2		
			Zoom Mode	Opt.Zoom				Opt.Zoom, i.Zoom, D.Zoom		
			Max Digital Zoom	x10				x2～x10 (step: 1)		
			Digital Extender	Off				Off, x1.4, x2.0		
			O.I.S. Mode	Off				Off, O.I.S.		

カメラメニュー項目一覧（つづき）

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目	
Top Menu	System	System 1/2	Frequency	59.94Hz	59.94Hz, 50Hz, 24Hz, 23.98Hz	
			Format	1080/59.94p	([Frequency] が [59.94Hz] のとき) 2160/29.97p, 1080/59.94p, 1080/59.94i, 1080/29.97p, 1080/29.97PsF*1, 1080/23.98p(59.94i)*1.2, 720/59.94p ([Frequency] が [50Hz] のとき) 2160/25p, 1080/50p, 1080/50i, 1080/25p, 1080/25PsF*1, 720/50p ([Frequency] が [24Hz] のとき) 2160/24p, 1080/24p ([Frequency] が [23.98Hz] のとき) 2160/23.98p, 1080/23.98p, 1080/23.98PsF*1	
			Wireless Control	Enable	Enable, Disable	
			Wireless ID	CAM1	CAM1, CAM2, CAM3, CAM4	
			USB			
			USB Mode	Off	Off, On	
			USB Auto Active	On	Off, On	
			USB Auto Standby	Off	Off, On	
			Video Conference Mode	Off	Off, On	
		System 2/2	Auto Tracking Mode	Off	Off, On	
			Angle	Off	Off, Full Body, Upper Body	
			Target Marker	Off	Off, On	
			Tracking Status	—	Not Tracking, Tracking, Lost	
			Tracking Start	—	Execute	
			Tracking Stop	—	Execute	
			Tracking Auto Start	Enable	Enable, Disable	
			Home Position	Preset1	Preset1, Preset2, Preset3, None, Wide	
	Output	Output 1/5	3G SDI*1			
			Format	1080/59.94p	[System Format] 2160/29.97p 1080/59.94p 1080/59.94i 1080/29.97p 1080/29.97PsF 1080/23.98p(59.94i)*2 720/59.94p 2160/25p 1080/50p 1080/50i 1080/25p 1080/25PsF 720/50p 2160/24p 1080/24p 2160/23.98p 1080/23.98p 1080/23.98PsF	[3G SDI] 1080/29.97p 1080/59.94p 1080/59.94i 1080/29.97p 1080/29.97PsF 1080/23.98p(59.94i)*2 720/59.94p 1080/25p 1080/50p 1080/50i 1080/25p 1080/25PsF 720/50p 1080/24p 1080/24p 1080/23.98p 1080/23.98p 1080/23.98PsF
3G SDI Out			LevelA	LevelA, LevelB		

*1 AW-UE50のみ

*2 1080/23.98p over 59.94iを示します。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目	
Top Menu	Output	Output 1/5	HDMI			
			Format	1080/59.94p	[System Format]	[HDMI]
					2160/29.97p	2160/29.97p
					1080/59.94p	1080/59.94p
					1080/59.94i	1080/59.94i
					1080/29.97p	1080/29.97p
					1080/29.97PsF*1	1080/29.97p*1
					1080/23.98p(59.94i)*1, 2	1080/23.98p(59.94p)*1, 3
					720/59.94p	720/59.94p
					2160/25p	2160/25p
					1080/50p	1080/50p
					1080/50i	1080/50i
					1080/25p	1080/25p
					1080/25PsF*1	1080/25p*1
					720/50p	720/50p
		2160/24p	2160/24p			
		1080/24p	1080/24p			
		2160/23.98p	2160/23.98p			
		1080/23.98p	1080/23.98p			
		1080/23.98PsF*1	1080/23.98p*1			
		Output 2/5	Bar	Camera	Camera, Colorbar	
			Color Bar Type	Type2	Type1, Type2	
			Tone	Normal	Off, Low, Normal	
			Audio	Off	Off, On	
			Input Type	Line	Mic, Line	
			Volume Level CH1	0dB	-36dB ~ +12dB (step: 3dB)	
			Volume Level CH2	0dB	-36dB ~ +12dB (step: 3dB)	
		Output 3/5	Plugin Power	Off	Off, On	
			OSD Mix			
			3G SDI*1	On	Off, On	
	HDMI		On	Off, On		
	IP/NDI HX		On	Off, On		
	Output 4/5	OSD Off With R-Tally	Off	Off, On		
		OSD Status	Off	Off, On		
		Tally	Enable	Enable, Disable		
Tally LED Limit						
R		Unlimit	Limit, Unlimit			
G		Unlimit	Limit, Unlimit			
B		Unlimit	Limit, Unlimit			
Auto Tracking Tally		Disable	Enable, Disable			
Output 5/5	Tally Color	Amber	Amber, Red, Green			
	Tally Brightness	Low	Low, Mid, High			
	Status Lamp	Enable	Enable, Disable			
	External Output*1					
	Output1	Off	Off, R-Tally, G-Tally			
Pan/Tilt	Output2	Off	Off, R-Tally, G-Tally			
	Install Position					
	Desktop		Desktop, Hanging			
	P/T Speed Mode		Normal(60deg/s), Fast1(90deg/s), Fast2(180deg/s)			
	Speed with Zoom Position		On			
	Off, On					
	Focus Adjust With PTZ.		Off, On			
Off						
Privacy Mode		Off, On				
Off						
Power On Position		Standby				
Standby						
Preset Number		001				
001 ~ 100						

*1 AW-UE50のみ

*2 1080/23.98p over 59.94iを示します。

*3 1080/23.98p over 59.94pを示します。

カメラメニュー項目一覧（つづき）

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目
Top Menu	Preset	Preset 1/2	Preset Speed Unit	Speed Table	Speed Table, Time
			Preset Speed Table	Fast	Slow, Fast
			Preset Speed ([Preset Speed Unit] が[Speed Table]のとき)	20	1～30
			Preset Speed ([Preset Speed Unit] が[Time]のとき)	20s	1s～99s
			Preset Scope	Mode A	Mode A, Mode B, Mode C
			Preset Digital Extender	Off	Off, On
			Preset Thumbnail Update	On	Off, On
			Preset Name	Reset	Reset, Hold
		Preset 2/2	Preset Iris	Off	Off, On
			Preset Shutter	On	Off, On
			Preset Zoom Mode	Mode A	Mode A, Mode B
			Freeze During Preset	Off	Off, On
	Maintenance	Firmware Version	System Version	出荷バージョン	- - -
			CPU Software		
			Main/Network	出荷バージョン	- - -
			Camera	出荷バージョン	- - -
			Lens	出荷バージョン	- - -
			Servo	出荷バージョン	- - -
		Firmware Version 2/2	EEPROM		
			Main/Network	出荷バージョン	- - -
			FPGA*1		
			AVIO	出荷バージョン	- - -
		IP Network	IP Address	192.168.0.10	- - -
			Subnet Mask	255.255.255.0	- - -
			Default Gateway	192.168.0.1	- - -
		Scene Copy	From	Scene1	Full Auto, Scene1, Scene2, Scene3
			To	Scene1	Full Auto, Scene1, Scene2, Scene3
		Initialize	All	- - -	CANCEL, O.K.
			Scene All	- - -	CANCEL, O.K.
			Full Auto		
			Scene1	- - -	CANCEL, O.K.
			Scene2	- - -	CANCEL, O.K.
			Scene3	- - -	CANCEL, O.K.
		Hour Meter	Operation	00000000	- - -
		HDMI Status	Connect	- - -	- - -
			Format	- - -	- - -
			Video Sampling	- - -	- - -
			Monitor	- - -	- - -
		Error Status	Lens	No Error	No Error, Error
			Pan/Tilt	No Error	No Error, Error
			Temperature	No Error	No Error, High Temperature, Sensor Error

*1 AW-UE50のみ

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピュータをつないで、WebブラウザからカメラのIP映像を見たり、各種の設定を行うことができます。

本機のIP制御用LAN端子とパーソナルコンピュータを直接接続する場合はLANクロスケーブルを、スイッチングハブなどを介して接続する場合はLANストレートケーブルを使用します。

パーソナルコンピュータのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

〈NOTE〉

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)*1

IPアドレス : 192.168.0.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

*1 工場出荷時の設定の場合、プライベートアドレスの可変可能範囲は、192.168.0.1～192.168.0.255までとなります。

- コントローラーとWebブラウザを同時に使用している場合、コントローラーで設定した内容がWebブラウザの表示に反映されないことがあります。
このような使い方をする場合は、必ずコントローラーかカメラメニューで設定内容を確認してください。

必要なパーソナルコンピュータの環境については、7ページを参照してください。

〈NOTE〉

- Web設定画面における一部の機能は、Windows Internet Explorer 11からのみ利用できます。
Windows Internet Explorer 11のみ利用可能な機能には、**Windows I.E.11** マークを付けて記載しています。
- Windows Internet Explorer 11で本機のIP映像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされている必要があります。
Windows Internet Explorer 11以外のWebブラウザを使用する場合は必要ありません。
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→27ページ)を参照してください。

パーソナルコンピュータによるWeb画面の表示

本書では、Windows (Internet Explorer) の画面をもとに説明しています。それ以外のブラウザの場合、画面上の表示が一部異なりますが、同様の手順となります。

1. パーソナルコンピュータのWebブラウザを起動する

パーソナルコンピュータに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザを使用してください。

搭載OS	Webブラウザ
Windows	Windows 10 / Internet Explorer 11 Windows 10 / Microsoft Edge Windows 10 / Google Chrome
macOS	macOS v11.0.1 / Safari 14.01 macOS v11.0.1 / Google Chrome macOS V10.15 / Google Chrome macOS V10.14 / Google Chrome

2. IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、Webブラウザのアドレスボックスに入力する

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/



IPv6アドレスの入力例：

http://[IPv6アドレスで登録したURL]
http://[2001:db8::10]/

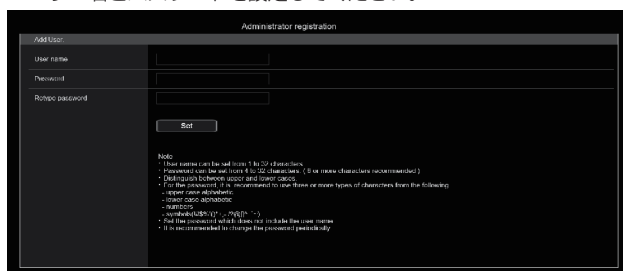


〈NOTE〉

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.10:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザ(メニューバーの[ツール] - [インターネットオプション])からプロキシサーバーの設定を行ってください。
- ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]の[HTTPS] - [Connection] (→113ページ)で[HTTPS]を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」(→120ページ)を参照してください。

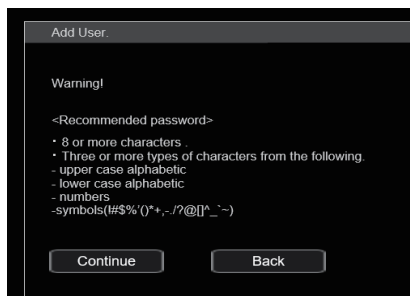
3. 初期アカウントを設定する

初期状態でWeb画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。
ユーザー名とパスワードを設定してください。



〈NOTE〉

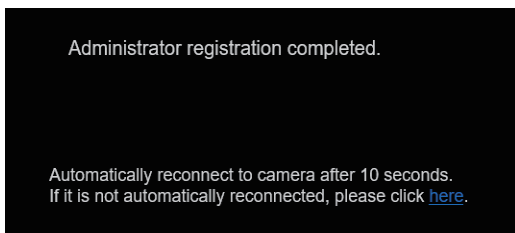
- 第3者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて8文字以上で設定してください。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~)
- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は[Back]ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[Continue]をクリックして設定を完了してください。
- 設定したアカウント情報を忘れた場合、サービススイッチの初期化用SWを使用してネットワーク接続用のユーザー情報をリセットしてください。(→15ページ)



4. 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。
完了画面表示後10秒程度経過すると自動でライブ画面[Live]が表示されます。10秒以上経過してもライブ画面[Live]に移行しない場合は、「please click here」のリンクからライブ画面[Live]に手動で移動してください。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。



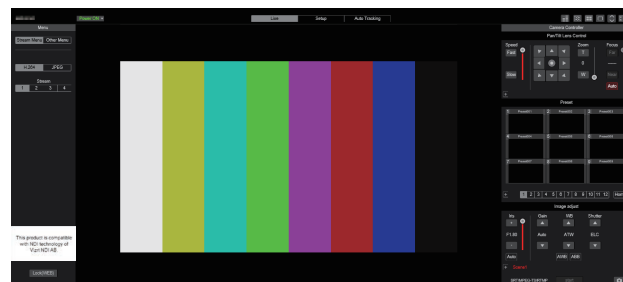
〈NOTE〉

- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→26ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

5. ライブ画面 [Live] を表示する

Web画面が表示されます。

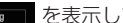
初期画面は、ライブ画面[Live] (→74ページ)が表示されますので、必要に応じてWeb設定画面[Setup] (→80ページ)に切り替えてください。(→73ページ)



〈NOTE〉

- 表示用プラグインソフトウェアがインストールされていないパーソナルコンピュータでは、ライブ画面[Live]が表示される前に、インストール確認メッセージが表示されます。その場合は、画面に従ってインストールしてください。 [Windows I.E.11](#)
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→27ページ)を参照してください。
- ご使用のパーソナルコンピュータのファイアウォールの設定によって、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ファイアウォールの設定を変更し、ご使用のWebブラウザの通信を許可する設定を行ってください。
- 1台のパーソナルコンピュータで複数のIP映像を表示しようとすると、パーソナルコンピュータの性能によっては、IP映像が表示されない場合があります。
本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP映像を受信しているユーザーと合わせて最大14人までです。ただし、本機が使用するネットワーク通信帯域に応じて、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。[H.264]および[H.265]の[Transmission type]を[Multicast port]に設定したとき、H.264およびH.265画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- [H.264 transmission] (→90ページ)を[On]に設定すると、H.264画像が表示されます。[Off]に設定すると、JPEG画像が表示されます。[H.264 transmission]を[On]に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。 [Windows I.E.11](#)
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- USB映像の配信中は、IP映像配信が以下に制限されます。
 - H.264/H.265 : 配信不可
 - M-JPEG : 640×360 1fpsで1ストリームのみ配信可

ライブ画面 [Live]/Web設定画面 [Setup]/自動追尾画面 [Auto Tracking] の切り替え

ライブ画面 [Live]    を表示しているときに、ライブ画面 [Live] 上部の [Setup] ボタン  または [Auto Tracking] ボタン  をクリックします。

ライブ画面 [Live] についての詳細は、「ライブ画面 [Live]」（→74ページ）をご覧ください。
Web設定画面 [Setup] についての詳細は、「Web設定画面 [Setup]」（→80ページ）をご覧ください。
自動追尾画面 [Auto Tracking] についての詳細は、「自動追尾画面 [Auto Tracking]」（→79ページ）をご覧ください。

〈NOTE〉

- スタンバイ中は [Setup] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup] に切り替えることができません。
- Web設定画面 [Setup] または自動追尾画面 [Auto Tracking] を表示しているときに、他の端末から本機を Standby モードに切り替えた場合、数秒後にライブ画面 [Live] 表示へ自動的に切り替わります。

Web画面へのログイン

ユーザー認証有効時

ライブ画面 [Live] または自動追尾画面 [Auto Tracking] を表示するとき

Camera control または Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

Web設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

ユーザー認証無効時

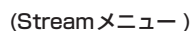
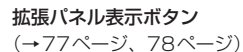
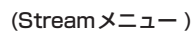
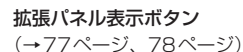
ライブ画面 [Live] または自動追尾画面 [Auto Tracking] を表示するとき
アカウント情報の入力はありません。

Web設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

〈NOTE〉

- アカウント入力画面は Web ブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- Standby モード中は [Setup] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup] を表示することができません。



1. メニュー切り替え [Stream Menu]/[Other Menu]

メニュー表示を切り替えます。

Streamメニューを表示しているときに[Other Menu]をクリックすると、Otherメニューが表示されます。

Otherメニューを表示しているときに[Stream Menu]をクリックすると、Streamメニューが表示されます。

2. Compressionボタン [Compression]

H.264 [H.264]	[H.264] ボタンが灰色に変わり、H.264画像が表示されます。 Windows I.E.11 IP 映像設定で[H.264(1)]～[H.264(4)]の[H.264 transmission]を[On]に設定すると、[H.264] ボタンが有効になります。(→90ページ)
JPEG [JPEG]	[JPEG] ボタンが灰色に変わり、JPEG画像が表示されます。

〈NOTE〉

- 次のような場合、[Compression]ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→89ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を再更新した場合

3. Streamボタン [Stream]

H.264選択時

このボタンは、H.264画像が表示されているときに表示されます。

[Windows I.E.11](#)

1 [1]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(1)]で設定した内容(→90ページ)に従って表示されます。
2 [2]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(2)]で設定した内容(→90ページ)に従って表示されます。
3 [3]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(3)]で設定した内容(→90ページ)に従って表示されます。
4 [4]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(4)]で設定した内容(→90ページ)に従って表示されます。

〈NOTE〉

- 次のような場合、[Stream]ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→89ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合
- 選択したH.264画像の解像度設定が[1920×1080]または[1280×720]の場合、Webブラウザー画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

JPEG選択時

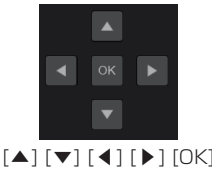
このボタンは、JPEG画像が表示されているときに表示されます。

1 [1]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(1)]で設定した内容(→89ページ)に従って表示されます。
2 [2]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(2)]で設定した内容(→89ページ)に従って表示されます。
3 [3]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(3)]で設定した内容(→89ページ)に従って表示されます。

〈NOTE〉

- [Video over IP] - [JPEG]の[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] (→89ページ)で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が[1920×1080]または[1280×720]の場合、Webブラウザーの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size]ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→89ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合

4. OSDメニュー操作 [OSD Menu]

ON OFF [ON] [OFF]	カメラのOSDメニューの表示・非表示を切り替えます。
Cancel [Cancel]	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
 [▲] [▼] [◀] [▶] [OK]	メニュー操作を行います。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK]ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[OK]ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK]ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニューもあります。

5. カラーバーボタン [Color bar]

ON OFF [ON] [OFF]	カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。
Bars Type Type2 [Type 1] [Type2]	表示するカラーバーのType1、Type2を切り替えます。 [Color bar]が[ON]のときに有効です。

6. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

Power ON ▼ [Power ON]	本機の電源がONになります。
Standby ▼ [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

スタンバイ時、ライブ画面 [Live] では [Power ON] ボタン、[Standby] ボタンを除くすべてのボタンは無効になります。

〈NOTE〉

- [Power ON] と [Standby] をすばやく切り替えると、状態と表示が一致なくなることがあります。この場合、以下の操作で正しい状態表示に戻ります。

Windowsの場合

[F5] キーを押す

Macの場合

[Command] + [R] キーを押す

• **Standbyモード移行時：**

現在のPan/Tilt/Zoomの位置を記憶します。[Power ON Position] メニューで [Standby] を選択したときに、記憶した位置情報を使用します。

• **Power ONモード移行時：**

[Power ON Position] メニューで選択した位置にPan/Tilt/Zoomを移動します。

7. 操作ロックボタン [Lock]

Lock(WEB) [Lock(WEB)]	ライブ画面 [Live] と自動追尾画面 [Auto Tracking] のパン・チルト・ズーム・フォーカス・アイリス・ゲイン・ホワイトバランス・シャッター・プリセットなどの操作をロックし、誤動作を防止することができます。ロック中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすることでロックを解除できます。
Lock(CAM) [Lock(CAM)]	当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) のカメラロック機能により、本機がロック状態となった場合に表示され、クリックすることでカメラロック状態を解除することができます。

〈NOTE〉

- [Lock (WEB)] 機能によるロック状態は実行したWebブラウザで状態を保持しているため、Webブラウザを再表示するとロック状態は解除されます。
- [Lock (CAM)] 機能によるロック状態はカメラ本体に保持しているため、当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) でカメラロック機能を解除するか、ロック中にWebブラウザから [Lock (CAM)] を解除する必要があります。
- Webブラウザから [Lock (CAM)] 機能を有効にすることはできません。

8. メインエリア (IP映像表示エリア)



接続中のカメラのIP映像が表示されます。

カメラのタリーランプが点灯中の場合、映像の上部に赤と緑のラインが表示されます。赤タリー信号受信時には赤のライン、緑タリー信号受信時には緑のラインが表示されます。

タリーランプが消灯すると、元に戻ります。

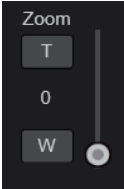
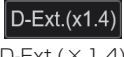
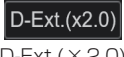
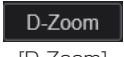
エリア内部をクリックすると、クリックした箇所がエリアの中央に移動するようにカメラの向きが移動します。

エリア内でマウスホイールを操作すると、表示用プラグインソフトウェアによるデジタルズームが可能です。 [Windows I.E.11](#)

〈NOTE〉

- お使いのパーソナルコンピュータによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載OSの描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面の一部がずれて表示される現象) が発生することがあります。
- Windows Internet Explorer 11 では、[H.264 transmission] (→90ページ) を [On] に設定すると、H.264映像が表示可能です。
- Windows Internet Explorer 11 以外では、[H.264 transmission] の設定にかかわらず、JPEG画像のみ表示可能です。(H.264映像は表示できません。)
- JPEG画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP映像を受信しているユーザーを合計した14人までです。ただし、IP映像の通信帯域が上限に達した場合は、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。
- [Tally] (→56ページ、85ページ) を [Disable] に設定した場合は、タリー信号が入力されていても本機のタリーランプは点灯しませんが、メインエリア (IP映像表示エリア) の上部に赤と緑のラインが表示されます。
- 本機垂直方向に対し±15°のチルト範囲内では、クリックした箇所がエリアの中央に移動するようにカメラの向きが移動しない場合があります。
- Webカメラとして映像の配信中は、Live画面映像は表示されません。

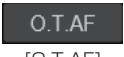
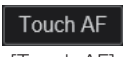
9. ズーム [Zoom]

 [T] [W]	[T]: ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。 [W]: ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。 中央に光学ズーム位置が数値で表示されます。 数値範囲: 000 (ワイド端) ~ 999 (光学テレ端)
	PTZ用拡張パネル表示ボタン ズーム用ボタン [D-Zoom]、[D-Ext.(× 1.4)]、[D-Ext.(× 2.0)]、[× 1.0] とフォーカス用ボタン [O.T.AF]、[Touch AF] (→ 77 ページ) を表示します。 表示中は [−] ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。
 [× 1.0]	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
 [D-Ext.(× 1.4)]	デジタルエクステンダー x1.4 の有効/無効を切り替えます。
 [D-Ext.(× 2.0)]	デジタルエクステンダー x2.0 の有効/無効を切り替えます。
 [D-Zoom]	デジタルズームの有効/無効を切り替えます。

(NOTE)

- デジタルズーム領域のズーム操作時は、光学ズーム位置を表す数値は変化しません。
- デジタルズームが有効な場合、光学ズーム位置が光学テレ端の 999 であっても、[T] ボタンをクリックすることでデジタルズームによるズームインを行うことができます。
- ライブ画面 [Live] 表示直後、[D-Zoom]、[D-Ext.(× 1.4)]、[D-Ext.(× 2.0)]、[× 1.0] ボタンは表示されていません。[PTZ用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

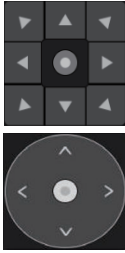
10. フォーカス [Focus]

 [Far] [Near]	[Far]: フォーカス (焦点) を「遠 (Far)」方向に調整します。オート時は無効です。 [Near]: フォーカス (焦点) を「近 (Near)」方向に調整します。オート時は無効です。 中央にフォーカス距離が数値で表示されます。 数値範囲: 00 (Near) ~ 99 (Far)
 [Auto]	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、自動的にフォーカス (焦点) を調整します。
 [O.T.AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、一度だけ自動でフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。[PTZ用拡張パネル表示ボタン] (→ 77 ページ) を押すと表示されます。
 [Touch AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、タッチしたエリアに自動的にフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。[PTZ用拡張パネル表示ボタン] (→ 77 ページ) を押すと表示されます。

(NOTE)

- ライブ画面 [Live] 表示直後、[O.T.AF]、[Touch AF] ボタンは表示されていません。[PTZ用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

11. コントロールパッド/ボタン

	画像の水平位置・垂直位置の調整 (パン・チルト) は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。 中央のグリップボタンをドラッグした状態で操作することができ、パッドの外側に行くほどパン・チルト動作の速度は速くなります。
--	---

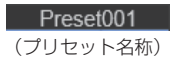
12. 明るさ [Iris]

 [+] [−]	[+]: アイリスを開く方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 [−]: アイリスを閉じる方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 中央に F 値が表示されます。
 [Auto]	アイリス調整のオート/マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。

13. スピード [Speed]

 [Fast] [Slow]	パン・チルト・ズーム・フォーカスの各動作速度を切り替えます。 パン・チルト動作速度は、パッド操作に反映され、グリップボタン操作には反映されません。
---	--

14. プリセット [Preset]

	プリセットサムネールをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。 Home, Preset 1 ~ Preset 100 が選択できます。プリセットポジション登録済みのプリセット番号は緑色で表示されます。
	プリセット名称を表示します。 プリセット登録モード中にプリセット名称を選択して表示名を変更することができます。 半角 1 ~ 15 文字を入力できます。 使用可能な文字は 0 ~ 9、A ~ Z、a ~ z、半角スペース、_ (アンダースコア) です。
 [1] - [12]	表示されているプリセットサムネールのページを切り替えます。
 [Home]	ホームポジションへ移動します。
	Presets用拡張パネル表示ボタン プリセット用ボタン [SET]、[DEL] を表示します。 表示中は [−] ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。
 [SET]	プリセット登録モードに移行します。 プリセット登録モード中にプリセットサムネールをクリックすると、現在の状態を指定したプリセットポジションへ登録します。
 [DEL]	プリセット削除モードに移行します。 プリセット削除モード中にプリセットサムネールをクリックすると、指定したプリセットポジション設定を削除します。

(NOTE)

- プリセットの登録時、[Preset Thumbnail Update] メニューが [Off] の場合、事前に登録していたプリセット画像を継続します。
- プリセットの登録時、[Preset Name] メニューが [Reset] の場合、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。
- ライブ画面 [Live] 表示直後、[SET]、[DEL] ボタンは表示されていません。[Presets用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

15. シーン [Scene]

	Full Auto、Scene1～Scene3をクリックして、[Full Auto] [Scene1] [Scene2] [Scene3]
	Scene用拡張パネル表示ボタン シーンファイル用ボタン [Full Auto]、[Scene1]、[Scene2]、[Scene3]を表示します。表示中は[-]ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。

〈NOTE〉

- ライブ画面 [Live] 表示直後、[Full Auto]、[Scene1]、[Scene2]、[Scene3] ボタンは表示されていません。[Scene用拡張パネル表示ボタン]を押すと表示されます。

16. 全画面表示ボタン

	画像が全画面で表示されます。 ライブ画面 [Live] に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピュータのキーボードの [Esc] キーを押します。 表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。
--	--

17. スナップショットボタン

	スナップショット (静止画 1 枚) を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。
--	---

〈NOTE〉

- 以下の設定が必要になることがあります。
Internet Explorerのメニューバーの [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブにある [信頼済みサイト] を選択し、[サイト] をクリックします。表示される信頼済みウィンドウの [Web サイト] にカメラのアドレスを登録してください。
- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- [JPEG transmission(1)] ～ [JPEG transmission(3)] (→ 89 ページ) のすべてを [Off] に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

18. カメラタイトル表示部

基本画面 [Basic] の [Live page] 内の [Camera title] (→ 87 ページ) で設定した本機の名称が表示されます。

19. ゲイン [Gain]

	映像のゲインを上げます。
	映像のゲインを下げます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

20. ホワイトバランス [WB]

	ホワイトバランスを [AWB A] → [AWB B] → [3200K] → [5600K] → [VAR] → [ATW] の順に切り替えます。
	ホワイトバランスを [AWB A] → [ATW] → [VAR] → [5600K] → [3200K] → [AWB B] の順に切り替えます。
	自動ホワイトバランス (AWB) を行い、ホワイトバランスがセットされます。
	自動ブラックバランス (ABB) を行い、ブラックバランスがセットされます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

21. シャッター [Shutter]

	シャッターモードを [Off] → [Step] → [Synchro] → [ELC] の順に切り替えます。
	シャッターモードを [ELC] → [Synchro] → [Step] → [Off] の順に切り替えます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

22. SRT/MPEG2-TS/RTMP

	あらかじめ登録した配信先にストリーミングを開始します。 配信中はボタンが赤色になり、再度ボタンをクリックすると配信が停止します。
	(配信中)

〈NOTE〉

- [Streaming mode] が [RTMP]、[SRT(H.264)]、[SRT(H.265)]、[MPEG2-TS over UDP] のときのみ、このボタンは操作できます。
- [Streaming mode] が [SRT(H.264)]、[SRT(H.265)] のときは、Client(Caller) モードに設定されているときのみこのボタンをクリックすることで配信を開始することができます。

23. PC画面切り替えボタン

	携帯端末用の画面を表示します。 詳細は「携帯端末による Web 画面表示」(→ 129 ページ) を参照してください。
--	--

〈NOTE〉

- 携帯端末で表示するときのみ、このボタンは表示されます。

24. Preset サムネール一覧表示ボタン

	Preset サムネールの一覧画面をライブ画面 [Live] 上に表示します。
--	---

25. リアルタイム更新切替ボタン

	Web ブラウザーを動作させるパーソナルコンピュータの動作性能によっては、映像がコマ落ちして見える場合があります。このボタンを押してリアルタイム更新機能を無効化することで、問題が改善する場合があります。 リアルタイム更新対象データは以下の通りです。 - Zoom - Focus - Iris - Gain - WB - Shutter
--	---

〈NOTE〉

- ボタンが有効のときはセンタークリック機能が無効化されます。
- ボタンが有効のときは Audio Level Meter 機能が無効化されます。

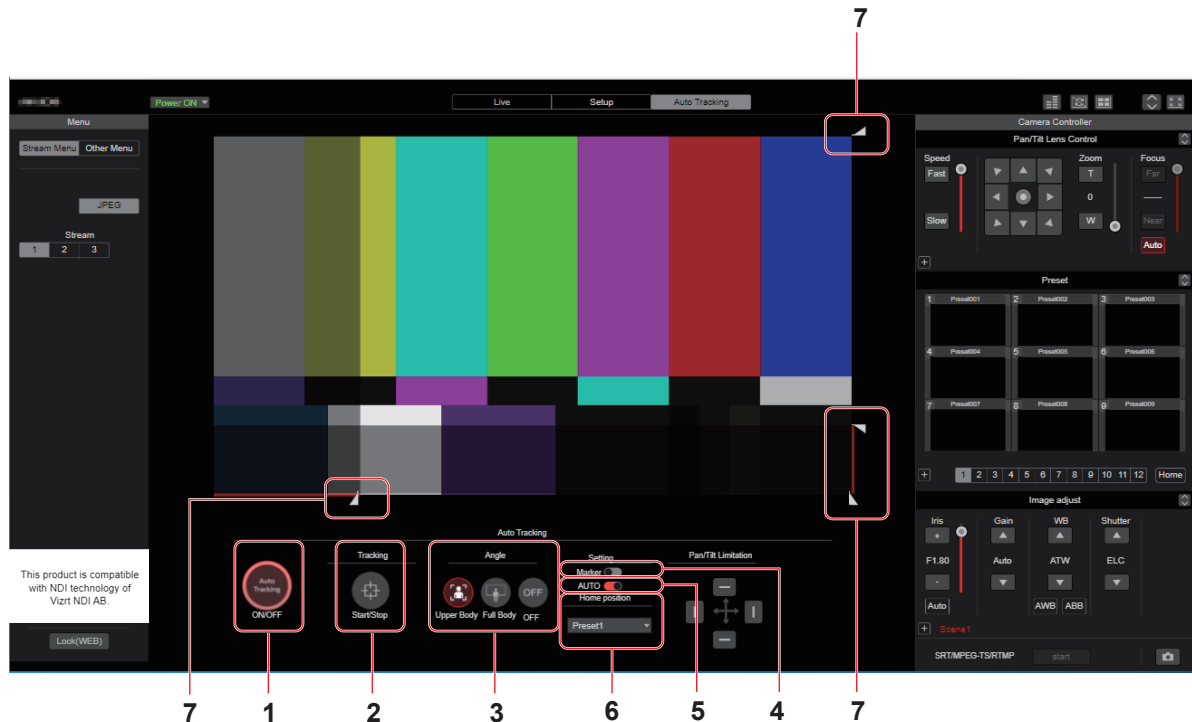
26. Audio Level Meter 表示ボタン

	本機への Audio 入力状態および Audio 設定状態をライブ画面 [Live] 上に表示します。
--	---

Web画面からの設定

自動追尾画面 [Auto Tracking]

自動追尾に関する各種設定を行います。



1.Auto Tracking Mode

自動追尾モードを設定します。
[On]に設定すると、人物の検出を開始し、後述のメニューに従って枠の表示や追尾を開始します。

2.Tracking

追尾の開始/停止をします。

Start	追尾を開始します。
Stop	追尾を停止します。

3.Angle

追尾時の画角を指定します。

OFF	現在の画角を維持します。
Full Body	追尾対象のほぼ全身が表示される画角に設定します。
Upper Body	追尾対象の胸から上が表示される画角に設定します。

4.Marker

枠の表示を設定します。
[Target Marker]が[On]のとき、[OSD Mix]が[On]になっている端子で追尾枠が表示されます。

5.AUTO

起動直後などに追尾を開始するかを設定します。
[Tracking Auto Start]が[Enable]の場合、[Auto Tracking Mode]を[On]にしたときや、[Auto Tracking Mode]が[On]でカメラを起動するとすぐに追尾を開始します。

6.Home Position

追尾対象をロストしたときの動作を設定します。

Preset 1 ~ 3	追尾対象をロストした後に規定時間が経過すると、カメラの位置を指定されたプリセットの位置に戻します。
None	追尾対象をロストした後、カメラの位置を変更しません。
Wide	追尾対象をロストした後、カメラのPan/Tilt位置を変更せずにZoom倍率のみ最小に設定します。

上記動作中に追尾対象を検出した場合は、追尾を再開します。

7.Mask

Mask領域の設定を行います。

	下側のMask領域の設定を行います。
	右側のMask領域の設定を行います。
	左側のMask領域の設定を行います。
	上側のMask領域の設定を行います。

Mask領域では、人物の検出を行いません。

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

〈NOTE〉

- 設定メニューは、アクセスレベルが「1.Administrator」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、107ページを参照してください。
- 設定メニュー表示中に、OSDメニューや他のWebブラウザーから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザーの設定メニュー表示画面を更新してください。



1. 設定状態 [Setting status]

ボタンをクリックすると、設定状態画面[Setting status]が表示されます。

→「設定状態画面[Setting status]」(→81ページ)

2. 基本設定 [Basic]

システム設定ボタン [System]

ボタンをクリックすると、システム設定画面[System]が表示されます。

→「システム設定画面[System]」(→82ページ)

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面[Date&Time]が表示されます。

→「時計設定画面[Date&Time]」(→87ページ)

ライブページ設定ボタン [Live page]

ボタンをクリックすると、ライブページ画面[Live page]が表示されます。

→「ライブページ画面[Live page]」(→87ページ)

3. カメラ画面 [Image/Audio]

IP映像設定ボタン [Video over IP]

ボタンをクリックすると、IP映像設定画面[Video over IP]が表示されます。

→「IP映像設定画面[Video over IP]」(→88ページ)

音声設定ボタン [Audio]

ボタンをクリックすると、音声設定画面[Audio]が表示されます。

→「音声設定画面[Audio]」(→96ページ)

画質調整ボタン [Image adjust]

ボタンをクリックすると、画質調整画面[Image adjust]が表示されます。

→「画質調整画面[Image adjust]」(→97ページ)

レンズ設定ボタン [Lens]

ボタンをクリックすると、レンズ設定画面[Lens]が表示されます。

→「レンズ設定画面 [Lens]」(→103ページ)

プリセットポジション設定ボタン [Preset position]

ボタンをクリックすると、プリセットポジション画面[Preset position]が表示されます。

→「プリセットポジション画面 [Preset position]」(→104ページ)

4.連携機能 [Linkage]

Cloud Server接続設定ボタン [Cloud Server]

ボタンをクリックすると、Cloud Server接続設定画面 [Cloud Server]が表示されます。

→「Cloud Server接続設定画面 [Cloud Server]」（→106ページ）

5.ユーザー管理設定 [User mng.]

ユーザー認証設定ボタン [User auth.]

ボタンをクリックすると、ユーザー認証設定画面 [User auth.]が表示されます。

→「ユーザー認証設定画面 [User auth.]」（→106ページ）

ホスト認証設定ボタン [Host auth.]

ボタンをクリックすると、ホスト認証設定画面 [Host auth.]が表示されます。

→「ホスト認証設定画面 [Host auth.]」（→107ページ）

6.ネットワーク設定 [Network]

ネットワーク設定ボタン [Network]

ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network]が表示されます。

→「ネットワーク設定画面 [Network]」（→108ページ）

ネットワーク詳細設定ボタン [Advanced]

ボタンをクリックすると、ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]が表示されます。

→「ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]」（→111ページ）

7.メンテナンス設定 [Maintenance]

システムログボタン [System log]

ボタンをクリックすると、システムログ画面 [System log]が表示されます。

→「システムログ画面 [System log]」（→123ページ）

製品情報確認ボタン [Product info.]

ボタンをクリックすると、製品情報確認画面 [Product info.]が表示されます。

→「製品情報確認画面 [Product info.]」（→124ページ）

初期化ボタン [Default reset]

ボタンをクリックすると、初期化画面 [Default reset]が表示されます。

→「初期化画面 [Default reset]」（→125ページ）

バックアップボタン [Backup]

ボタンをクリックすると、バックアップ画面 [Backup]が表示されます。

→「バックアップ画面 [Backup]」（→126ページ）

8.Power ON [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

Power ON ▼ [Power ON]	本機の電源がONになります。
Standby ▼ [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

Standbyモードになると、ライブ画面 [Live]へ自動的に表示が切り替わります。また、ライブ画面 [Live]の [Setup] ボタンと [Auto Tracking] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup]の全画面の操作ができません。

9.メインエリア

メニュー画面が表示されます。

設定状態画面 [Setting status]

Setting status
Model no.
Firmware Version
V00.28
System Frequency
59.94Hz
System Format
1080/59.94p
Streaming mode
H.264

Model no.

本機の品番が表示されます。

Firmware Version

本機のファームウェアバージョンが表示されます。
バージョン詳細情報は製品情報確認画面 [Product info.]を参照してください。

System Frequency

本機のフレーム周波数が表示されます。

System Format

本機の映像フォーマットが表示されます。

Streaming mode

本機のストリーミングモードが表示されます。

基本画面 [Basic]

■ システム設定画面 [System]

● System status

System status				
Frequency				
59.94Hz				
Format				
2160/29.97p				
Wireless Control				
Enable				
USB	USB Auto Active	USB Auto Standby	Video Conference Mode	
	On	Off	Off	
Output	3G SDI	HDMI		
	1080/29.97p	2160/29.97p		
Pan/Tilt	Install Position	P/T Speed Mode	Speed With Zoom Position	Focus Adjust With PTZ
	Desktop	Normal(60deg/s)	On	Off

Frequency

フレーム周波数の設定を表示します。

Format

映像フォーマットの設定を表示します。

Wireless Control

ワイヤレスリモコンの設定を表示します。

USB

USB Auto Active

USB Auto Activeの設定を表示します。

USB Auto Standby

USB Auto Standbyの設定を表示します。

Video Conference Mode

Video Conference Modeの設定を表示します。

Output

3G SDI*1

3G SDI OUT 端子<3G SDI OUT>の出力設定を表示します。

HDMI

HDMI 端子<HDMI>の出力設定を表示します。

*1 AW-UE50のみ

Pan/Tilt

Install Position

インストールポジションの設定を表示します。

P/T Speed Mode

パン・チルトスピードモードの設定を表示します。

Speed With Zoom Position

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能の設定を表示します。

Focus Adjust With PTZ.

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能の設定を表示します。

● Frequency

Frequency	
Frequency	☒ 59.94Hz ☐ 50Hz ☐ 24Hz ☐ 23.98Hz
	Set

Frequency [59.94Hz、50Hz、24Hz、23.98Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：59.94Hz

〈NOTE〉

- フレーム周波数の切り替えを行った場合、本機は自動的に再起動します。

● Format

Format	
Format	1080/59.94p ▼
	Set

Format

[59.94Hz] のとき

2160/29.97p、1080/59.94p、1080/59.94i、
1080/29.97p、1080/29.97PsF*1、
1080/23.98p(59.94i)*1、*2、720/59.94p

[50Hz] のとき

2160/25p、1080/50p、1080/50i、1080/25p、
1080/25PsF*1、720/50p

[24Hz] のとき

2160/24p、1080/24p

[23.98Hz] のとき

2160/23.98p、1080/23.98p、1080/23.98PsF*1

映像フォーマットを変更します。

設定は[Set]ボタンで確定します。

*1 AW-UE50のみ

*2 1080/23.98p over 59.94iを示します。

● Wireless Control

Wireless Control	
Wireless Control	☒ Enable ☐ Disable
Wireless ID	☒ CAM1 ☐ CAM2 ☐ CAM3 ☐ CAM4
Set	

Wireless Control [Enable、Disable]

ワイヤレスリモコンからの操作の有効 [Enable] / 無効 [Disable] を設定します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：Enable

〈NOTE〉

- ワイヤレスリモコンから電源をONした場合、本設定値に関係なく、ワイヤレスリモコンによる操作が可能となります。
- 本項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。
- 本項目が [Enable] の状態で電源をONした場合、本設定は動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。

Wireless ID [CAM1、CAM2、CAM3、CAM4]

本機のリモコンIDを設定します。

この項目の設定がワイヤレスリモコンのCAMERA <1> ~ <4> のボタンに対応します。

工場出荷時の設定：CAM1

● USB

USB	
USB Auto Active	☐ Off ☒ On
USB Auto Standby	☒ Off ☐ On
Video Conference Mode	☒ Off ☐ On
Set	

USB Auto Active [Off、On]

[USB Auto Active] を [On] にすると、給電中、Power On 状態のときにUSBケーブルを検出した場合、[USB Mode] が自動的に [On] に切り替わります。

工場出荷時の設定：On

USB Auto Standby [Off、On]

USB 配信が終了した際に、カメラを後方に向ける機能のOff/Onを設定します。

[USB Auto Standby] が [On] のとき、USB 配信を終了すると自動的にStandbyモードに移行し、カメラは後方を向きます。

[USB Auto Standby] が [On] のとき、[Privacy Mode] は [On]、[Power On Position] は [Standby] として動作します。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- [USB Auto Standby] が [On] のときのみ、StandbyモードでもUSBデバイスとして認識し配信を開始することができます。

Video Conference Mode [Off、On]

[Video Conference Mode] を [On] にすると、オンライン会議に適した調整を行います。

工場出荷時の設定：Off

● Output

Output	
3G SDI	
Format	1080/29.97p
3G SDI Out	☒ LevelA ☐ LevelB
HDMI	
Format	2160/29.97p
Bar	☐ Camera ☒ Colorbar
Color Bar Type	☐ Type1 ☒ Type2
Tone	☐ Off ☐ Low ☒ Normal
OSD Mix	
3G SDI	☐ Off ☒ On
HDMI	☐ Off ☒ On
IP/NDI/HX	☐ Off ☒ On
OSD Off With R-Tally	☒ Off ☐ On
OSD Status	☒ Off ☐ On
Tally	☐ Disable ☒ Enable
Tally LED Limit	
R	☒ Unlimit ☐ Limit
G	☒ Unlimit ☐ Limit
B	☒ Unlimit ☐ Limit
Auto Tracking Tally	
☒ Disable ☐ Enable	
Tally Color	☒ Amber ☐ Red ☐ Green
Tally Brightness	☒ Low ☐ Mid ☐ High
Status Lamp	☐ Disable ☒ Enable
External Output	
Output1	☒ Off ☐ R-Tally ☐ G-Tally
Output2	☒ Off ☐ R-Tally ☐ G-Tally

3G SDI (AW-UE50のみ)

3G SDI OUT 端子の出力設定を行います。

Format

出力フォーマットを設定します。

[System]画面の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI)
59.94Hz	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF
	1080/23.98p(59.94i)* ¹	1080/23.98p(59.94i)* ¹
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	1080/25p
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	1080/25PsF	1080/25PsF
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF

*¹ 1080/23.98p over 59.94iを示します。

工場出荷時の設定：1080/59.94p

3G SDI Out [LevelA、LevelB]

[Format] (3G SDI)が[1080/59.94p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

LevelA	Level A方式
LevelB	Level B方式

工場出荷時の設定：LevelA

〈NOTE〉

- [Format] (3G SDI)が[1080/59.94p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI Out]は変更できません。

HDMI

HDMI端子の出力設定を行います。

Format

出力フォーマットを設定します。

[System]画面の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (HDMI)
59.94Hz	2160/29.97p	2160/29.97p
	1080/59.94p	1080/59.94p
	1080/59.94i	1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	1080/29.97PsF* ¹	1080/29.97p* ¹
	1080/23.98p(59.94i)* ^{1, 2}	1080/23.98p(59.94p)* ^{1, 3}
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/25p	2160/25p
	1080/50p	1080/50p
	1080/50i	1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	1080/25PsF* ¹	1080/25p* ¹
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98PsF* ¹	1080/23.98p* ¹

*¹ AW-UE50のみ

*² 1080/23.98p over 59.94iを示します。

*³ 1080/23.98p over 59.94pを示します。

工場出荷時の設定：1080/59.94p

Bar [Camera、Colorbar]

カメラ映像とカラーバーの切り替えを行います。

Camera	カメラ映像
Colorbar	カラーバー

工場出荷時の設定：Camera

Color Bar Type [Type1、Type2]

表示するカラーバーのタイプを選択します。



[Bar]が[Colorbar]のときに有効です。

工場出荷時の設定：Type2

Tone [Off、Low、Normal]

カラーバー映像のときに出力するテストトーン信号（1 kHz）に関する設定を行います。

Off	テストトーンを出力しません。
Low	テストトーンを小さめの音量で出力します。
Normal	テストトーンを通常の音量で出力します。

[Bar]が[Colorbar]のときに有効です。

工場出荷時の設定：Normal

OSD Mix

カメラメニューやステータス表示のOff/Onを選択します。

3G SDI [Off、On*] (AW-UE50のみ)

3G SDI OUT 端子から出力される映像に対するOff/Onを選択します。

HDMI [Off、On*]

HDMI端子から出力される映像に対するOff/Onを選択します。

IP/NDI|HX [Off、On*]

LAN端子から出力されるNDI以外の映像（H.264/H.265/JPEG/RTMP/SRT/NDI|HX）の映像に対するOff/Onを選択します。

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

*：工場出荷時の設定

〈NOTE〉

- 表示を[Off]に設定した場合でも、本機の電源をONにした後1分間は、カメラメニューを表示することができます。

OSD Off With R-Tally [Off、On]

赤タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。

赤タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

工場出荷時の設定：Off

OSD Status [Off、On]

AWBおよびABB実行時のステータス表示、およびエラー発生時のエラー表示をOff/Onします。

工場出荷時の設定：Off

Tally [Disable、Enable]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効[Disable]／有効[Enable]を設定します。

工場出荷時の設定：Enable

Tally LED Limit

タリー制御信号の色（R/G/B）ごとに、タリーランプの点灯を抑止するかどうかを設定します。

R [Limit、Unlimit*]

G [Limit、Unlimit*]

B [Limit、Unlimit*]

Limit	タリーランプの点灯を抑止します。
Unlimit	タリーランプを点灯させます。

*：工場出荷時の設定

〈NOTE〉

- [Tally]で[Disable]を選択した場合、本機のタリーランプの点灯抑止のみでなく、外部機器（Web画面およびAW-RP150、AW-RP60の盤面等）でのタリー状態表示も無効となります。
- [Tally LED Limit]で[Limit]を選択した場合、本機のタリーランプの点灯のみ抑止し、外部機器（Web画面およびAW-RP150、AW-RP60の盤面等）でのタリー状態表示は有効となります。

Auto Tracking Tally [Enable、Disable]

自動追尾の追尾状況をタリーランプで表示するかどうかの無効[Disable]／有効[Enable]を設定します。本設定が有効[Enable]の時、[Tally Color]で設定した色でタリーランプが点灯／点滅します。

指定した色で点灯（オレンジ色／赤色／緑色）	自動追尾動作中です。（[Tracking Status]が[Tracking]の状態です）
指定した色で点滅（オレンジ色／赤色／緑色）	自動追尾が開始されているものの、追尾対象を検出できていない状態です。（[Tracking Status]が[Lost]の状態です）
消灯	自動追尾が開始されていない状態です。（[Auto Tracking Mode]が[Off]または[Tracking Status]が[Not Tracking]の時です）

工場出荷時の設定：Disable

〈NOTE〉

- 本設定が有効[Enable]の時でも、タリー信号（赤タリー信号／緑タリー信号）を受信した場合はタリー信号の点灯（赤点灯／緑点灯）を優先します。
- [Tally]がDisableの時、本項目が[Enable]であっても、自動追尾中にタリーランプは点灯／点滅しません。

Tally Color [Amber、Red、Green]

自動追尾の追尾状態でタリーランプで表示する点灯色を設定します。

工場出荷時の設定：Amber

〈NOTE〉

- [Tally LED Limit]のRまたはGがLimitに設定されている時、本設定で[Red]または[Green]が指定されている場合、自動追尾中にタリーランプは点灯／点滅しません。

Tally Brightness [Low、Mid、High]

タリーLEDの光量を調整します。

工場出荷時の設定：Low

Status Lamp [Disable、Enable]

状態表示ランプの無効[Disable]／有効[Enable]を設定します。

本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[Disable]に設定してください。

工場出荷時の設定：Enable

〈NOTE〉

- [Disable]に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

External Output (AW-UE50のみ)

RS-422端子のExternal Outputの信号線（Output1、Output2）から出力する信号の種類を選択します。（→15ページ）

Output1 [Off*、R-Tally、G-Tally]

Output2 [Off*、R-Tally、G-Tally]

Off	信号を出力しません。
R-Tally	赤タリー信号受信状態を出力します。
G-Tally	緑タリー信号受信状態を出力します。

*：工場出荷時の設定

● Pan/Tilt

設定は[Set]ボタンで確定します。

Install Position [Desktop、Hanging]

本機の設置方法を[Desktop] (据え置き) または[Hanging] (吊り下げ) から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

工場出荷時の設定：Desktop

〈NOTE〉

- [Hanging] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

P/T Speed Mode [Normal(60deg/s)、Fast1 (90deg/s)、Fast2(180deg/s)]

Pan/Tilt動作のスピードを設定します。

Normal(60deg/s)	Pan/Tiltを通常スピード(最大約60° /秒)で動作させます。
Fast1(90deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード1(最大約90° /秒)で動作させます。
Fast2(180deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード2(最大約180° /秒)で動作させます。

工場出荷時の設定：Normal(60deg/s)

Speed With Zoom Position [Off、On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

本機能はプリセット動作には効果がありません。

工場出荷時の設定：On

Focus Adjust With PTZ. [Off、On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、[Focus Mode]を[Auto]に設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定：Off

Privacy Mode [Off、On]

本機をStandbyモードにしたときに、カメラの向きを後方に向ける機能のOff/Onを設定します。

Off	Standbyモードに移行したときのカメラの向きを変更しません。(Power On状態のときのカメラの向きを維持)
On	Standbyモードに移行したときに、カメラの向きを後方に移動します。 再度、Power On状態に移行したときは、[Power On Position]に従った位置に移動します。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- [USB Auto Standby]が[On]のときは、グレーアウト表示となります。

Power On Position [Standby、Home、Preset]

電源を入れたとき、Pan/Tilt/Zoomの初期位置をどこにするかを選択します。

Standby	前回Standbyモードに移行したときのPan/Tilt/Zoomの位置に移動します。
Home	Pan/Tiltはホームポジション(正面)に移動し、Zoomはワイド端となります。
Preset	[Preset Number]で指定したプリセット位置でプリセット再生します。

工場出荷時の設定：Standby

〈NOTE〉

- [USB Auto Standby]が[On]のときは、グレーアウト表示となります。

Preset Number [Preset001～Preset100]

[Power On Position]で[Preset]が設定されているとき、電源ON時にプリセット再生する番号を指定します。

工場出荷時の設定：Preset001

〈NOTE〉

- 未登録のプリセット番号が設定されている場合は、プリセット再生せずに[Standby]の動作となります。

■ 時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。

[PC Synchronization]、[NTP]、[Manual]の3種類の方法を設定できます。

Auto

PC Synchronization

[Execute]ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピュータの日付時刻に本機を同期させて設定します。

〈NOTE〉

- ・ パーソナルコンピュータのタイムゾーンは、本機に反映されません。タイムゾーンは、本機で設定してください。

NTP

[NTP >>]をクリックするとNTPサーバーの設定画面を表示します。
(→112ページ)

Manual

Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

〈NOTE〉

- ・ 時刻は、24時間表示です。

Time Zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定：

(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

Memory

[PC Synchronization]、[NTP]同期時、[Manual]設定時に時刻情報を本機に保存するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: Disable

〈NOTE〉

- ・ 802.1X機能を使用する場合は、本機能を[Enable]に設定してください。
[Disable]に設定した場合は、証明書の有効期限を正しく判断できない場合があります。

■ ライブページ画面 [Live page]

Camera title

本機の名称を入力します。

[Set]ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- ・ 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- ・ 半角0～20文字を入力できます。
- ・ 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[_`{ }~\

Automatic installation of viewer software [On, Off]

Windows I.E.11

表示用プラグインソフトウェアの自動インストールについて設定します。

工場出荷時の設定: On

Smoother live video display on the browser(buffering) [On, Off] Windows I.E.11

表示用プラグインソフトウェアで、本機の画像を表示する際の設定を行います。

On	本機の画像を一時的にパーソナルコンピュータに蓄積し、より滑らかに表示します。 ただし、画面表示の画像が実際の画像よりも遅れて表示されます。
Off	本機の画像をパーソナルコンピュータに蓄積せず、リアルタイムに表示します。 ただし、画面表示の画像がスムーズな動きにならない場合があります。

工場出荷時の設定: On

カメラ画面 [Image/Audio]

■ IP映像設定画面 [Video over IP]

JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- IP制御は行いがIP映像を配信したくない場合は、[JPEG transmission]、[H.264 transmission]、[H.265 transmission]、[RTMP transmission]、[SRT transmission]および[Ts Transmission]を[Off]にしてください。
- JPEG画像の配信を[Off]にすると、Windows Internet Explorer 11を除くブラウザでIP映像が表示されません。これには携帯端末も含まれます。

● Setting status

Setting status					
Streaming mode					
H.264					
Initial display setting					
H.264(1)					
JPEG(1)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	1280×720	30fps	Fine	
H.264(2)					
JPEG(2)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	640×360	30ps	Fine	
H.264(3)					
JPEG(3)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	320×180	30ps	Fine	
H.264(4)					
JPEG(4)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	1536×1080		30fps	14335.6144Mbps
H.264(5)					
JPEG(5)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	1280×720	Frame rate	30fps	8192.4096Mbps
H.264(6)					
JPEG(6)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	640×360	Frame rate	30fps	4096.1024Mbps
H.264(7)					
JPEG(7)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	640×360	Frame rate	30fps	4096.1024Mbps

Streaming mode

ストリーミングモードの設定を表示します。

Initial display setting

ライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]を開いたときに表示する画像の設定を表示します。

JPEG

JPEGの配信設定を表示します。

H.264

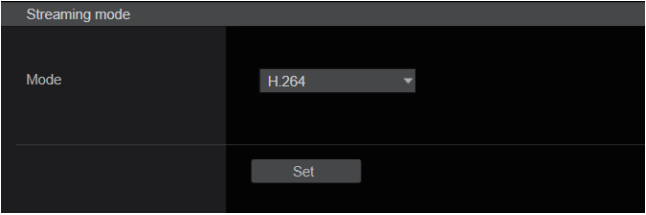
H.264の配信設定を表示します。
[Streaming mode]が[H.265]、[SRT(H.265)]の場合は表示されません。

H.265

H.265の配信設定を表示します。
[Streaming mode]が[H.265]、[SRT(H.265)]の場合に表示されます。

● Streaming mode

本機は、[Streaming mode]の切り替えによって、用途に合わせたIP配信動作が可能です。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Mode [H.264、H.265、RTMP、SRT(H.264)、SRT(H.265)、NDI|HX V2、MPEG2-TS over UDP、USB]

H.264	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。 H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
H.265	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。 H.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
RTMP	RTMP/RTMPSサーバーにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.264)	SRT対応デコーダーやサービスにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.265)	SRT対応デコーダーやサービスにH.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
NDI HX V2	ネットワーク上でのNDI® HX2と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像を送ります。
MPEG2-TS over UDP	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。 H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
USB	本機をWEBカメラとして使用することが可能です。 パーソナルコンピュータからのカメラ制御も可能です。 • USB映像の配信中は、IP映像配信が以下に制限されます。 - H.264/H.265：配信不可 - M-JPEG：640×360 1fpsで1ストリームのみ配信可

工場出荷時の設定：H.264

● Initial display setting

ライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]に表示する初期設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

Stream [H.264(1)、H.264(2)、H.264(3)、H.264(4)、JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)]

ライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]に表示する画像を選択します。

H.264(1) Windows I.E.11	動画(H.264(1))を表示します。
H.264(2) Windows I.E.11	動画(H.264(2))を表示します。
H.264(3) Windows I.E.11	動画(H.264(3))を表示します。
H.264(4) Windows I.E.11	動画(H.264(4))を表示します。
JPEG(1)	静止画(JPEG(1))を表示します。
JPEG(2)	静止画(JPEG(2))を表示します。
JPEG(3)	静止画(JPEG(3))を表示します。

工場出荷時の設定: H.264(1)

〈NOTE〉

- ・[Streaming mode]に応じて設定が自動で切り替わる場合があります。

● Timecode Overlay

Timecode Overlay [Enable、Disable]

IP配信データにタイムコード情報を重畳するか設定します。

工場出荷時の設定: Disable

〈NOTE〉

- ・本機能は、NTPが有効時のみ設定可能です。
- ・本機能は、NTP同期した時刻情報を重畳します。

以下の条件の時は[Timecode Overlay]は[Disable]となります。

- ・[Frequency]が[24Hz]または[23.98Hz]の時
- ・[System Format]が[1080/23.98p over 59.94i]の時
- ・[Synchronization with NTP]が[Off]の時

● JPEG

JPEGの画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
JPEG画像の設定は全部で3chあります。

〈NOTE〉

- ・[Streaming mode]が[NDI|HX V2]のとき、[JPEG(2)]と[JPEG(3)]の設定はできません。

JPEG transmission [On、Off]

JPEG画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Image capture size [1920×1080、1280×720、640×360、320×180]

JPEG画像を表示する際、表示する画像解像度を以下から選択します。

JPEG(1)	1920×1080、1280×720、640×360、320×180
JPEG(2)	640×360、320×180
JPEG(3)	640×360、320×180

工場出荷時の設定:

JPEG(1): 1280×720

JPEG(2): 640×360

JPEG(3): 320×180

Refresh interval [1fps、4fps、5fps、12fps、12.5fps、15fps、24fps、25fps、30fps]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

59.94Hzのとき	1fps/5fps/15fps/30fps
50Hzのとき	1fps/5fps/12.5fps/25fps
24/23.98Hzのとき	1fps/4fps/12fps/24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき:

JPEG(1): 30fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 30fps

50Hzのとき:

JPEG(1): 25fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 25fps

24/23.98Hzのとき:

JPEG(1): 24fps

JPEG(2): 4fps

JPEG(3): 24fps

〈NOTE〉

- ・ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- ・設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

Image quality [Fine、Normal]

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を設定します。

工場出荷時の設定: Fine

● H.264

H.264の画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

H.264(1)

H.264 transmission

On

Off

Internet mode(Over HTTP)

On

Off

Profile type

High

Main

Baseline

Image capture size

1920×1080

Transmission priority

Frame rate

Frame rate

30fps

Max bit rate(per client)

Max

14336kbps

-

Min

6144kbps

Image quality

Motion priority

Transmission type

Unicast port(AUTO)

Unicast port(Image)

32004

(1024 - 50000)

Unicast port(Audio)

33004

(1024 - 50000)

Multicast address

239.192.0.20

Multicast port

37004

(1024 - 50000)

Multicast TTL/HOPLimit

16

(1 - 254)

Set

〈NOTE〉

- Internet Explorer 11 以外では、JPEG 画像のみ表示可能です。
- [Streaming mode]が[H.265]、[SRT(H.265)]または[NDI|HX V2]のとき、H.264の設定はできません。
- RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびアプリケーションに設定してください。
 - H.264(1)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_1
 - H.264(2)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_2
 - H.264(3)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_3
 - H.264(4)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_4

[/MediaInput/h264/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(→114ページ)

H.264 transmission [On, Off]

H.264画像を配信するかどうかを設定します。
工場出荷時の設定: On

Internet mode(Over HTTP) [On, Off]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。
ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。

On	HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。 HTTPポート番号の設定については110ページをお読みください。
Off	UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [On]に設定すると、配信方式は[Unicast port(AUTO)]に制限されます。
- [On]に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- [On]に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 本機能は、ライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]で表示されるH.264画像にのみ反映されます。

Profile type [High, Main, Baseline]

H.264画像を配信するときのプロファイルを設定します。
工場出荷時の設定: High

Image capture size [1920×1080、1280×720、640×360、320×180]

H.264画像の解像度を選択します。
選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.264(1)	1920×1080、1280×720
H.264(2)	1920×1080、1280×720、640×360、320×180
H.264(3)	1280×720、640×360、320×180
H.264(4)	1280×720、640×360、320×180

工場出荷時の設定:

H.264(1): 1920×1080
H.264(2): 1280×720
H.264(3): 640×360
H.264(4): 640×360

Transmission priority [Constant bit rate, Frame rate, Best effort]

H.264画像の配信モードを設定します。

Constant bit rate	H.264画像を[Max bit rate(per client)]で設定したビットレートで配信します。 設定したビットレートに応じて、「Frame rate」の値(5fps～30fps、または5fps～25fps)が自動的に決定されます。(→91ページ)
Frame rate	H.264画像を[Frame rate]で設定したフレームレートで配信します。 フレームレートとビットレートを設定して配信します。(→91ページ、91ページ)
Best effort	ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を[Max bit rate(per client)]で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。 可変されたビットレートに応じて、「Frame rate」の値(5fps～30fps、または5fps～25fps)も自動的に決定されます。(→91ページ)

工場出荷時の設定: Frame rate

〈NOTE〉

- フレーム周波数が24/23.98Hzのときは設定できません。

Frame rate [5fps、12.5fps、15fps、24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.264 画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	5fps/15fps/30fps/60fps
50Hzのとき	5fps/12.5fps/25fps/50fps
24/23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき: 30fps
50Hzのとき: 25fps
24/23.98Hzのとき: 24fps

〈NOTE〉

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client)

[512kbps、768kbps、1024kbps、1536kbps、2048kbps、3072kbps、4096kbps、6144kbps、8192kbps、10240kbps、12288kbps、14336kbps、16384kbps、20480kbps、24576kbps]

1 クライアントに対するH.264ビットレートを選択します。
[Transmission priority] で[Best effort]を選択している場合は、最大(Max)、最小(Min)を設定します。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 14336kbps
H.264(2): 8192kbps
H.264(3): 4096kbps
H.264(4): 4096kbps

〈NOTE〉

- 解像度によって設定可能な範囲が異なります。

Image quality [Motion priority、Image quality priority]

H.264 画像の画質を選択します。

Motion priority	画像の動きを優先したモードです。
Image quality priority	画質を優先したモードです。

工場出荷時の設定: Motion priority

〈NOTE〉

- [Transmission priority] で[Constant bit rate] または[Best effort] を選択しているときのみ設定できます。

Transmission type [Unicast port(AUTO)、Unicast port(MANUAL)、Multicast]

H.264 画像の配信方式を以下から選択します。

Unicast port(AUTO)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)], [Unicast port(Audio)] が自動的に設定されます。 ネットワーク内で使用する場合など、H.264 画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port(AUTO)] に設定することをお勧めします。
Unicast port(MANUAL)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)], [Unicast port(Audio)] を手動で設定する必要があります。 インターネット経由でH.264 画像を配信する場合、ブロードバンドルーター (以下、ルーター) に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください (→ 108 ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
Multicast	1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。 マルチキャストでH.264 画像を送信する場合は、[Multicast address], [Multicast port], [Multicast TTL/HOPLimit] を入力します。

工場出荷時の設定: Unicast port(AUTO)

〈NOTE〉

- 最大同時アクセス数については、72 ページの〈NOTE〉をご参照ください。

Unicast port(Image) [1024～50000]

ユニキャストポート番号 (本機から画像を送信するときに使用) を入力します。

偶数のみ設定可能です。

10670 はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 32004
H.264(2): 32014
H.264(3): 32024
H.264(4): 32034

Unicast port(Audio) [1024～50000]

偶数のみ設定可能です。

10670 はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 33004
H.264(2): 33014
H.264(3): 33024
H.264(4): 33034

〈NOTE〉

- [Transmission type] の[Unicast port(MANUAL)] が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Multicast address

[IPv4 : 224.0.0.0～239.255.255.255]

IPv6 : FF から始まるマルチキャストアドレス]

マルチキャストのIP アドレスを入力します。

指定したIP アドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 239.192.0.20
H.264(2): 239.192.0.21
H.264(3): 239.192.0.22
H.264(4): 239.192.0.23

〈NOTE〉

- 使用可能なマルチキャストIP アドレスをご確認のうえ入力してください。
- リンクローカルスコープのマルチキャストアドレスでは動作しません。

Multicast port [1024～50000]

マルチキャストポート番号 (本機から画像を送信するときに使用) を入力します。

偶数のみ設定可能です。

10670 はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 37004

〈NOTE〉

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

Multicast TTL/HOPLimit [1～254]

マルチキャストのTTL/HOPLimit 値を入力します。

工場出荷時の設定: 16

〈NOTE〉

- インターネット経由でH.264 画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLAN カードが入っているパーソナルコンピュータを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使わないLAN カードを無効にしてください。

● H.265

H.265の画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- 本機のライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]には、H.265形式の画像を表示できません。
 - H.265画像を表示するには、H.265画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
 - RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびアプリケーションに設定してください。
 - H.265(1)の場合：

rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_1
 - H.265(2)の場合：

rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_2
- [/MediaInput/h265/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(→114ページ)

H.265 transmission [On, Off]

H.265画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Image capture size [1920×1080、1280×720、640×360]

H.265画像の解像度を選択します。
選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.265(1)	1920×1080、1280×720
H.265(2)	1920×1080、1280×720、640×360

工場出荷時の設定:

H.265(1) : 1920×1080

H.265(2) : 1280×720

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.265画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps、60fps
50Hzのとき	25fps、50fps
24/23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき : 30fps

50Hzのとき : 25fps

24/23.98Hzのとき : 24fps

〈NOTE〉

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client)

[512kbps、768kbps、1024kbps、1536kbps、2048kbps、3072kbps、4096kbps、6144kbps、8192kbps、10240kbps、12288kbps、14336kbps、16384kbps、20480kbps、24576kbps]

1クライアントに対するH.265ビットレートを選択します。

工場出荷時の設定:

H.265(1) : 14336kbps

H.265(2) : 8192kbps

Transmission type

H.264のTransmission type(→91ページ)と同等です。

Unicast port(Image)

H.264のUnicast port(Image)(→91ページ)と同等です。

Unicast port(Audio)

H.264のUnicast port(Audio)(→91ページ)と同等です。

Multicast address

H.264のMulticast address(→91ページ)と同等です。

Multicast port

H.264のMulticast port(→91ページ)と同等です。

Multicast TTL/HOPLimit

H.264のMulticast TTL/HOPLimit(→91ページ)と同等です。

● RTMP

RTMP/RTMPS 配信の設定を行います。

Server setup

設定は [Set] ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- RTMP/RTMPS 配信サーバー情報の登録方式は、使用する RTMP/RTMPS 配信サーバーから通知される設定情報に応じて、適切な方式に切り替えて使用してください。
- Stream Key 設定欄は、[Type2] に設定したときだけ表示されます。
- RTMP 配信を行う場合は外部アプリケーションより取得した Server URL および Stream key を設定し、ライブ画面 [Live] または自動追尾画面 [Auto Tracking] の [SRT/MPEG2-TS/RTMP] の [start] ボタンをクリックしてください。
- RTMP 配信を行うときは [Network] 画面にてネットワークに接続できるように設定してください。

URL type [Type1、Type2]

RTMP/RTMPS 配信サーバー情報の登録方式を選択します。

Type1	サーバー URL と RTMP/RTMPS ストリームキーを [Server URL] に連結して設定する場合に指定します。
Type2	サーバー URL と RTMP/RTMPS ストリームキーを [Server URL] と [Stream Key] に個別に設定する場合に指定します。

URL

Server URL

配信先の RTMP/RTMPS サーバー URL を設定します。

Stream key

サービスが [Type2] に設定している場合のみ、配信時に RTMP/RTMPS サーバーから取得したストリームキーを設定します。

Streaming format

RTMP/RTMPS 配信用の H.264 画像の設定を行います。

設定は [Set] ボタンで確定します。

Image capture size、Frame rate、Max bit rate(per client)については、H.264の説明（→90ページ）を参照してください。

〈NOTE〉

- RTMP/RTMPS 配信中は Streaming format 設定は変更できません。
- Streaming format は、配信先サーバーの推奨値を設定してください。推奨値については配信先のサイトまたは窓口にお問い合わせください。

- RTMPS 配信時に、Max bit rate (per client) で 20480kbps より大きな値が設定されている場合、実際の配信のビットレートは 20480kbps 以下になるように制限されます。

● SRT

SRT 配信の設定を行います。

〈NOTE〉

- [Listener] モード時に SRT 配信を行う場合は、デコーダーおよびアプリケーションを [Client(Caller)] モードに設定し、以下の URL を設定してください。
srt://[本機のIPアドレス]:[Client(Caller) port で設定した値]
- [Client(Caller)] モード時に SRT 配信を行う場合、デコーダーおよびアプリケーションの IP アドレスおよびポート番号を [Destination URI]、[Destination port] に設定し、ライブ画面 [Live] または自動追尾画面 [Auto Tracking] の [SRT/MPEG2-TS/RTMP] の [start] ボタンをクリックしてください。
- [Passphrase]、[Stream ID] などオプションで指定することも可能です。

Common setup

設定は [Set] ボタンで確定します。

Mode [Client(Caller)、Listener]

SRT 対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。

Client(Caller)	配信先の IP アドレス、ポート番号を指定し本機から配信を開始する場合に指定します。
Listener	待ち受けポートを指定し、外部からの配信開始要求を待ち受ける場合に指定します。

工場出荷時の設定: Listener

Destination URI

[Mode] で [Client(Caller)] が設定されているときに、IP アドレスを入力します。

指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.3

〈NOTE〉

- IP Address には IPv4 のみ設定できます。

Destination port [1 ~ 65535]

[Mode] で [Client(Caller)] が設定されているときに、ポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

指定したポート番号に接続します。

工場出荷時の設定: 7002

〈NOTE〉

- 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960~5985、7960~8060、10669、10670、11900、59000~61000

Stream ID

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、Stream IDを入力します。
 入力された情報はSRT配信開始時に接続先に通知されます。
 [InsertTemplate]ボタンをクリックした場合は以下のテンプレートが入力欄に自動挿入されます。

- #!::m=publish,r=PanasonicStream
 ・使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#\$%&'()*~^ℓ"<.>?^_

工場出荷時の設定: #!::m=publish,r=PanasonicStream

Client(Caller) port [1～65535]

[Mode]で[Listener]が設定されているときに、ポート番号(本機が接続を待ち受けるときに使用)を入力します。
 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
 20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
 123、161、162、443、546、547、554、995、
 5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
 59000～61000

工場出荷時の設定: 2020

TTL/HOP Limit

H.264のMulticast TTL/HOPLimit(→91ページ)と同等です。

<NOTE>

- パブリックネットワーク経由でSRT配信を行う場合は、TTLの設定を適した値(64など)に変更することを推奨いたします。

Latency

映像・音声を送信されてから、受信側で再生されるまでの時間(ms)を0～65535の範囲で設定します。

工場出荷時の設定: 120

<NOTE>

- ネットワークの帯域によっては設定された時間が保証されない場合もあります。

Encryption [Off, AES-128, AES-256]

配信されるIP映像を暗号化するか設定します。

Off	非暗号でIP映像を配信します。
AES-128	AES-128方式でIP映像を暗号化し、配信します。
AES-256	AES-256方式でIP映像を暗号化し、配信します。

工場出荷時の設定: Off

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	-

Passphrase

暗号化されたIP映像を復号化するためのフレーズを設定します。
 (10～24文字)

Streaming format

SRT配信用のH.264またはH.265画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

Image capture size、Frame rate、Max bit rate(per client)については、H.264の説明(→90ページ)またはH.265の説明(→92ページ)を参照してください。

<NOTE>

- SRT配信中はStreaming format設定は変更できません。
- フレーム周波数が24/23.98Hzのときは、SRT(H.264)、SRT(H.265)モードに設定できません。

● MPEG2-TS over UDP

MPEG2-TS over UDP配信の設定を行います。

<NOTE>

- カメラが配信している映像を受信するためには、アプリケーションやサービスで以下のURLを入力してください。
 - Unicastの場合
 udp://@[unicast ipaddress]:[unicast port]
 - Multicastの場合
 udp://@[multicast ipaddress]:[multicast port]

Transmission type [Unicast, Multicast]

MPEG2-TS over UDP配信をUnicastとMulticastのどちらで行うか設定します。

工場出荷時の設定: Unicast

Unicast address(IPv4)

MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastアドレスを設定します。
 受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.3

Unicast Port [1024～50000]

MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastポート番号を設定します。
 受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。

工場出荷時の設定: 7002

Multicast address(IPv4)

MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastアドレスを設定します。
受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。
工場出荷時の設定: 239.192.0.20

Multicast Port [1024～50000]

MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastポート番号を設定します。
受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。
工場出荷時の設定: 32004

Multicast TTL/HOPLimit

H.264のMulticast TTL/HOP Limit (→91 ページ) と同等です。

Push UDP [Enable、Disable]

Push UDPがEnableに設定されている場合、カメラ起動時に自動的に
MPEG2-TS over UDP配信が開始されます。
工場出荷時の設定: Enable

Streaming format

MPEG2-TS over UDP配信用のH.264画像の設定を行います。
設定は[Set] ボタンで確定します。
Image capture size、Frame rate、Max bit rate(per client)に
ついては、H.264の説明(→90ページ)を参照してください。

Streaming format	
Ts transmission	☒ On ☐ Off
Profile type	☒ High ☐ Main ☐ Baseline
Image capture size	1920x1080
Frame rate	30fps
Max bit rate(per client)	Max 14336kbps
Set	

〈NOTE〉

- MPEG2-TS over UDP配信中はStreaming format設定は変更できません。

● **NDI|HX V2**

NDI|HX V2配信の設定を行います。
設定は[Set] ボタンで確定します。

NDI|HX V2

Common setup	
Source name	NDI_Device-000000000
Protocol	☒ TCP ☐ UDP
Multicast Transmit	☐ On ☒ Off
Address(IPv4)	239.192.0.30
Subnet(IPv4)	255.255.255.0
TTL/HOP Limit	16 (1 - 254)
Group	☐ Enable ☒ Disable
Name	
Use discovery server	☐ Enable ☒ Disable
Server address(IPv4)	
Set	

〈NOTE〉

- [Streaming mode] を[NDI|HX V2]に変更または、[NDI|HX V2]から他のモードに変更した場合は、本機は再起動します。

Source name

本機がNDI® HX2と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示されるデバイス名を設定します。

工場出荷時の設定: NDI_Device-[本機のシリアルナンバー]

入力可能文字数	1～32文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：- _

Protocol [TCP、UDP]

ユニキャスト配信する際の方法を設定します。

工場出荷時の設定: TCP

Multicast Transmit [On、Off]

NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: Off

Address(IPv4) [IPv4 : 244.0.0.0～239.255.255.255]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したマルチキャストアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定: 239.192.0.30

〈NOTE〉

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Subnet(IPv4)

サブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定：255.255.255.0

〈NOTE〉

- [Address(IPv4)]と[Subnet(IPv4)]は、マルチキャスト配信時にランダムに設定されるマルチキャストアドレスの範囲を明確にします。
- [Address(IPv4)]を[239.255.0.0]、[Subnet(IPv4)]を[255.255.0.0]に設定した場合は、[239.255.0.0]～[239.255.255.252]の範囲からランダムに複数割り当てられます。

TTL/HOP Limit

H.264の[Multicast TTL/HOPLimit] (→91 ページ) と同等です。

Group [Enable、Disable]

NDI配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：Disable

Name

グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。

入力可能文字数	1～63文字
入力可能文字	半角英数字

Use discovery server

NDI配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうかを設定します。

Server address(IPv4)

ディスカバリーサーバーを使用するとき、サーバーのIPv4アドレスを設定します。

Streaming format

Streaming format	
Image capture size	1920×1080 ▼
Frame rate	60fps ▼
Max bit rate(per client)	Max 10240kbps ▼
Set	

NDI|HX V2配信用のH.264画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

[Image capture size]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、H.264の説明 (→90 ページ) を参照してください。

■ 音声設定画面 [Audio]

音声に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

● Setting status

Setting status					
Audio	Audio	Input Type	Volume Level CH1	Volume Level CH2	Plugin Power
	Off	Line	0dB	0dB	Off
Audio over IP	Audio transmission	Audio bit rate			
	On	128kbps			

Audio

Audio

音声入力の設定状態を表示します。

Input Type

音声入力タイプの設定状態を表示します。

Volume Level CH1

音声出力(CH1)のボリュームを設定します。
[Audio]が[On]のときに有効です。

Volume Level CH2

音声出力(CH2)のボリュームを設定します。
[Audio]が[On]のときに有効です。

Plugin Power

オーディオのプラグインパワーの設定状態を表示します。

Audio over IP

Audio transmission

音声データのIP配信の設定状態を表示します。

Audio bit rate

音声データをIP配信するときのビットレート設定状態を表示します。

● Audio

設定は[Set]ボタンで確定します。

Audio	
Audio	☐ On ☒ Off
Input Type	☐ Mic ☒ Line
Volume Level CH1	-36dB 0dB +12dB
Volume Level CH2	-36dB 0dB +12dB
Plugin Power	☒ Off ☐ On
Set	

Audio [Off、On]

Audio入力をOff/Onします。

工場出荷時の設定: Off

Input Type [Mic、Line]

Mic	マイク入力に設定します。
Line	ライン入力に設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Line

Volume Level CH1 [-36dB ～ +12dB]

音声出力(CH1)のボリュームを設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0dB

Volume Level CH2 [-36dB ～ +12dB]

音声出力(CH2)のボリュームを設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0dB

Plugin Power [Off、On]

オーディオのプラグインパワーをOff/Onします。

[Audio]が[On]のときに有効です。

[Input Type]が[Mic]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

● Audio over IP

設定は[Set]ボタンで確定します。

Audio over IP

Audio transmission

☐ Off
☒ On

Audio bit rate

128kbps

Set

Audio transmission [Off、On]

パーソナルコンピューターなどに音声データの配信を行うときの通信モードを設定します。

Off	本機から音声データの配信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
On	本機から音声データの配信を行います。パーソナルコンピューターで画像と共に音声を聞くことができます。

工場出荷時の設定: On

Audio bit rate [64kbps、96kbps、128kbps]

音声を配信するときのビットレートを設定します。

工場出荷時の設定: 128kbps

■ 画質調整画面 [Image adjust]

画質の調整を行います。

この画面の項目は、[Scene]と[Matrix]を除き、設定内容がすぐに反映されます。[Scene]と[Matrix]は設定内容を選択した後、[Set]ボタンを押して実行する必要があります。

Scene [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

Scene

Full Auto

Set

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。

撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[Set]ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

Full Auto	撮影条件に合わせて、自動的に最適な露出設定や一部の画質設定を行うモードです。自動化対象となるMENU設定項目は「――」表示になり、設定は変更できません。
Scene1	各種画質設定項目が、Full Auto同等の値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。
Scene2	各種画質設定項目が、低照度環境下に対応した値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。
Scene3	各種画質設定項目が、マニュアル操作重視の値に初期設定されており、そこから各項目の設定変更が可能となります。

工場出荷時の設定: Full Auto

Scene Copy

Scene Copy From

Full Auto

To

Full Auto

Set

カメラ内部に記憶されている各Sceneの情報([Full Auto]/[Scene1]/[Scene2]/[Scene3])を相互にコピーします。

From [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

コピー元のSceneを選択します。

工場出荷時の設定: Scene1

To [Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3]

コピー先のSceneを選択します。

工場出荷時の設定: Scene1

<NOTE>

- [Full Auto]、[Scene1]～[Scene3]間のコピーの場合、排他条件などにしたがって一部の設定値が変更される場合があります。
- [From]が[Full Auto]の場合、[Auto]で動作している項目においては、コピーを実施する時点で動作している設定値が適用されます。

Camera control/Setup Menuボタン

Camera control >>

Setup Menu <<

[Camera control]ボタンをクリックすることで、カメラ制御画面を表示することができます。

画質調整をしながらカメラの制御も行えるようになります。

● Brightness

Picture Level [-50～+50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合
- [Frame Mix]が[Auto]に設定されている場合

工場出荷時の設定：0

Iris Mode [Manual、Auto]

アイリス調整の自動/手動を選択します。

Manual	手動でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Auto Iris Speed [Slow、Normal、Fast]

オートアイリス機能の制御スピードを設定します。

Slow	緩やかなスピードでアイリス制御します。
Normal	標準的なスピードでアイリス制御します。
Fast	素早いスピードでアイリス制御します。

工場出荷時の設定：Normal

Auto Iris Window [Normal1、Normal2、Center、Full]

オートアイリス検出ウィンドウを選択します。

Normal1	画面中央よりのウィンドウです。
Normal2	画面下よりのウィンドウです。
Center	画面中央のスポット状のウィンドウです。
Full	画面全体のウィンドウです。

工場出荷時の設定：Normal1

Iris Limit [Off、On]

[Iris Mode]が[Manual]のときに、アイリスが閉じないように制限をかける機能のOff/Onを設定します。

Off	アイリスがOPEN～CLOSEの全範囲で動作できます。
On	アイリスがCLOSEにならないようにリミットをかけます。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- [Iris Mode]が[Manual]のときのみ有効です。
- 本機能が[On]に設定されている場合でも、アイリスのOPEN方向のリミットはかかりません。
ただし、本機能が[On]に設定されている場合でも、自動ブラックバランス調整 (ABB) を実行したときはアイリスをCLOSEして調整を行います。

Shutter Mode [Off、Step、Synchro、ELC]

カメラのシャッターモードを選択します。

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定 (段階可変) を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定 (連続可変) を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Step/Synchro

[Shutter Mode]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[Shutter Mode] で [Step] を選択した場合	[Shutter Mode] で [Synchro] を選択した 場合
59.94p/ 59.94iモード	1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	60.0 Hz～7200 Hz
29.97pモード	1/30, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	30.0 Hz～7200 Hz
23.98p/24p モード	1/24, 1/48, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	24.0 Hz～7200 Hz
50p/50iモード	1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	50.0 Hz～7200 Hz
25pモード	1/25, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/10000	25.0 Hz～7200 Hz

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

〈NOTE〉

- 29.97pモード、23.98p/24pモード、25pモードでは、[Shutter Mode] で [Off] に設定した場合はシャッター速度は [1/50] になります。

ELC Limit [1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000]

ELCの動作時の最大シャッター値を設定します。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Gain [(Super GainがOffのとき) Auto、0dB～36dB、
(Super GainがOnのとき) Auto、0dB～42dB]

映像のゲイン調整を行います。

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

[Auto] に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Super Gain [Off、On]

スーパーゲイン(感度アップ)のモードを設定します。

Off	スーパーゲインモードにしません。
On	スーパーゲインモードにします。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

AGC Max Gain [6dB、12dB、18dB、24dB、30dB、36dB]

[Gain] で [Auto] を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Frame Mix [Auto、Off、6dB、12dB、18dB、24dB]

フレーム加算(センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

[Shutter Mode] が [ELC] のときは、[Auto] または [Off] のみ設定可能です。

[Shutter Mode] が [Step] または [Synchro] のときは設定できません。

フォーマットが 2160/29.97p、2160/23.98p、2160/24p、

2160/25p、1080/29.97p、1080/23.98p(59.94i)*¹、

1080/23.98p、1080/24p、1080/29.97PsF*¹、

1080/23.98PsF*¹、1080/25p、1080/25PsF*¹ のときは設定

できません。

*¹ AW-UE50のみ

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

〈NOTE〉

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが周期的に変ったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。

- [Frame Mix] が 6dB、12dB、18dB、24dB のいずれかに設定されている状態で、[Shutter Mode] を [ELC] に設定すると、[Frame Mix] は [Off] に変更されます。

Auto F.Mix Max Gain [0dB、6dB、12dB、18dB]

[Frame Mix] が [Auto] で動作する場合の、フレーム加算の最大量を設定します。

[Auto] でフレーム加算が実行された場合、映像がコマ落ちしたように見えます。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

Backlight COMP. [Off、On]

逆光補正機能の On/Off を設定します。

逆光で被写体の後ろ側から光が当たり暗くなるのを軽減するため、画面全体が明るくなるように補正します。

次の自動露出補正機能のうち、いずれかが [Auto] もしくは [ELC] に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode] が [Auto] に設定されている場合
- [Shutter Mode] が [ELC] に設定されている場合
- [Gain] が [Auto] に設定されている場合
- [Frame Mix] が [Auto] に設定されている場合

〈NOTE〉

- [Spotlight COMP.] を [On] にした場合は、[Backlight COMP.] は [Off] になります。

工場出荷時の設定：Off

Backlight COMP. Level [Low、Mid、High]

逆光補正のレベルを設定します。

Low	通常の補正を適用します。
Mid	中程度の補正を適用します。
High	強めの補正を適用します。

工場出荷時の設定：Low

〈NOTE〉

- [Backlight COMP.] が [On] のときのみ設定できます。

Spotlight COMP. [Off、On]

スポットライト補正機能の On/Off を設定します。

スポットライトのように中央が極端に明るい被写体をきれいに撮影できるように補正します。

次の自動露出補正機能のうち、いずれかが [Auto] もしくは [ELC] に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode] が [Auto] に設定されている場合
- [Shutter Mode] が [ELC] に設定されている場合
- [Gain] が [Auto] に設定されている場合
- [Frame Mix] が [Auto] に設定されている場合

〈NOTE〉

- [Backlight COMP.] を [On] にした場合は、[Spotlight COMP.] は [Off] になります。

工場出荷時の設定：Off

Flicker Suppression [Off、On]

フリッカー軽減機能の On/Off を設定します。

蛍光灯などの放電管による照明下で発生する明るさが周期的に変ったり、色が横じまに見えるフリッカーの症状を軽減します。

工場出荷時の設定：Off

● Picture

White Balance Mode

[ATW、AWB A、AWB B、3200K、5600K、VAR]

ホワイトバランス（白バランス）のモードを設定します。

光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。

基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K～15000Kを指定できます。

工場出荷時の設定：「カメラメニュー項目一覧」を参照

AWB

[Execute] ボタンをクリックすると、自動ホワイトバランス (AWB) を行い、ホワイトバランスがセットされます。

[White Balance Mode] が [AWB A] または [AWB B] のときに有効です。

Color Temperature [2000K～15000K]

色温度2000K～15000Kを指定できます。

[White Balance Mode] が [VAR] のときに有効です。

工場出荷時の設定：3200K

R Gain [-200～+200]

Rゲインを調整できます。

[White Balance Mode] が [AWB A]、[AWB B] または [VAR] のときに有効です。

工場出荷時の設定：0

B Gain [-200～+200]

Bゲインを調整できます。

[White Balance Mode] が [AWB A]、[AWB B] または [VAR] のときに有効です。

工場出荷時の設定：0

AWB Color TEMP. Info [2000K～15000K]

[White Balance Mode] が [AWB A] または [AWB B] のときの色温度を表示します。（参照のみ）

[White Balance Mode] が [AWB A] または [AWB B] のときに有効です。

AWB Gain Offset [Off、On]

[White Balance Mode] を [AWB A]、[AWB B] にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。

Off	[R Gain] と [B Gain] の値を [0] にします。
On	[R Gain] と [B Gain] で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定：Off

ATW Speed [Slow、Normal、Fast]

ATW機能の制御スピードを設定します。

Slow	[Normal]よりも遅いスピードで追従します。
Normal	通常のスピードで追従します。
Fast	[Normal]よりも速いスピードで追従します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Normal

ATW Target R [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

ATW Target B [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。

[White Balance Mode]が[ATW]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

Chroma Level [Off、-99%～99%]

映像の色の濃淡を設定します。

工場出荷時の設定: 0%

Chroma Phase [-31～+31]

映像の色の位相の微調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

ABB

[Execute]ボタンをクリックすると、自動ブラックバランス(ABB)を行い、ブラックバランスがセットされます。

Master Pedestal [-200～+200]

黒レベルの調整(ペDESTAL調整)を行います。

マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

工場出荷時の設定: 0

Detail [Off、On]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: On

Master Detail [-31～+31]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。

[Detail]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

Detail Coring [0～60]

ディテール効果を働かせないようにする信号(ノイズを含む)のレベルを設定します。

[Detail]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 15

V Detail Level [-7～+7]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

[Detail]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

Skin Detail [Off、On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。

[Detail]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

Skin Detail Effect [0～31]

設定値が大きいほど、人物の肌をより滑らかに撮影できます。

[Detail]が[On]で、[Skin Detail]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 16

Gamma Mode

[Normal、HD、Cinema1、Cinema2、Still Like]

ガンマカーブのタイプを選択します。

Normal	標準的なガンマ特性です。
HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
Cinema1	コントラストが強めのガンマ特性です。
Cinema2	落ち着いた調子のガンマ特性です。
Still Like	デジタルスチルカメラの画質トーンのガンマ特性です。

工場出荷時の設定: Normal

Gamma [0.30～0.75]

ガンマ補正レベルの調整を行います。

低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。

高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。

工場出荷時の設定: 0.45

DRS [Off、Low、Mid、High]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能を設定します。

[Low]、[Mid]、[High]から効果が選択できます。

工場出荷時の設定: Off

Knee Mode [Off、Auto、Low、Mid、High]

階調圧縮(ニー)の動作モードを設定します。

Off	ニーをオフにします。
Auto	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
Low、Mid、High	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを手動で3段階に設定できます。

工場出荷時の設定: Auto

<NOTE>

・[DRS]を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。

White Clip [Off、On]

ホワイトクリップ機能のOff、Onを設定します。

工場出荷時の設定: On

White Clip Level [90%～109%]

ホワイトクリップレベルを設定します。

[White Clip]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 109%

<NOTE>

・[Knee Mode]が[Auto]のとき、[White Clip Level]の値を変更すると、ニーの値も追従して変更されます。

DNR [Off、Low、High]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。

[Low]、[High]を選択すると、ノイズを除去することができます。

ただし、残像が増える場合があります。

工場出荷時の設定: Low

● Matrix

Matrix Type User Set

Adaptive Matrix Off On

*setting data which changed are reflected immediately

Matrix Settings

Linear Matrix

R-G

-

0

+

R-B

-

0

+

G-R

-

0

+

G-B

-

0

+

B-R

-

0

+

B-G

-

0

+

Color Correction

Color

Saturation

Phase

B_Mg

-

0

+

-

0

+

Mg

-

0

+

-

0

+

Mg_R

-

0

+

-

0

+

Mg_R_R

-

0

+

-

0

+

R

-

0

+

-

0

+

R_R_Yl

-

0

+

-

0

+

R_Yl

-

0

+

-

0

+

R_Yl_Yl

-

0

+

-

0

+

R_Yl

-

0

+

-

0

+

R_Yl_Yl

-

0

+

-

0

+

Yl

-

0

+

-

0

+

Yl_Yl_G

-

0

+

-

0

+

Yl_G

-

0

+

-

0

+

G

-

0

+

-

0

+

G_Cy

-

0

+

-

0

+

Cy

-

0

+

-

0

+

Cy_B

-

0

+

-

0

+

Matrix Type [Normal、Professional、User]

カラーマトリクスタイプを選択します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

Normal	標準的なプリセットマトリクス設定です。
Professional	当社製放送機器と同等のプリセットマトリクス設定です。
User	[Matrix 2/5]画面で[Linear Matrix]の値を調整できます。 [Matrix 3/5]画面、[Matrix 4/5]画面、[Matrix 5/5]画面で[Color Correction]の値を調整できます。

工場出荷時の設定: Normal

Adaptive Matrix [Off、On]

撮影状況に応じてリニアマトリクスを抑制する機能のOff、Onを設定します。
工場出荷時の設定: Off

Matrix Settings

Linear Matrix

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。

R-G	各軸方向の色調整を-63～+63の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

工場出荷時の設定: (→67ページ)

Color Correction

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
各色の飽和度と色相の調整を行います。

Saturation [-63～+63]

各色の飽和度を調整します。

Phase [-63～+63]

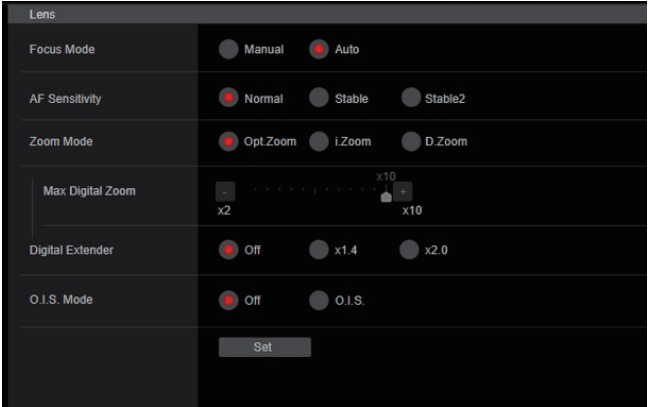
各色の色相を調整します。

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が1:3の色
R	赤
R_R_Yl	赤と黄の比率が3:1の色
R_Yl	赤と黄の中間色
R_Yl_Yl	赤と黄の比率が1:3の色
Yl	黄
Yl_Yl_G	黄と緑の比率が3:1の色
Yl_G	黄と緑の中間色
G	緑
G_Cy	緑とシアンの中間色
Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の中間色
B	青

工場出荷時の設定: (→67ページ)

■ レンズ設定画面 [Lens]

設定は[Set]ボタンで確定します。



Focus Mode [Manual、Auto]

フォーカス調整（ピント合わせ）機能の自動／手動を選択します。

Manual	フォーカスをマニュアル操作します。
Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。

工場出荷時の設定: Auto

AF Sensitivity [Normal、Stable、Stable2]

オートフォーカス機能の追従モードを選択します。

Normal	通常の追従性でフォーカス合わせをします。
Stable	安定性を重視してフォーカス合わせをします。
Stable2	2 m以上の遠距離を中心にフォーカス合わせをします。 被写体までの距離がある講義室内などでの撮影時に有効です。

工場出荷時の設定: Normal

Zoom Mode [Opt.Zoom、i.Zoom、D.Zoom]

ズームの最大倍率を設定します。

Opt.Zoom	光学ズームのみを使用します。 光学24倍までズームが可能です。
i.Zoom	i.Zoom機能を有効にします。 この機能を有効にすると、画質劣化を軽減しながら電子ズームを行います。 [System]画面の[Format]が2160/29.97p、2160/25p、2160/24p、2160/23.98pのとき 光学ズームと電子ズームを合わせて28倍までズームが可能です。 • [System]画面の[Format]がそれ以外のときは、光学ズームと電子ズームを合わせて36倍までズームが可能です。
D.Zoom	デジタルズーム機能を有効にします。 デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

工場出荷時の設定: Opt.Zoom

Max Digital Zoom

[×2、×3、×4、×5、×6、×7、×8、×9、×10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

[Zoom Mode]が[D.Zoom]のときに有効です。

工場出荷時の設定: ×10

〈NOTE〉

- デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

Digital Extender [Off、×1.4、×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

Off	デジタルエクステンダーの機能をOffにします。
×1.4	常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが2.0倍として動作します。

[Zoom Mode]が[Opt.Zoom]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

O.I.S. Mode [Off、O.I.S.]

光学式画揺れ補正(O.I.S.)のモードを設定します。

Off	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOffにします。
O.I.S.	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOnにします。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [O.I.S.]では、パンチルト動作時の画揺れ補正の収束応答を小さくするため、パンチルト動作中は画揺れ補正機能(O.I.S.)による補正量を低下させます。

■ プリセットポジション画面 [Preset position]

Preset position

*setting data which changed are reflected immediately

Preset			Limitation Setting
1 Preset001	2 Preset002	3 Preset003	
4 Preset004	5 Preset005	6 Preset006	
7 Preset007	8 Preset008	9 Preset009	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 Home			Tilt Up : Release Tilt Down : Release Pan Left : Release Pan Right : Release
SET DEL			
JPEG Image Save PICT001 Save			

Pan/Tilt Lens Control

Speed: Fast, Slow

Zoom: T, W, 0, x1.0, D-Ext.(x1.4), D-Ext.(x2.0), D-Zoom

Focus: Far, Near, Auto, O.T.A.F

Iris: +, -, Auto

Gain: Auto

Speed With Zoom Position: Off, On

Focus Adjust With PTZ: Off, On

Preset Setting

Preset Speed Unit: Speed Table, Time

Preset Speed Table: Slow, Fast

Preset Speed: 20

Preset Scope: Mode A, Mode B, Mode C

Preset Digital Extender: Off, On

Preset Thumbnail Update: Off, On

Preset Name: Reset, Hold

Preset Iris: Off, On

Preset Zoom Mode: Mode A, Mode B

Freeze During Preset: Off, On

Preset Shutter: Off, On

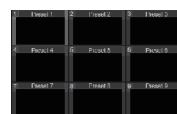
● Preset

設定は[SET]ボタンで確定します。

Preset position

*setting data which changed are reflected immediately

Preset			Limitation Setting
1 Preset001	2 Preset002	3 Preset003	
4 Preset004	5 Preset005	6 Preset006	
7 Preset007	8 Preset008	9 Preset009	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 Home			Tilt Up : Release Tilt Down : Release Pan Left : Release Pan Right : Release
SET DEL			
JPEG Image Save PICT001 Save			



プリセットサムネルをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。
Home、Preset001～Preset100が選択できます。
プリセットポジション登録済みのプリセット番号は緑色で表示されます。

Preset001

(プリセット名称)

プリセット名称を表示します。
プリセット登録モード中にプリセット名称を選択して表示名を変更することができます。
半角1～15文字を入力できます。
使用可能な文字は0～9、A～Z、a～z、半角スペース、_(アンダースコア)です。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
[1] - [12]

表示されているプリセットサムネルのページを切り替えます。

Home

[Home]

ホームポジションへ移動します。

SET

[SET]

プリセット登録モードに移行します。
プリセット登録モード中にプリセットサムネルをクリックすると、現在の状態を指定したプリセットポジションへ登録します。

DEL

[DEL]

プリセット削除モードに移行します。プリセット削除モード中にプリセットサムネルをクリックすると、指定したプリセットポジション設定を削除します。

JPEG Image Save PICT001 Save

[Save]

JPEGイメージ(静止画)を取得し、保存します。
保存先に[PICT001]～[PICT100]または[STILO01]～[STILO05]を指定することができます。
[PICT***]を選択した場合は、対応したプリセット番号のサムネル画像を更新することができます。
[STILO01]～[STILO05]を選択した場合は、より高解像度な静止画を保存することができます。
また、[STILO01]～[STILO05]が選択されている場合、[Load]および[DEL]ボタンが有効になり、保存した静止画の読み込みおよび削除が可能です。

● Limitation Setting

上下左右の回転台のリミット設定を行います。

まず、コントロールパッドを使ってリミット設定したい位置まで回転台を動かします。

リミット位置が決まると、下記の項目に該当するボタンをクリックして確定します。

再度、ボタンをクリックすると解除されます。

Tilt Up	現在の位置を上向きのリミットとして記憶します。
Tilt Down	現在の位置を下向きのリミットとして記憶します。
Pan Left	現在の位置を左向きのリミットとして記憶します。
Pan Right	現在の位置を右向きのリミットとして記憶します。

● Pan/Tilt Lens Control

カメラコントロール用に使用します。ライブ画面[Live]で操作するカメラコントローラーと同じ操作ができます。(→77ページ)

Speed With Zoom Position [Off, On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

本機能はプリセット動作には効果がありません。

工場出荷時の設定: On

Focus Adjust With PTZ. [Off, On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、[Focus Mode]を[Auto]に設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

● Preset Setting

Preset Speed Unit [Speed Table, Time]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときに、その再生時間のスピードを指定するか時間を指定するかを選択します。

Speed Table	プリセット再生時に、スピードを指定して再生します。
Time	プリセット再生時に、時間を指定して再生します。

工場出荷時の設定: Speed Table

Preset Speed Table [Slow, Fast]

プリセットスピードのテーブル(Slow, Fast)を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った[Preset Speed] (1～30)の値でプリセットを実行します。

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Fast

Preset Speed [1～30 / 1s～99s]

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のとき: [1～30]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

工場出荷時の設定: 20

〈NOTE〉

- [Preset Speed]を大きな値に設定すると、停止するときに画面が揺らぐことがあります。

[Preset Speed Unit]が[Time]のとき: [1s～99s]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作時間を1秒～99秒で設定します。

工場出荷時の設定: 20s

〈NOTE〉

- パン・チルトの移動距離によっては、指定した時間と誤差が生じる場合があります。

Preset Scope [Mode A, Mode B, Mode C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

Mode A	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

工場出荷時の設定: Mode A

Preset Digital Extender [Off, On]

プリセットデジタルエクステンダー機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。

[Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

工場出荷時の設定: Off

Preset Thumbnail Update [Off, On]

プリセットメモリーに登録したときに、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)に登録する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)に登録します。

[Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)に登録せずに、事前に登録していた静止画(サムネール)を継続します。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [OSD Mix]の[IP/NDI|HX]が[On]の場合は、静止画(サムネール)の生成時に表示されているOSDメニューの文字列がサムネールに取り込まれます。
- Web画面等から、Camera(ALL)、Camera(SYSTEM)またはCamera(PRESET)のアップロードを実施した場合、プリセットメモリーに登録されている静止画(サムネール)は消去されます。(→126ページ)

Preset Name [Reset, Hold]

プリセットメモリーに登録したときに、事前に登録されていたプリセット名称をリセットするか、維持するかを設定を行います。

Reset	プリセットメモリーに登録したときに、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。 リセットするプリセット名称は、[Preset***]となります。(***)は3桁のプリセット番号: 001～100)
Hold	プリセットメモリーに登録したときに、事前に登録していたプリセット名称を維持します。

工場出荷時の設定: Reset

〈NOTE〉

- 工場出荷時には、プリセット名称は[Preset***]が設定されています。(***)は3桁のプリセット番号: 001～100)
- プリセット名称の登録は、Webブラウザーから設定できます。
0～9、A～Z、a～z、_、半角スペース

Preset Iris [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときに、Irisに関する各種メニュー値を再現させるかどうかをOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時に以下の各メニューの値を再現させます。

- Picture Level
- Iris Mode
- Auto Iris Speed
- Auto Iris Window

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]または[Mode B]のときに有効です。

Preset Shutter [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときに、Shutterの設定値を再現させるかどうかをOff/Onします。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]のときに有効です。
- プリセットメモリーを登録したときのフレームレートと、プリセットメモリーを再生するときのフレームレートが一致するときのみ、Shutter値を再現させます。

Preset Zoom Mode [Mode A, Mode B]

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

Mode A	パン・チルトの動作に合わせてズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作よりも速くズーム動作を行います。

工場出荷時の設定: Mode A

Freeze During Preset [Off, On]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。
[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

工場出荷時の設定: Off

連携機能 [Linkage]

■ Cloud Server 接続設定画面 [Cloud Server]

Cloud Serverに対する接続の有効/無効と接続先のサーバーURLとユーザーアカウント設定をします。

設定は[Set]ボタンで確定します。

Cloud Server	
Mode	☒ Off ☐ On
Cloud URL	
User ID	
Password	
Recommended Cloud Server Platform Setting	☒
Set	

Mode [On, Off]

本機をネットワーク経由でCloud Serverに接続するか設定します。

工場出荷時の設定: Off

Cloud URL

[Mode]が[On]のときに接続するCloud ServerのサーバーURLを設定します。

〈NOTE〉

- URLは最大512文字まで設定できます。

User ID

[Mode]が[On]のときにCloud Serverへ接続するユーザーIDを設定します。

Password

[Mode]が[On]のときにCloud Serverへ接続するパスワードを設定します。

Recommended Cloud Server Platform Setting

Cloud Serverに接続するための推奨設定に、自動的に本機の設定を切り替えます。

〈NOTE〉

- 推奨設定変更後に本機は自動的に再起動を行います。

ユーザー管理画面 [User mng.]

ユーザー管理画面 [User mng.]では、パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理画面 [User mng.]は、[User auth.]、[Host auth.]で構成されています。

■ ユーザー認証設定画面 [User auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.]の [User auth.] をクリックします。
パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大9ユーザーまで登録できます。

〈NOTE〉

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピューターから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗 (認証エラー) した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

● Setting status

現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。

Setting status		
User auth.	Authentication	Wait time mode
Off	Digest	Mode2
User name		Access level
1.	admin	Administrator

● Mode

User auth.	☐ On ☒ Off
Authentication	☐ Basic ☒ Digest
Wait time mode	☐ Mode1 ☒ Mode2
Current "User auth." setting have possibility include vulnerability parameter.	
Set	

User auth. [On, Off]

ユーザー認証を行うかどうかをOn/Offで設定します。

設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定: Off

Authentication [Basic, Digest]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

設定は[Set]ボタンで確定します。

Basic	ベーシック認証を使用します。
Digest	ダイジェスト認証を使用します。

工場出荷時の設定: Digest

Wait time mode [Mode1、Mode2]

パーソナルコンピューターや当社製コントローラーから本機を制御する際に、ユーザー認証で認証に失敗した場合、再入力するまでの待ち時間のモードを設定します。

Mode1	[Mode2]に比べ再入力までの待ち時間が長くなります。セキュリティ面を優先される場合に推奨の設定です。
Mode2	再入力までの待ち時間が短くなります。操作性を優先される場合に推奨の設定です。

工場出荷時の設定: Mode2

(NOTE)

- 当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) を使用する場合、ダイジェスト認証のときは[Wait time mode]を[Mode2]に設定してご利用ください。
[Wait time mode]を[Mode1]に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

● Add user

User name [半角1～32文字]

ユーザー名を入力します。
設定は[Set]ボタンで確定します。
・使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~

Password

Retype password [半角4～32文字]

パスワードを入力します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

Access level [1.Administrator、2.Camera control]

ユーザーのアクセスレベルを設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作を行うことができます。
2.Camera control	ライブ画面[Live]および自動追尾画面[Auto Tracking]での操作のみ行うことができます。

工場出荷時の設定: 1.Administrator

● Delete user

本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。
右の[Delete]ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

■ ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面[User mng.]の[Host auth.]をクリックします。本機にアクセスできるパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限するホスト認証設定を行います。

● Setting status

Host auth.

ホスト認証の設定を表示します。

Host IP address

ホストのIPアドレスを表示します。

Access level

ホストのアクセスレベルを表示します。

● Mode

Host auth. [On、Off]

ホスト認証をするかどうかをOn/Offで設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。
工場出荷時の設定: Off

● Add host

IP address

本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピュータのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

〈NOTE〉

- 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピュータを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で [2.Camera control] を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピュータが [2.Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

Access level [1.Administrator、2.Camera control]

ホストのアクセスレベルを選択します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作ができます。
2.Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。

工場出荷時の設定: 2.Camera control

● Delete host

本機に登録されているホスト情報を削除します。

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト情報を削除できます。

	IP address	Access level	
1.	192.168.0.20	Administrator	Delete
2.	192.168.0.30	Camera control	Delete

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] では、ネットワークに関する設定を行います。

ネットワーク設定画面 [Network] は、[Network]、[Advanced] で構成されています。

■ ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] をクリックします。

設定は [Set] ボタンで確定します。

以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

● IPv4 network

DHCP [On, Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [DHCP]を[On]に設定している場合、AW-RP150またはAW-RP60からのIPアドレス自動設定(AUTO IP)を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピュータや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

〈NOTE〉

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

〈NOTE〉

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

● IPv6 network

Manual [On, Off]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn / Offで設定します。

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力できません。

工場出荷時の設定: Off

IP address(IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

〈NOTE〉

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるブリッフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network]の[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- [DHCPv6]が[On]の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On, Off]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

DHCP機能を使用しないパーソナルコンピュータと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

DNS [Auto, Manual]

DNSサーバーのアドレスを自動(Auto)で取得するか、手動(Manual)で入力するかを設定します。

[Manual]に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。

DHCP機能を使用する場合は、[Auto]に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

工場出荷時の設定: Manual

Primary server address

Secondary server address

DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスを入力します。

DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● Common (IPv6/IPv4共通)

HTTP port [1～65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、546、547、554、995、
5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
59000～61000

工場出荷時の設定: 80

Max RTP packet size [Unlimited-1500byte、
Limited-1280byte]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。

Unlimited-1500byte	制限なし (1500 byte)
Limited-1280byte	制限あり (1280 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited-1500byte

通常は、[Unlimited-1500byte]のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited-1280byte]を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size (MSS)
[Unlimited(1460byte)、Limited(1280byte)、
Limited(1024byte)]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ (MSS) を制限するかどうかを設定します。

Unlimited(1460byte)	制限なし (1460 byte)
Limited(1280byte)	制限あり (1280 byte)
Limited(1024byte)	制限あり (1024 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ (MSS) が制限されている場合は、[Limited(1024byte)] / [Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ (MSS) については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Easy IP Setup accommodate period
[20min、Unlimited]

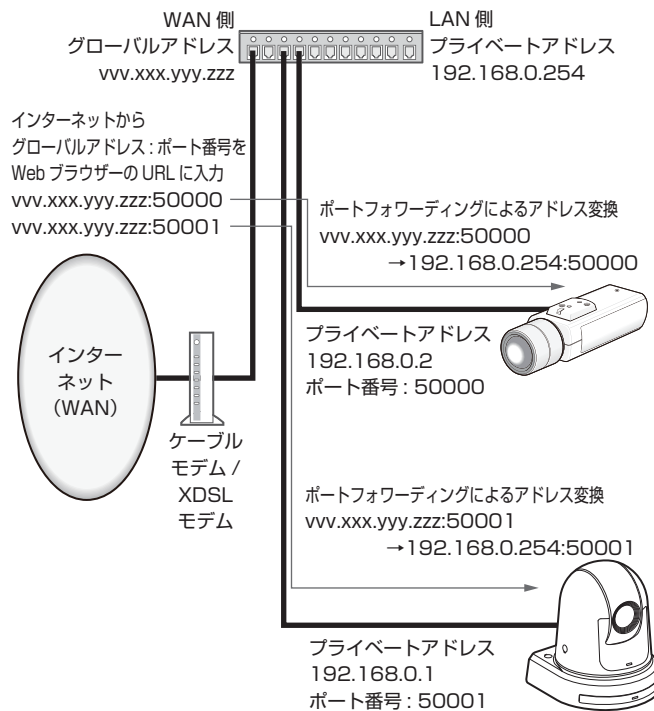
IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20min / Unlimitedのどちらかに設定します。

20min	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみに有効にします。
Unlimited	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定: 20min

〈NOTE〉

- IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換 (NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



Recommended network setting for internet

カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。
[Execute] ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。実行する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

• カメラ画面 [Image/Audio] の [JPEG/H.264]

「Streaming mode」が「H.264」のとき

JPEG(1)

Image capture size : 640 × 360

JPEG(2)

Image capture size : 320 × 180

JPEG(3)

Off

H.264(1)・H.264(2)・H.264(3) [Windows I.E.11](#)

Internet mode(Over HTTP) : On

Transmission priority : Best effort

H.264(1) [Windows I.E.11](#)

Image capture size : 1920 × 1080

Max bit rate(per client) : Max8192kbps、Min2048kbps

H.264(2) [Windows I.E.11](#)

Image capture size : 640 × 360

Max bit rate(per client) : Max4096kbps、Min1024kbps

H.264(3) [Windows I.E.11](#)

Image capture size : 320 × 180

Max bit rate(per client) : Max4096kbps、Min512kbps

H.264(4) [Windows I.E.11](#)

H.264 transmission : Off

「Streaming mode」が「H.265」のとき

JPEG(1)

Image capture size : 640 × 360

JPEG(2)

Image capture size : 320 × 180

JPEG(3)

Off

H.265(1)

Max bit rate(per client) : Max8192kbps

Frame rate : 30fps/25fps/24fps

H.265(2)

Max bit rate(per client) : Max4096kbps

Frame rate : 30fps/25fps/24fps

• ネットワーク設定画面 [Network] の [Network]

IPv6/v4共通

Max RTP packet size : Limited-1280byte

HTTP max segment size (MSS) : Limited(1280byte)

Check active network setting

本機で有効となっているNetwork設定 (IPv4、IPv6、DNS) 情報を確認できます。

[Confirm] ボタンをクリックすると、ポップアップが表示されます。

IPv4	
IP address(IPv4)	192.168.0.10
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	192.168.0.1
IPv6	
IPaddress 1(IPv6)	
IPaddress 2(IPv6)	
Default gateway	
DNS	
Primary server address	
Secondary server address	
Close	

〈NOTE〉

- IPaddress 1(IPv6)、IPaddress 2(IPv6)には、それぞれ、Manualで設定されたIPアドレスおよびDHCPで取得したIPアドレスがひとつずつ表示されます。

■ ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] をクリックします。

ここでは、NTP、UPnP、HTTPS機能について設定します。

各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

● Setting status

Setting status
HTTP Port number
HTTP Status
Disable
HTTPS Port number
HTTPS Status
Disable
Router global address

HTTP Port number

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

HTTP Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

HTTPS Port number

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

HTTPS Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

Router global address

ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

● NTP

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NTP	
Synchronization with NTP	☐ On ☒ Off
NTP server address setting	Manual
NTP server address	
NTP port	123 (1-65535)
Time adjustment interval	1h
Set	

Synchronization with NTP [On, Off]

On	NTPサーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Off	基本画面[Basic]の[Date/time]で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定: Off

NTP server address setting [Auto, Manual]

NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

Auto	DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
Manual	NTPサーバーアドレスを[NTP server address]に入力して設定します。

工場出荷時の設定: Manual

〈NOTE〉

- NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で、[DHCP]または[DHCPv6]を[On]に設定する必要があります。(→109ページ)

NTP server address

[NTP server address setting]で[Manual]を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1～128文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：、_、-

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- [NTP server address]のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で[DNS]の設定を行う必要があります。(→109ページ)
- [NTP server address]にリンクローカルアドレスを設定した場合は動作しません。

NTP port [1～65535]

NTPサーバーのポート番号を入力します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、546、547、554、995、
5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
59000～61000

工場出荷時の設定: 123

Time adjustment interval [1h～24h]

NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。

工場出荷時の設定: 1h

● UPnP

本機は、UPnP (Universal Plug and Play) に対応しています。
UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

- ルーターのポートフォワーディング機能を設定します。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です。)

この設定はインターネットからカメラにアクセスする場合に便利です。

UPnP	
Auto port forwarding	☐ On ☒ Off
Set	

Auto port forwarding [On, Off]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。
設定は[Set]ボタンで確定します。

On	ルーターのポートフォワーディング機能を使用します。
Off	ルーターのポートフォワーディング機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パーソナルコンピュータやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、ネットワーク詳細設定画面[Advanced]の[Setting status]をクリックし、[HTTP Status]または[HTTPS Status]が[Enable]になっていることを確認します。(→111ページ)
[Enable]が表示されていない場合は、「トラブルシューティング」の「Web ブラウザーからアクセスできない」(→137ページ)をお読みください。

● HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

設定は[Set]ボタンで確定します。

HTTPSの設定方法については、117ページを参照してください。

CRT key generate

HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)を生成します。

CRT鍵の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される「CRT key generate」ダイアログで行います。

詳細は「CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成」(→118ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)

自己証明書(セキュリティ証明書)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「Self-signed Certificate - Generate」ダイアログで行います。

詳細は「自己証明書(セキュリティ証明書)の生成」(→118ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。

[Confirm]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「Self-signed Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。

[Delete]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関(CA: Certificate Authority)によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト(CSR: Certificate Signing Request)を生成します。

署名リクエスト(CSR)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「CA Certificate - Generate Certificate Signing Request」ダイアログで行います。

詳細は「署名リクエスト(CSR)の生成」(→119ページ)を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールおよびインストールされたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報表示を行います。

[Select]ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開く」ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールが実行されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。詳細は「サーバー証明書のインストール」(→120ページ)を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。

[Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト(CSR)の内容が表示されます。

[Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

〈NOTE〉

- 有効なサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書(セキュリティ証明書)のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書(セキュリティ証明書)が必要になります。

Connection [HTTP、HTTPS]

本機への接続方法を設定します。

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP

詳細は「接続方法の設定」(→120ページ)を参照してください。

〈NOTE〉

- HTTPS接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200をネットワークで接続できません。

HTTPS port [1～65535]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

〈NOTE〉

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書(セキュリティ証明書)をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→121ページ)
- サーバー証明書を使用する場合:
あらかじめご使用のWebブラウザに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS mode [TLS1.0/1.1/1.2/1.3, TLS1.2, TLS1.3]

HTTPSでカメラにアクセスする際の暗号プロトコルを設定します。

TLS1.0/1.1/1.2/1.3	HTTPS有効時にTLS1.0/1.1/1.2/1.3での接続を許可します。
TLS1.2	HTTPS有効時にTLS1.2での接続を許可します。
TLS1.3	HTTPS有効時にTLS1.3での接続を許可します。

工場出荷時の設定: TLS1.2

● RTSP

RTSP機能に関する設定を行います。RTSP機能ではIP映像配信で使用するRTSPの通信ポートおよびRTSP request URLを設定します。設定は[Set]ボタンで確定します。

RTSP	
RTSP port	554 (1-65535)
RTSP request URL H.264(1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP request URL H.264(2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP request URL H.264(3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP request URL H.264(4)	MediaInput/h264/stream_4
RTSP request URL H.265(1)	MediaInput/h265/stream_1
Set	

RTSP port [1～65535]

RTSP受信ポート番号を設定します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、546、547、554、995、
5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
59000～61000

工場出荷時の設定: 554

RTSP request URL

IP映像配信要求を本機に対して行う場合に、RTSPで指定するURLの設定を行います。

RTSP request URL H.264(1)	H.264(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(2)	H.264(2) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(3)	H.264(3) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(4)	H.264(4) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(1)	H.265(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(2)	H.265(2) 映像配信用RTSP URL

工場出荷時の設定:

RTSP request URL H.264(1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP request URL H.264(2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP request URL H.264(3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP request URL H.264(4)	MediaInput/h264/stream_4
RTSP request URL H.265(1)	MediaInput/h265/stream_1
RTSP request URL H.265(2)	MediaInput/h265/stream_2

- 入力可能な文字数は255文字です。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	/ - _

(NOTE)

- RTSP request URLに同じURLを指定することはできません。

● SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。
設定は[Set]ボタンで確定します。

SNMP	
SNMP	☐ On ☒ Off
SNMP version	SNMPv3
User name	
Authentication	☒ MD5 ☐ SHA1
Encryption method	☒ DES ☐ AES
Password	
System name	
Location	
Contact	
Set	

SNMP [On, Off]

SNMP機能を使用するか設定を行います。

工場出荷時の設定: Off

User name

ユーザー認証用のユーザー名を設定します。
ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムにMD5を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA1を使用します。

工場出荷時の設定: SHA1

Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

DES	SNMPv3の暗号通信方式にDESを使用します。
AES	SNMPv3の暗号通信方式にAESを使用します。

工場出荷時の設定: AES

Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。
ここで指定したパスワードと同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication]を[MD5]に設定した場合： 8～16文字 [Authentication]を[SHA1]に設定した場合： 8～20文字
入力不可文字	全角

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Location

本機を設置した場所を設定します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

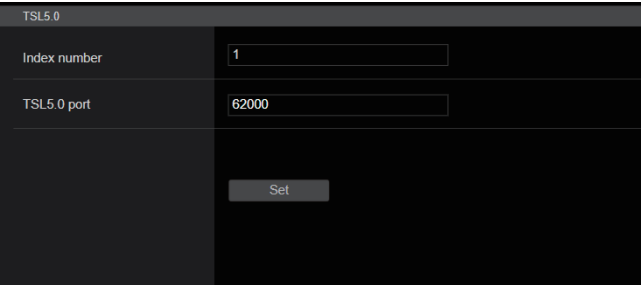
Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数	0～255文字
入力不可文字	全角

● TSL5.0

TSLプロトコルバージョン5.0に関する設定を行います。TSL5.0機能ではTSL5.0プロトコルに対応した機器から本機のタリーを制御するために必要な情報を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Index number [1～65534]

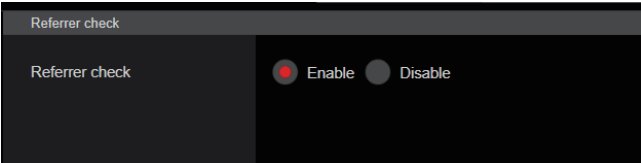
TSL5.0制御機器に設定されているINDEXと本機のIndex numberを合わせることで、個別に本機のタリーを制御することができます。
工場出荷時の設定: 1

TSL5.0 Port [1～65535]

TSL5.0プロトコルによる制御を受け付けるポート番号を設定します。
工場出荷時の設定: 62000

● Referrer check

Referrer checkを有効にすることで、カメラに対するアクセス要求元が正当なものであるか確認することができます。
不正なアクセス元と判断された場合は、アクセスを拒否します。
ご使用していただく環境によってはReferrer checkが有効な場合、本機にアクセスできない場合があります。
その場合は、Referrer checkを無効にすることでアクセスが可能になりますが、不正なアクセス元か判断ができなくなります。

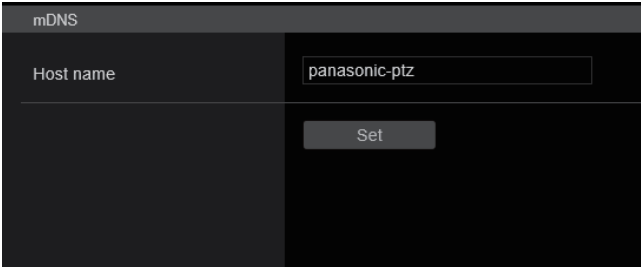


Enable	Referrer check機能を使用します。
Disable	Referrer check機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Enable

● mDNS

mDNSの[Host name]を設定することで、本機に対してhttp://Host name.localでアクセスすることが可能になります。



入力可能文字数	63文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：-

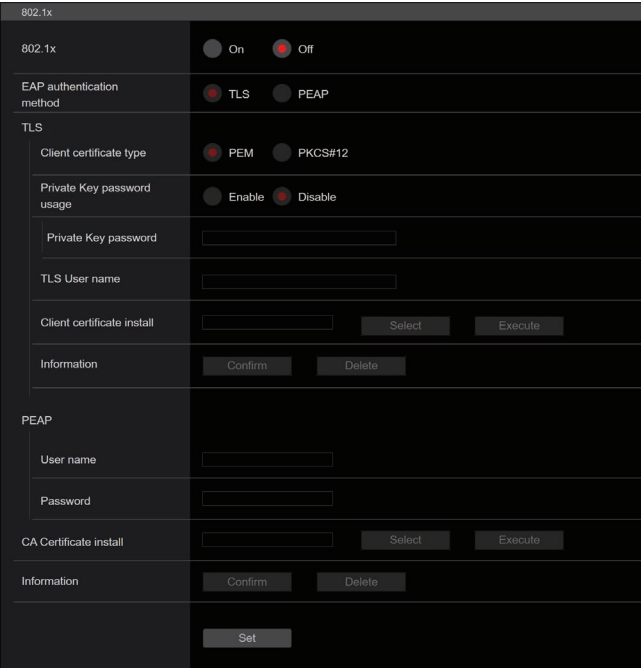
工場出荷時の設定: panasonic-ptz

〈NOTE〉

- 同一ネットワーク内に同じ設定のカメラがあった場合の動作は、保証いたしません。

● 802.1X

IEEE 802.1X クライアントの設定を行います。



〈NOTE〉

- 設定には、802.1Xに関する知識が必要になります。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機能を用いたシステムを構成するには、認証サーバー、Authenticatorの設定が、別途必要です。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 802.1Xが有効になっているシステム構成では、AW-RP150、AW-RP60からカメラを制御することができません。
- 設定前に、[Date & Time] 設定画面または [NTP] 設定画面にて本機の時刻設定を行ってください。
本機の時刻設定が正しく行われていない場合、正しく動作しない場合があります。
- 設定前に、[Data&Time] 設定画面の [Memory] を [Enable] に設定してください。

802.1X [On、Off]

802.1X機能を使用するかどうかの設定を行います。

工場出荷時の設定：Off

EAP authentication method [TLS、PEAP]

802.1X機能で用いる認証方式の設定を行います。

本機では、TLSまたはPEAPを用いた認証方式に対応しています。

工場出荷時の設定：TLS

〈NOTE〉

- ・認証サーバーで許可されている認証方式と一致しない場合、正しく動作しない場合があります。

TLS

TLS認証方式を用いた場合の設定を行います。

Client certificate type [PEM、PKCS#12]

TLS認証で用いるクライアント証明書の方式の設定を行います。

本機では、PEM、PKCS#12方式に対応しています。

〈NOTE〉

- ・秘密鍵を用いる場合は、クライアント証明書内に秘密鍵情報が含まれている必要があります。
[Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定してください。
- ・PKCS#12方式でクライアント証明書をインストールする場合、
[Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定する必要があります。
- ・PKCS#12方式を選択した場合、PKCS#12のパスワードと[Private Key password]を一致させる必要があります。

Private Key password usage [Enable、Disable]

クライアント証明書に秘密鍵を使用するかどうかの設定をします。

Enable	秘密鍵を使用するときに選択します。
Disable	秘密鍵を使用しないときに選択します。

〈NOTE〉

- ・[Enable]を選択した場合、[Private Key password]で正しい値を設定する必要があります。

Private Key password

秘密鍵に設定したパスワードの設定を行います。

〈NOTE〉

- ・PKCS#12方式のクライアント証明書をインストールする場合は、PKCS#12に設定したパスワードと同一のものを入力してください。

TLS User name

TLS認証で許可されるユーザー名を設定します。

〈NOTE〉

- ・有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Client certificate install

クライアント証明書をインストールします。

〈NOTE〉

- ・クライアント証明書は、認証局より発行された正しいものをインストールしてください。
- ・証明書をインストールする前に[Client certificate type]、[Private Key password usage]、[Private Key password]の設定が完了していることを確認してください。
上記設定がされていない状態では、証明書が正しくインストールされない場合があります。

PEAP

PEAP認証方式を用いた場合の設定を行います。

User name

PEAP認証で許可されるユーザー名を設定します。

〈NOTE〉

- ・有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Password

PEAP認証でUser nameにひもづくパスワードを設定します。

〈NOTE〉

- ・有効なパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

CA Certificate install

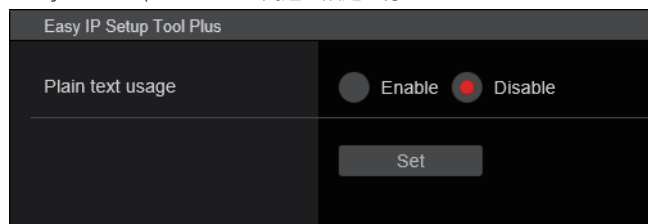
IEEE 802.1X認証で用いるCA証明書をインストールします。

〈NOTE〉

- ・CA証明書は、正しい認証局より発行されたものをインストールしてください。

● Easy IP Setup Tool Plus

Easy IP Setup Tool Plus関連の設定を行います。



Plain text usage [Enable、Disable]

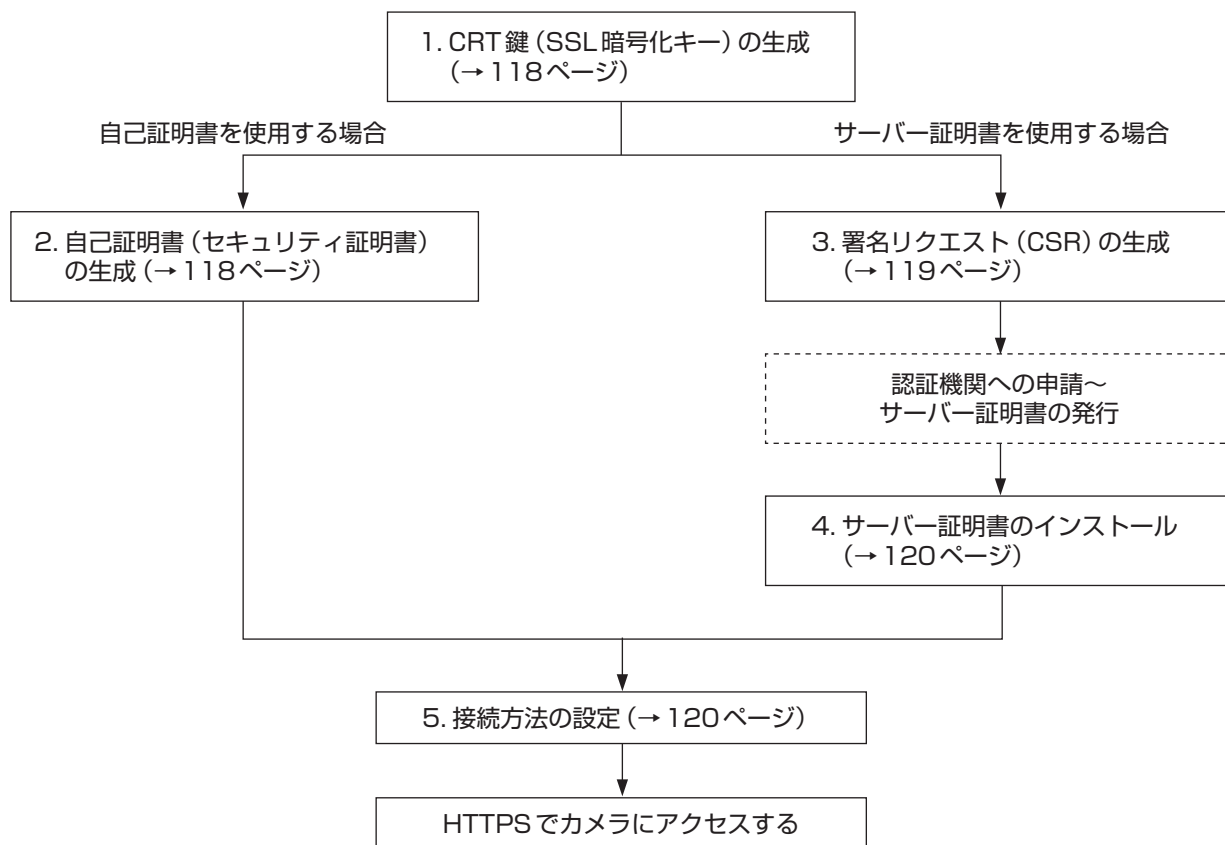
Easy IP Setup Tool Plusとの通信を暗号化するかどうかの設定をします。

工場出荷時の設定：Enable

■ HTTPSの設定方法[HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

The screenshot shows the 'HTTPS' configuration page. It has a dark theme with white text. The interface is divided into sections for certificate management and connection settings. Red lines with numbers 1 through 5 point to specific elements: 1 points to the 'Execute' button for 'CRT key generate'; 2 points to the 'Execute' button for 'Self-signed Certificate Generate' and the 'Delete' button for 'Self-signed Certificate Information'; 3 points to the 'Execute' button for 'CA Certificate Generate Certificate Signing Request'; 4 points to the 'Execute' button for 'CA Certificate install'; 5 points to the 'HTTP' dropdown in 'Connection', the '443' input field in 'HTTPS port', and the 'TLS1.2' dropdown in 'HTTPS mode'.



〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

■ CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成

[CRT key generate]

〈NOTE〉

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1.[CRT key generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Current CRT key]ダイアログが表示されます。

2.[CRT key generate] - [RSA key size]で、生成するCRT鍵の長さを[1024bit] / [2048bit]から選択する

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3.[Execute]ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key]に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

〈NOTE〉

- 生成したCRT鍵を変更(更新)したい場合は、手順1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。[Current CRT key]ダイアログの[CRT key]で[History]ボタンをクリックすると、[Previous CRT key]ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。[Previous CRT key]で、[Apply]ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

■ 自己証明書(セキュリティ証明書)の生成

[Self-signed Certificate - Generate]

〈NOTE〉

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1.[Self-signed Certificate] - [Generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate]が表示されます。

2.生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。 (省略可能)	2文字：国名コード (日本の場合：JP)
State	都道府県名を入力します。 (省略可能)	128文字
Locality	市区町村名を入力します。 (省略可能)	128文字
Organization	組織名を入力します。 (省略可能)	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。 (省略可能)	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0～9(半角)、A～Z(半角)、a～z(半角)、半角記号 - _ + / () です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name]にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name]にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを [] で囲んでください。
例：[2001:db8::10]

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。

〈NOTE〉

- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] – [Information]に表示されます。自己証明書（セキュリティ証明書）の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 ・この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の[Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、[Self-signed Certificate – Confirm]ダイアログに表示されます。

- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で[HTTPS]が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

■ 署名リクエスト(CSR)の生成

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]

〈NOTE〉

- CRT 鍵が生成されていない場合、署名リクエスト(CSR)の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト(CSR)を生成する場合、Web ブラウザーのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの[ツール]–[インターネットオプション]–[セキュリティ]タブで、以下の設定を行ってください。
- カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]–[ファイルのダウンロード]を[有効にする]に設定する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]–[ファイルのダウンロード]時に自動的にダイアログを表示]を[有効にする]に設定する。

1. [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] の [Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] ダイアログが表示されます。

2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
State	都道府県名を入力します。	128文字
Locality	市区町村名を入力します。	128文字
Organization	組織名を入力します。	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64文字
CRT key	現在のCRT 鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit] で入力可能な文字は、0～9（半角）、A～Z（半角）、a～z（半角）、半角記号 -、_、+、/（）です。

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

4. [名前を付けて保存] ダイアログで、署名リクエスト(CSR)にファイル名を付け、パーソナルコンピュータに保存する
保存した署名リクエスト(CSR)を使用して認証機関に申請します。

〈NOTE〉

- 生成した署名リクエスト(CSR)とCRT 鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT 鍵を生成/更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト(CSR)は、PEM形式です。

■ サーバー証明書のインストール

[CA Certificate - CA Certificate install]

〈NOTE〉

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1. [CA Certificate - CA Certificate install] の [Select] ボタンをクリックする

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2. サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックする

サーバー証明書がインストールされます。

〈NOTE〉

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] - [Information] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) の内容が、[CA Certificate - Confirm] ダイアログに表示されます。([Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。)

- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1 ～ 手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書 (セキュリティ証明書) のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS 機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法が HTTP に変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

■ 接続方法の設定

[Connection]

1. [Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する

HTTP: HTTP 接続のみ可能になります。

HTTPS: HTTPS 接続のみ可能になります。

〈NOTE〉

- HTTPS 接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200 をネットワークで接続できません。

2. [HTTPS port] に、HTTPS で使用するポート番号を設定する

設定可能なポート番号: 1 ～ 65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

3. [HTTPS mode] に、HTTPS で使用する暗号プロトコルを設定する

TLS1.0/1.1/1.2: TLS1.0/1.1/1.2 で接続可能になります。

TLS1.2: TLS1.2 で接続可能になります。

4. [Set] ボタンをクリックする

カメラが再起動し、HTTPS でのカメラへのアクセスが有効になります。

〈NOTE〉

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合**
HTTPS でカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書 (セキュリティ証明書) をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→ 121 ページ)
- サーバー証明書を使用する場合**
あらかじめご使用の Web ブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

■ HTTPS でカメラにアクセスする

1. パーソナルコンピューターで Web ブラウザーを起動する

2. カメラの IP アドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力する

入力例: https://192.168.0.10/

〈NOTE〉

- HTTPS ポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラの IP アドレス: ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例: https://192.168.0.11:61443
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. [Enter] キーを押す

ライブ画面 [Live] が表示されます。

セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。(→ 121 ページ)

[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面 [Live] が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

〈NOTE〉

- HTTPS を使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔 (フレームレート) も遅くなることがあります。

● セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスすることによりセキュリティの警告画面が表示されません。

〈NOTE〉

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス/ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスすることによりセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス/ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス/ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることによりセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。

1.HTTPSでカメラにアクセスする

2.セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックする



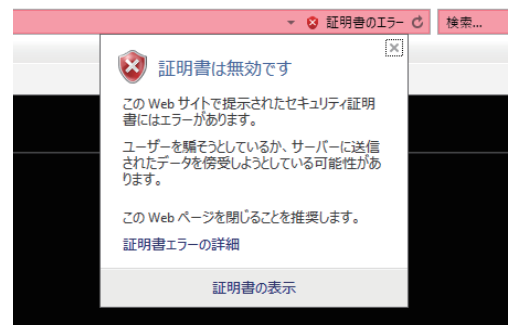
ライブ画面[Live]が表示されます。

なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

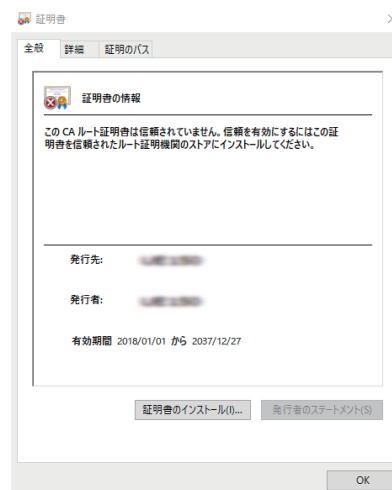
〈NOTE〉

- カメラ以外の機器/サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3.URL上の[証明書のエラー]をクリックし、[証明書の表示]をクリックする



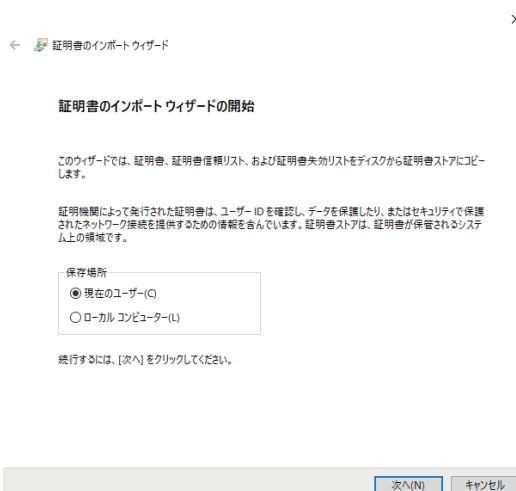
4.[証明書のインストール(I)...]をクリックする



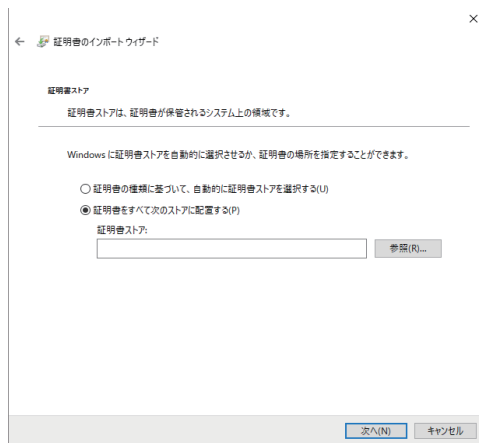
〈NOTE〉

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。
[スタート] - [プログラム] - [Internet Explorer] を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

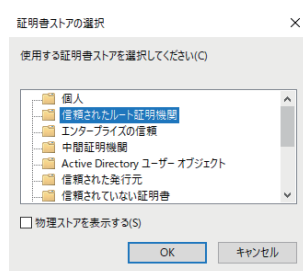
5.証明書のインポートウィザードに表示される[次へ(N)]をクリックする



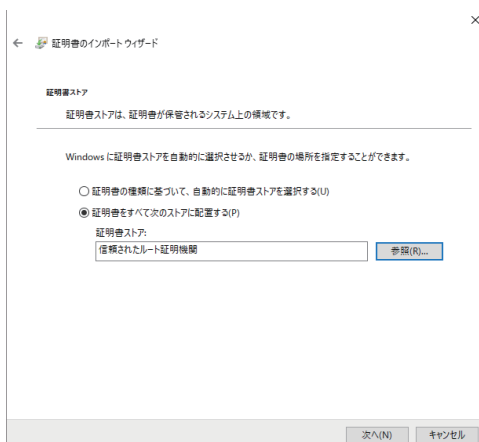
6. [証明書すべて次のストアに配置する (P)] を選択し、[参照 (R)...] をクリックする



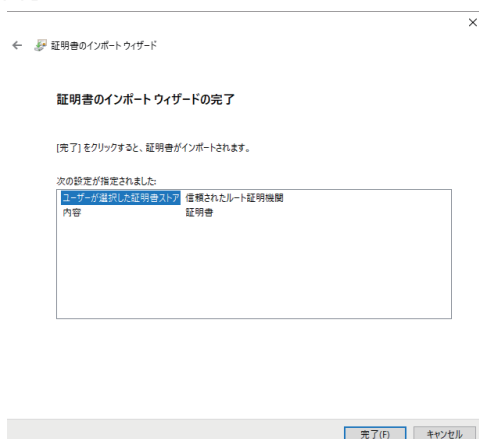
7. [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックする



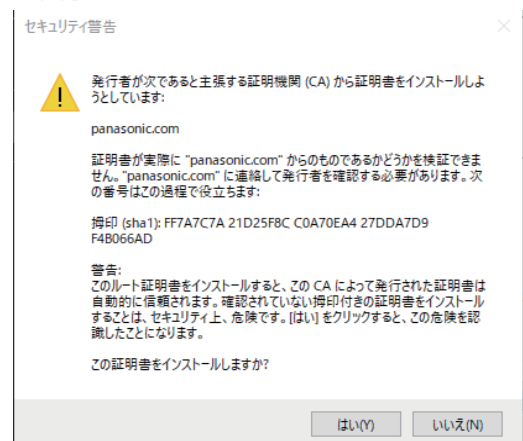
8. [次へ (N)] をクリックする



9. [完了 (F)] をクリックする

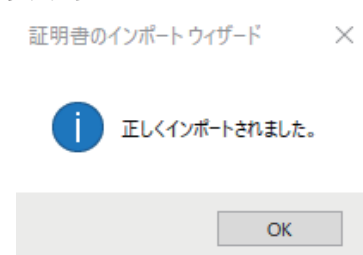


10. [はい (Y)] をクリックする



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK] をクリックする



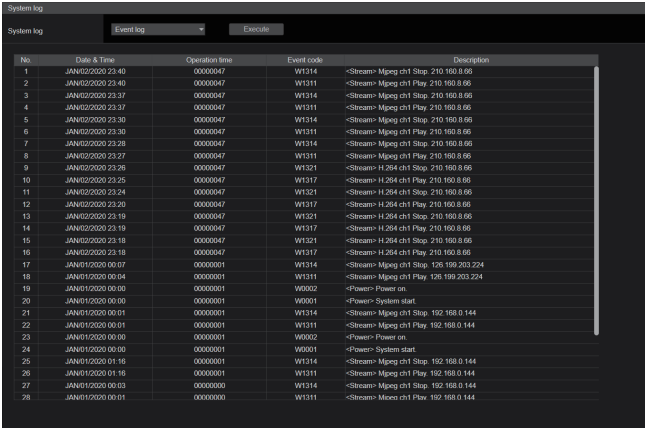
証明書をインポートしたあと Web ブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。
[System log]、[Product info.]、[Default reset]、[Backup]の4つの設定で構成されています。

■ システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリに最大1000件のイベントログと最大100件のエラーログを保存できます。
保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
本機の電源を切っても、ログは保存されます。



No.	Date & Time	Operation time	Event code	Description
1	JAN02/2020 23:40	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.160.8.66
2	JAN02/2020 23:40	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.160.8.66
3	JAN02/2020 23:37	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.160.8.66
4	JAN02/2020 23:37	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.160.8.66
5	JAN02/2020 23:30	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.160.8.66
6	JAN02/2020 23:30	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.160.8.66
7	JAN02/2020 23:28	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.160.8.66
8	JAN02/2020 23:27	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.160.8.66
9	JAN02/2020 23:26	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.160.8.66
10	JAN02/2020 23:25	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.160.8.66
11	JAN02/2020 23:24	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.160.8.66
12	JAN02/2020 23:20	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.160.8.66
13	JAN02/2020 23:19	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.160.8.66
14	JAN02/2020 23:19	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.160.8.66
15	JAN02/2020 23:18	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.160.8.66
16	JAN02/2020 23:18	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.160.8.66
17	JAN01/2020 00:07	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 126.199.203.224
18	JAN01/2020 00:04	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 126.199.203.224
19	JAN01/2020 00:00	00000001	W0002	<Power> Power on
20	JAN01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> System start.
21	JAN01/2020 00:01	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
22	JAN01/2020 00:01	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144
23	JAN01/2020 00:00	00000001	W0002	<Power> Power on
24	JAN01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> System start.
25	JAN01/2020 01:16	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
26	JAN01/2020 01:16	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144
27	JAN01/2020 01:13	00000000	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
28	JAN01/2020 01:01	00000000	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144

＜NOTE＞

- ・システムログ画面を表示したときは、イベントログの表示になります。

System log [Event log, Error log]

イベントログとエラーログの表示を切り替えます。

[Execute]ボタンをクリックすると、イベントログの表示が更新されます。

Event log	イベントログを表示します。
Error log	エラーログを表示します。

[Event log]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大1000件までログを保存できます。

Date & Time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機のアワーメーター（0h～99999h）で表示されます。

Event code

イベントのコード番号が表示されます。

Description

イベントの内容が表示されます。

表示例：

- <Power> Power on.
- <Stream> H.264 ch1 Play.
- <Stream> H.264 ch1 Stop.

[Error log]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大100件までログを保存できます。

Date & Time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機のアワーメーター（0h～99999h）で表示されます。

Error code

エラーのコード番号が表示されます。

Error description

エラーの内容が表示されます。

表示例：

- Motor Driver Error
- Temp Sensor Error

■ 製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。
[Model no.], [MAC address], [Serial no.], [Firmware version]
など本機の各情報が表示されます。

Product info.				
Model no.	AW-UE50			
MAC address	00-80-45-2F-34-C2			
Serial no.	000000000			
Firmware version	V01.07			
CPU Software	Main/Network	Camera	Lens	Servo
	Ver 01.07	Ver 01.03	Ver 01.00	Ver 01.03
EEPROM	Main/Network			
	Ver 01.07			
FPGA	AVIO			
	Ver 01.01			
Activation	NDI * This product is compatible with NDI technology of Vizrt NDI AB.			
Operation time	47h			
Viewer software installation counter	0			
OSS license display	View			
Firmware file				Select
	Execute			

Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address

本機のMAC アドレスが表示されます。

Serial no.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

CPU Software

Main/Network

メイン/ネットワークソフトのバージョンを表示します。

Camera

カメラソフトのバージョンを表示します。

Lens

レンズソフトのバージョンを表示します。

Servo

サーボソフトのバージョンを表示します。

EEPROM

Main/Network

メイン/ネットワークのEEPROMバージョンを表示します。

FPGA (AW-UE50のみ)

AVIO

映像信号処理部のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation time

本機が動作した時間を表示します。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

OSS license display

[View] ボタンを押すと、OSS ライセンスを表示します。
OSS ライセンスの表示画面を閉じる時は [Close] ボタンを押してください。

Firmware file

ファームウェアのバージョンアップを行います。
バージョンアップの方法については、「ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ」(→ 125 ページ) をご参照ください。

● ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ

1.最新のソフトウェアをパーソナルコンピューターにダウンロードする

〈NOTE〉

- 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2.[Select] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3.[Execute] ボタンをクリックする

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。
バージョンアップを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

〈NOTE〉

- [Execute] ボタンをクリックした後、バージョンアップ処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、1分程度かかることがあります。
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピューターで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

UPDATE.HDC
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。(完了したことを示すポップアップ画面が表示されるまで)
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでは一切の操作を行わないでください。
- バージョンアップを行った後は、Web ブラウザーを一度閉じてください。

■ 初期化画面 [Default reset]

本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

Default reset	
Reset to the default (Except the network settings)	Execute
Reboot	Execute

Reset to the default (Except the network settings)

[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約2分間は操作できません。

〈NOTE〉

- 次の設定項目は初期化されません。
 - [Live page - Automatic installation of viewer software]
 - [Live page - Smoother live video display on the browser(buffering)]
 - [User mng.] 以下のすべての項目
 - [Network - Network] 以下のすべての項目
 - [HTTPS - Connection]
 - [HTTPS - HTTPS port]
 - [HTTPS - HTTPS mode]
 - HTTPS : CRT 鍵、サーバー証明書
 - [UPnP] 以下のすべての項目
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。
- [Format]と[Frequency]の設定内容(→82ページ)は、初期化されません。

Reboot

[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

■ バックアップ画面 [Backup]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存したり、パーソナルコンピュータに保存してある設定を本機に適用することができます。

Download

Config data type

[Camera(ALL)、Camera (SCENE1) ～Camera (SCENE3)、Camera (SCENE Full Auto)、Camera (SCENE ALL)、Camera (SYSTEM)、Camera (PRESET)、Network]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値	保存される内容	保存ファイル 拡張子
Camera(ALL)	Scene1、2、3、Full Autoの設定内容 System、Output、Pan/Tilt、 Presetの設定内容 (1つの設定ファイルとして保存されます)	.cal
Camera (SCENE1)	Scene1の設定内容	.cs1
Camera (SCENE2)	Scene2の設定内容	.cs2
Camera (SCENE3)	Scene3の設定内容	.cs3
Camera (SCENE Full Auto)	SCENE Full Autoの設定内容	.csfa
Camera (SCENE ALL)	Scene1、2、3の設定内容 (Sceneごとに設定ファイルが保存されます)	.cs1 .cs2 .cs3
Camera (SYSTEM)	System、Output、Pan/Tilt、 Presetの設定内容	.csy
Camera (PRESET)	Presetの設定内容	.cpr
Network	Web画面での設定内容 ネットワークの設定内容	.nal

Download

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存します。

[Download] ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

〈NOTE〉

- [Download] ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約50秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約10秒かかります。
- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。この場合、本機は自動的に再起動します。

Upload

Config data type

[Camera(ALL)、Camera (SCENE1) ～Camera (SCENE3)、Camera (SCENE Full Auto)、Camera (SYSTEM)、Camera (PRESET)、Network]

パーソナルコンピュータに保存した設定データを本機に反映するときの、設定データの種別を指定します。

設定値	アップロード可能なファイル拡張子
Camera(ALL)	.cal
Camera (SCENE1)	.cs1
Camera (SCENE2)	.cs2
Camera (SCENE3)	.cs3
Camera (SCENE Full Auto)	.csfa
Camera (SYSTEM)	.csy
Camera (PRESET)	.cpr
Network	.nal

Upload

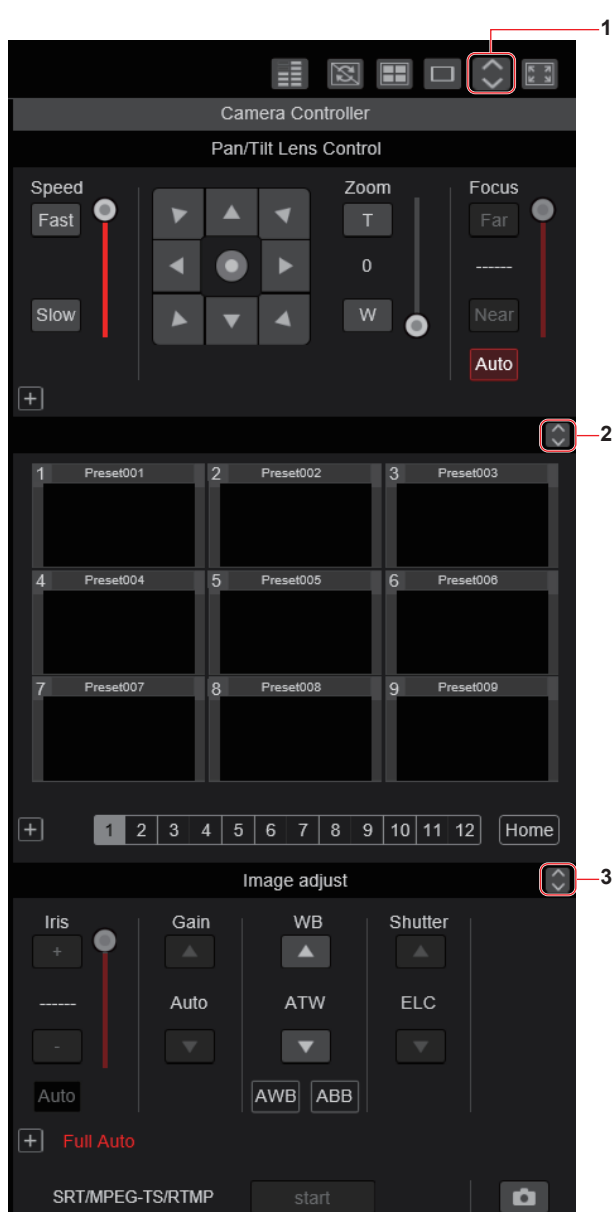
ダウンロード機能でパーソナルコンピュータに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

〈NOTE〉

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約3分かかります。
- Camera(ALL)またはCamera(SYSTEM)のアップロードを実施した場合、プリセットメモリーで登録されている静止画(サムネール)は消去されます。(→59ページ)



1. タッチパネル用PTZ操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用PTZ操作画面に切り替わります。

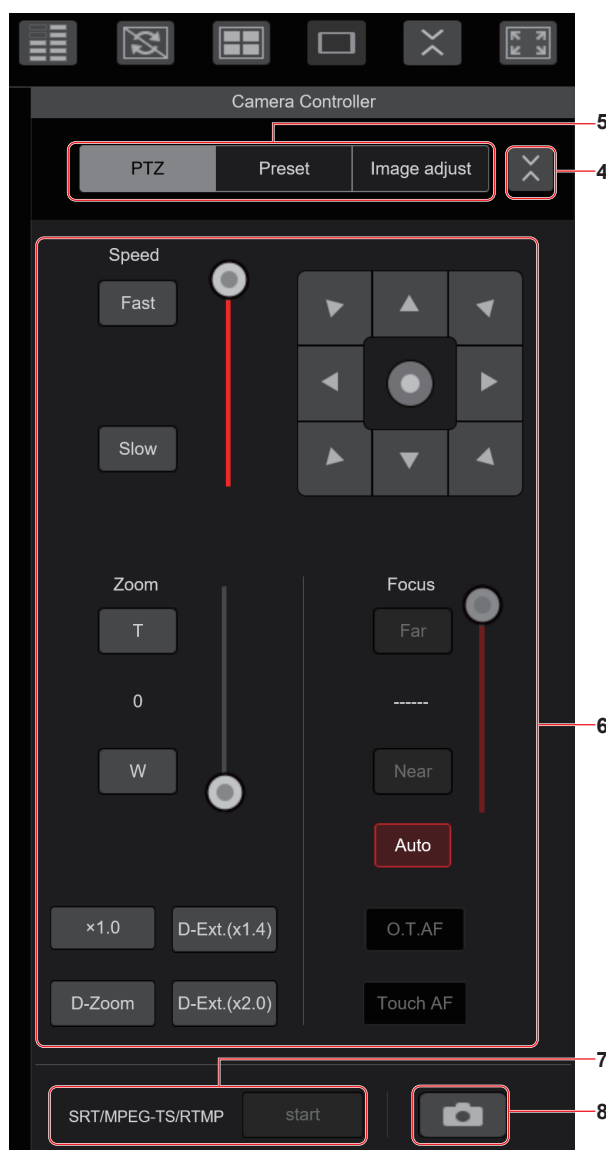
2. タッチパネル用Preset操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用Preset操作画面に切り替わります。

3. タッチパネル用Image Adjust操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用Image Adjust操作画面に切り替わります。

■ タッチパネル用PTZ操作画面



4. タッチパネル用操作画面からの復帰ボタン

このボタンを押すと、通常のライブ画面に戻ります。

5. タッチパネル用操作画面の切り替えボタン

タッチパネル用操作画面を[PTZ]/[Preset]/[Image Adjust]操作作用に切り替えます。

6. タッチパネル用PTZ操作エリア

タッチパネル用に適した、ズーム、フォーカス、パン/チルト、スピードの操作ボタンが配置されたエリアです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

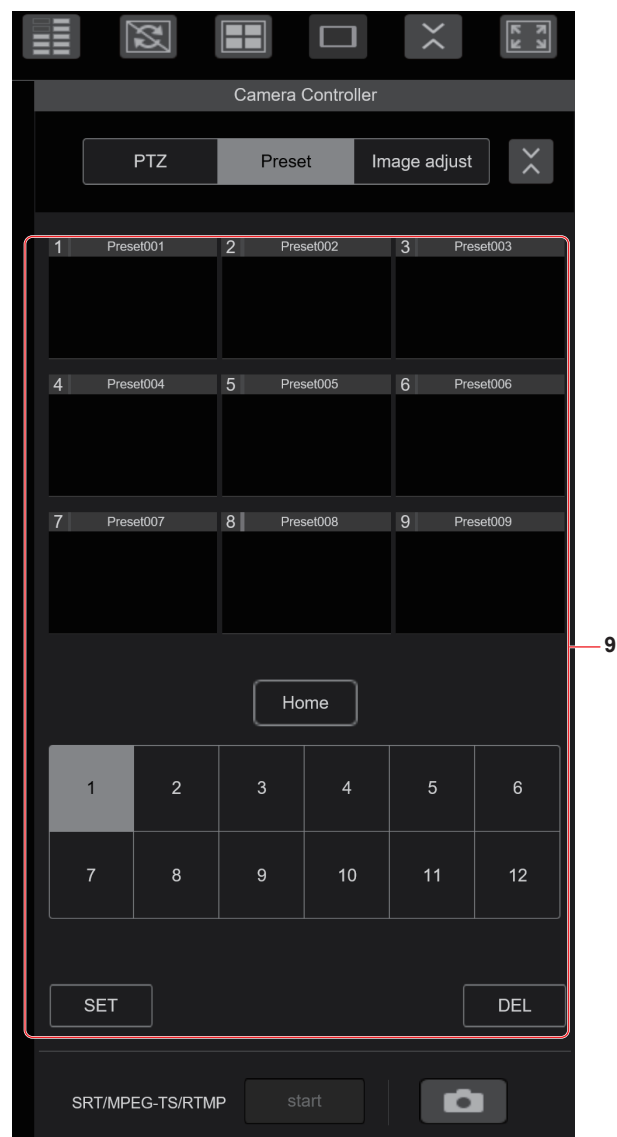
7. タッチパネル用SRT/MPEG2-TS/RTMP操作エリア

タッチパネル用に適した、SRT/MPEG2-TS/RTMP操作ボタンが配置されたエリアです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

8. タッチパネル用スナップショットボタン

タッチパネル用に適した、スナップショットボタンです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

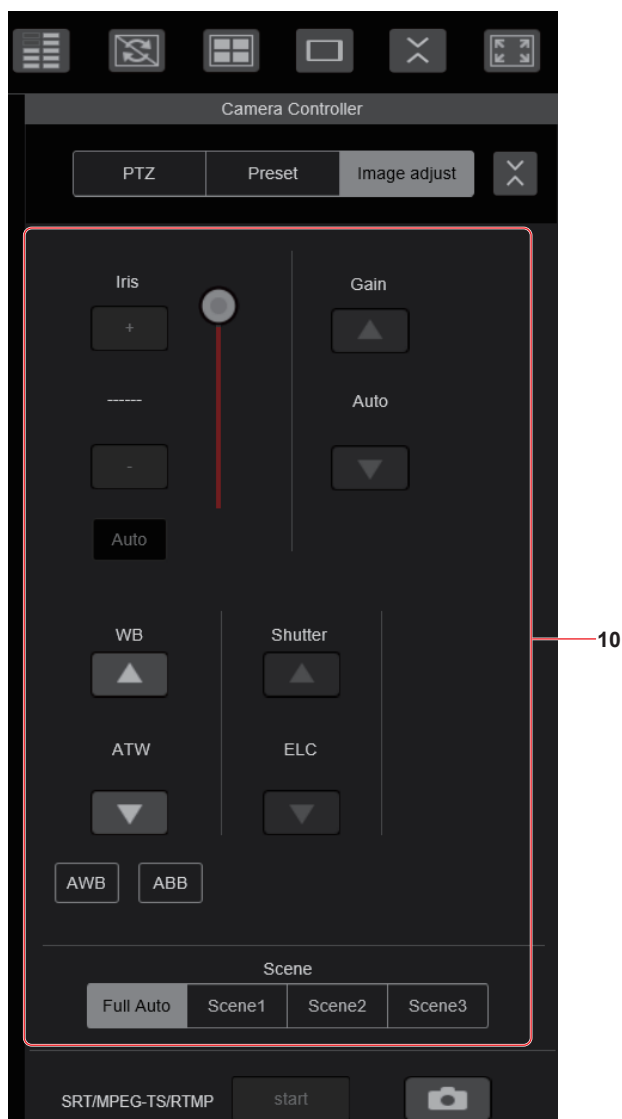
■ タッチパネル用Preset操作画面



9. タッチパネル用Preset操作エリア

タッチパネル用に適した、プリセット操作ボタンが配置されたエリアです。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

■ タッチパネル用Image adjust操作画面



10. タッチパネル用Image adjust操作エリア

タッチパネル用に適した、アイリス、ゲイン、バランス調整、シャッター、シーンの操作ボタンが配置されたエリアです。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

■ タッチパネル用Setup操作画面

Setup画面表示時においても、タッチパネル用に適した、Setupメニューが表示可能です。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

携帯端末による Web 画面表示

Web ブラウザーのライブ画面を携帯端末操作用に適したデザインで操作を行うことができます。

1. 携帯端末から本機にアクセスする

パソコンで本機にアクセスするのと同じように [http://IP アドレス/] を携帯端末の Web ブラウザーの URL に入力してください。
自動で携帯端末用の画面が表示されます。



2. 表示を切り替える

携帯端末で Web ブラウザーから本機にアクセスした直後は、Full Screen 画面となり、映像のみ表示されます。
携帯端末の表示画面には「Camera Control」、「Full Screen」、「Touch Operation Select」の 3 種類あります。

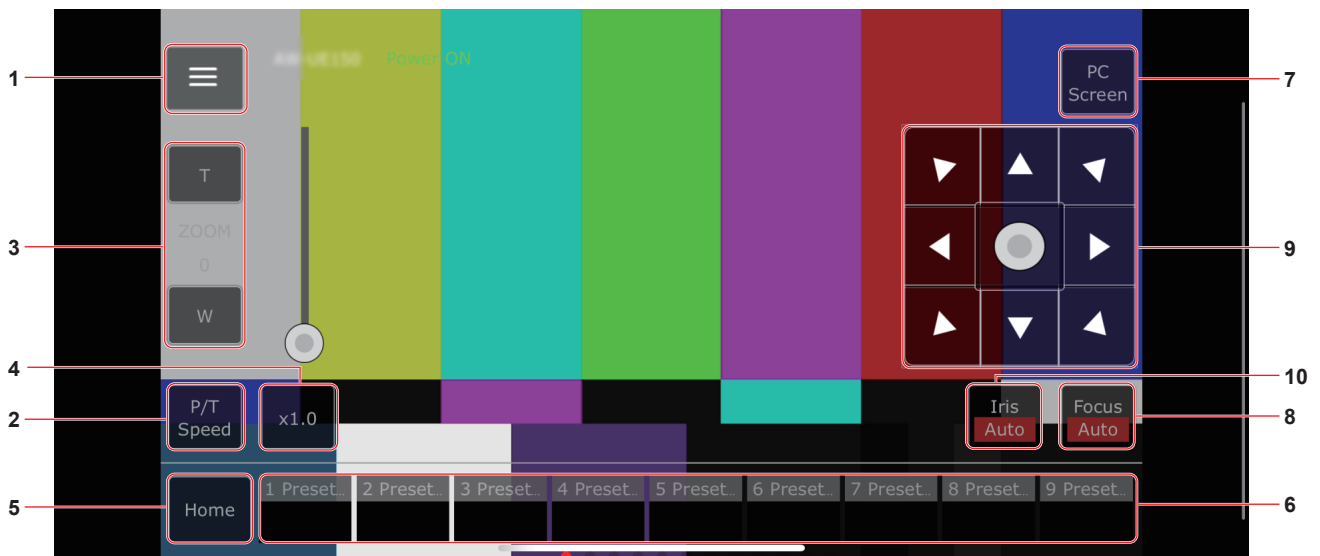


Camera Control、Full Screen、Touch Operation Select は画面の左右方向へのスワイプ操作により切り替え可能です。
Touch Operation Select で Touch P/T が選択された場合、Full Screen 画面でセンタークリック機能が有効になります。
また、Touch AF が選択された場合、Full Screen 画面で Touch AF 機能が有効になります。

〈NOTE〉

- Touch Operation Select でボタンを選択した場合、Full Screen に自動的に切り替わります。
- 携帯端末からは、M-JPEG 形式でのみ画像の表示が可能です。

カメラ操作画面 [Camera Control]



1. ライブ画面用操作メニュー表示ボタン

ライブ画面用の操作メニューを表示します。



< Live

ライブ画面用操作メニューを閉じます。

Power

Power On/Standbyを切り替えます。

詳細は [Power On] ボタン、[Standby] ボタンを参照してください。

Compression

携帯端末からは JPEG 画像のみ表示できるため [JPEG] ボタンのみ表示されます。

Streaming

JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3) を切り替えます。

詳細は [Stream] を参照してください。

Zoom

[D-Zoom]、[D-Ext. × 1.4]、[D-Ext. × 2.0] の有効/無効を切り替えます。

詳細は [Zoom] を参照してください。

Stream (SRT/RTMP)

あらかじめ登録した RTMP/RTMPS サーバー、または SRT 対応デコーダーにストリーミング配信を開始します。

Lock (WEB)

[Lock (WEB)] の有効/無効を切り替えます。

詳細は操作ロックボタン [Lock] を参照してください。

Color Bar

カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。

Bar Type

表示するカラーバーの Type1、Type2 を切り替えます。

2. P/T Speed/Zoom切り替えボタン

操作エリアのボタンの切り替えを行います。

[P/T Speed] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにスピード [Speed] ボタン・スライダーを表示します。

[Zoom] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにズーム [Zoom] ボタン・スライダーを表示します。

3. P/T Speed/Zoom操作エリア

[P/T Speed]/[Zoom] 操作ボタン・スライダーが表示されます。
[P/T Speed]、[Zoom] の切り替えは P/T Speed/Zoom切り替えボタンで行います。

- 操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

4. × 1.0 ボタン

ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。

5. Home ボタン

プリセットのホームポジションへ移動します。

6. プリセットサムネール操作エリア

プリセットサムネールをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。

プリセットサムネール操作エリアを左にスワイプすると、表示されていないプリセットサムネールを表示します。

- Preset 1 ~ Preset 100 が選択できます。

7. PC 画面切り替えボタン

PC 用のライブ画面表示に切り替えます。

PC 用ライブ画面上の携帯画面表示ボタンを押すと、携帯用ライブ画面に戻ります。

携帯画面表示ボタン：



8. PTZ/Focus切り替えボタン

操作エリアのボタンの切り替えを行います。

[PTZ] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにコントロールパッド ボタンを表示します。

[Focus Manual] または [Focus Auto] 表示時にボタンを押すと、操作エリアに [Focus] ボタン・スライダーを表示します。

9. PTZ/Focus操作エリア

[PTZ]/[Focus] 操作ボタン・スライダーが表示されます。

[PTZ]、[Focus] の切り替えは PTZ/Focus切り替えボタンで行います。

- 操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

10. Focus (AUTO)/Iris (AUTO) ボタン

[PTZ]/[Focus] 切り替えボタンで [PTZ] が選択されている場合、Iris (Auto) の有効/無効切り替えボタンを表示します。

[Focus] が選択されている場合、Focus (Auto) の有効/無効切り替えボタンを表示します。

■ Control Area

Control Area では操作ボタンによるオペレーションが優先されます。

画面全体のスクロール操作は Control Area 以外のタッチ操作により可能です。



〈NOTE〉

- 使用する携帯端末によって、画面全体をスクロール操作し、Control Area の位置を調整する必要があります。

Webカメラ機能

- 本機とパーソナルコンピュータなどを市販のUSBケーブルで接続すると、本機をWebカメラとして使うことができます。
- 本機は、USB Video Class/USB Audio Classに準拠しています。コミュニケーションソフトウェアなどを活用することで、パーソナルコンピュータなどへ本機の映像や音声を転送することができます。
- OSDメニューの[USB Mode]を[On]に設定(52ページ)、またはWeb画面から[Streaming mode]を[USB]に設定してください(88ページ)。
 - 接続方法は、「システム例6(USB接続)」(施工説明書：23ページ)を参照してください。
 - 音声は、本機の音声入力端子[AUDIO IN]からパーソナルコンピュータなどに出力することができます。

〈NOTE〉

- USB端子があるすべての機器での動作を保証するものではありません。
- LANケーブルを使用して、本機能とIP制御、PoE+給電を同時に使用することができます。
- USB映像の配信中は、IP映像配信が以下に制限されます。
 - H.264/H.265：配信不可
 - M-JPEG：640×360 1fpsで1ストリームのみ配信可

● 制御可能な機能

Webカメラとして制御可能な機能は、以下のとおりです。

- 機能の名称は、Windowsでの名称を記載しています。また、数値は10進数で記載しています。
- []は、英文での表示です。

画像の調整 [Video Proc Amp]

明るさ [Brightness]

カメラメニューやWeb設定の[Pcture Level]と同じ動作を設定できます。

設定範囲：-50～+50

- 以下のすべての設定がされているときは、制御できません。
 - [Iris Mode]が[Manual]
 - [Shutter Mode]が[ELC]以外
 - [Gain]が[Auto]以外
 - [Frame Mix]が[Auto]以外

コントラスト [Contrast]

本機では対応していません。

色合い [Hue]

カメラメニューやWeb設定の[Chroma Phase]と同じ動作を設定できます。

設定範囲：-31～+31

鮮やかさ [Saturation]

カメラメニューやWeb設定の[Chroma Level]に相当する機能を設定できます。

設定範囲：Off、-99%～+99%

鮮明度 [Sharpness]

カメラメニューやWeb設定の[Master Detail]と同じ動作を設定できます。

設定範囲：-31～+31

- [Detail]が[Off]のときは、制御できません。

ガンマ [Gamma]

本機では対応していません。

ホワイトバランス [White Balance]

カメラメニューやWeb設定の[White Balance Mode]および[Color Temperature]に相当する機能を設定できます。

- 自動モードにすると[White Balance Mode]を[ATW]として設定できます。自動モードを解除すると、[White Balance Mode]を[VAR]として設定します。
- [VAR]のときは、色温度を2000K～10000Kに設定できます。
- 自動モードにすると、色温度を制御することができません。
- [ATW]/[VAR]以外のホワイトバランスモードに設定することはできません。本機のカメラメニューやWeb設定を使用してください。
- [ATW]/[VAR]以外のホワイトバランスモードでUSB接続した場合は、自動モードの設定を変更しない限り、[ATW]/[VAR]以外のホワイトバランスモードが維持されます。

逆光補正 [Backlight Comp]

カメラメニューやWeb設定の[Backlight COMP.]と同じ動作で、逆光補正を設定できます。

設定値：0 (Off)、1 (On)

ゲイン [Gain]

カメラメニューやWeb設定の[Gain]と同じ動作で、映像のゲイン調整を設定できます。

設定範囲：0～43

- Auto/OdB～42dBに相当します。
- 撮影モード(Scene)が[Full Auto]に設定されている場合、この設定を変えても本機には反映されません。

色の使用 [Color Enable]

本機では対応していません。

Power Lineの頻度(ちらつき補正)

[Power Line Frequency (Anti Flicker)]

カメラメニューやWeb設定の[Flicker Suppression]と同じ動作を設定できます。

設定値：Off、On

カメラ制御 [Camera Control]

ズーム [Zoom]

拡大(ズームイン)/縮小(ズームアウト)することができます。

設定範囲：100(ワイド端)～2400(光学テレ端)

焦点 [Focus]

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

設定範囲：1 (Near)～2731 (Far)

- Focusモードが[Auto]のときは制御できません。
- この項目を自動モードにするとFocusモードを[Auto]として設定します。また、自動モードを解除すると、Focusモードを[Manual]として設定します。

露出 [Exposure]

カメラメニューやWeb設定の[Shutter Mode]項目で[Step]を選択した場合と同等の動作で、シャッタースピードの設定を行うことができます。

設定値：

	Frequency設定が 59.94 Hz の場合	Frequency設定が50 Hzの 場合
－13	1/10000	1/10000
－12	1/4000	1/4000
－11	1/2000	1/2000
－10	1/1000	1/1000
－9	1/500	1/500
－8	1/250	1/250
－7	1/100	1/120
－6	Off	Off

- 自動モードにすると、レンズアイリスを自動調整に設定し、カメラメニューやWeb設定の[Shutter Mode]を[ELC]に設定します。自動モードを解除すると、レンズアイリスをマニュアル調整として設定し、カメラメニューやWeb設定の[Shutter Mode]を[Step]に設定します。
- 撮影モード(Scene)が[Full Auto]に設定されている場合、この設定を変えても本機には反映されません。

絞り/虹彩 [Aperture (Iris)]

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

設定範囲：1 (最少)～2731 (開放)

- レンズアイリスが自動調整のときは、制御できません。
- お使いのコミュニケーションソフトウェアによっては、10倍の数値での設定になる場合があります。
- 撮影モード(Scene)が[Full Auto]に設定されている場合、この設定を変えても本機には反映されません。

パン [Pan]

カメラの向きを左右に動かすことができます。

設定範囲：－175～+175(1°単位)

- 移動速度は、カメラメニューやWeb設定の[Preset Speed Table]/[Preset Speed]で変更できます。

〈NOTE〉

- USB接続後に[Install Position]を変更しないでください。動作が逆方向になります。
- コミュニケーションソフトウェアによっては、既定値(Default)設定できる場合がありますが、本機のパン(Pan)については制御できない場合があります。

傾き [Tilt]

カメラの向きを上下に動かすことができます。

設定範囲：－30～+90(1°単位)

- 移動速度は、カメラメニューやWeb設定の[Preset Speed Table]/[Preset Speed]で変更できます。

〈NOTE〉

- USB接続後に[Install Position]を変更しないでください。動作が逆方向になります。

回転 [Roll]

本機では対応していません。

低光量補正 [Low Light Compensation]

本機では対応していません。

オーディオ入力ミキサー [Audio Input Mixer Properties]

有効/無効(ミュート) [Enable]

カメラメニューやWeb設定の[Audio]と同じ動作で、音声入力端子に接続した機器からのAudio入力信号をOff/Onできます。

設定値：0 (Off)、1 (On)

ボリューム

カメラメニューやWeb設定の[Input Volume]と同じ動作で、マイク入力/ライン入力およびボリューム設定を行えます。

設定範囲：－40～0 (0.5dB単位)

〈NOTE〉

- お使いのコミュニケーションソフトウェアによっては、音量を自動調整するものがあります。本機とコミュニケーションソフトウェアの組み合わせによっては、音声安定しない場合があります。
- お使いのパーソナルコンピューターなどの性能によっては映像と音声安定しない場合があります。この場合は、映像の解像度やフレームレートを小さくするか、音声の入力を本機からではなくパーソナルコンピューターなどから行ってください。

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定（リミッター）があります。

設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、リモートカメラが接触する場合があります。

このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。

リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4か所が設定できます。

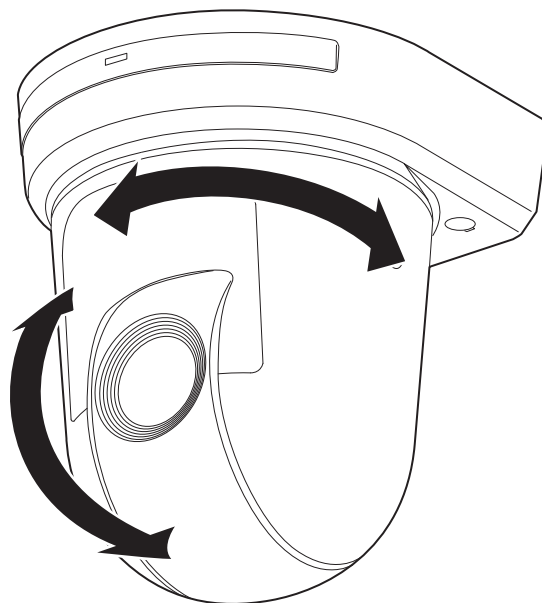
一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。

リミッターの設定と解除は、ワイヤレスリモコンとコントローラーまたはWeb設定画面[Setup]で行うことができます。

最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ここでは、ワイヤレスリモコンを使ったリミッターの設定について説明します。



リミッターの設定と解除

リミッターの基本操作

1.<MENU> ボタンを押す

短く押してください。2秒間押すとカメラメニューが表示されます。その場合は、再度<MENU> ボタンを2秒間押して、カメラメニューを終了してください。

そのあと手順 **1** からやり直してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、<▲ / ▼ / ◀ / ▶> ボタンのいずれかを2秒間押す

それぞれ上限、下限、左端、右端のリミッターの設定（または解除）を行います。このときタリーランプが点滅します。設定のときは1回点滅し、解除のときは2回点滅します。

手順 **1** と **2** の間に他のボタン操作を行った場合は、手順 **1** からやり直してください。

リミッターの設定

以下の手順でリミッター位置を設定することができます。設定すると、タリーランプが1回点滅します。

1.CAMERA<1> ～<4> ボタンのいずれかを押して本機を選ぶ

・可動範囲の上限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼>ボタンを押し、上限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▲> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の下限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼>ボタンを押し、下限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▼> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の左端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶>ボタンを押し、左端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<◀> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の右端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶>ボタンを押し、右端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▶> ボタンを2秒間押します。）

リミッターの解除

設定されているリミッター位置を、以下の手順で解除することができます。

解除すると、タリーランプが2回点滅します。

1.CAMERA<1> ～<4> ボタンのいずれかを押して本機を選ぶ

2.以下の方法でリミッターを解除する

・可動範囲の上限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▲> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の下限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▼> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の左端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<◀> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の右端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▶> ボタンを2秒間押します。）

リミッターの再設定

リミッターの再設定をするには、現在設定されている設定を解除する必要があります。設定されているリミッター位置を以下の手順で再設定することができます。

1.再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」の手順で解除する

2.「リミッターの設定」の手順で、リミッター位置を設定する

セーフモード

セーフモードについて

本機は、回転台（パン・チルト）が外力によって強制的に動かされたり、回転が阻害されたりしたときにセーフモードになります。
セーフモードになると、安全確保および機器の損傷を防止するために、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

機器の異常検知について

本機が異常を検知した場合、機能を停止して再起動、または初期設定動作を行い、30秒程度で通常状態に復帰します。

〈NOTE〉

- ・異常検知すると、映像が出力されなくなることがありますが、5秒～10秒で復帰します。

■ 操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	ACアダプターがACコンセントに確実に接続されていますか？	---
	ACアダプターの電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	LANケーブルがIP制御用LAN端子<LAN LINK/ACT>に確実に接続されていますか？	P.16
	PoE+ (IEEE 802.3atに準拠) 対応の給電装置と本機のネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	施工説明書 →「接続」 →「システム例3 (IP映像伝送、PoE+)」
	複数のPoE+ 端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると、電源給電されないものがあります。 → PoE+ 給電装置の取扱説明書をお読みください。	---
	コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → 詳細については、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	施工説明書→「接続」
	ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	P.29
	セーフモード機能がはたらいている場合があります。	P.135
	リミッター機能を設定していませんか？	P.133～P.134
	操作したい本機を正しく選んでいますか？	P.30
ワイヤレスリモコンで操作できない	電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。	---
	ワイヤレスリモコンのID設定 (CAMERA<1>～<4>) は正しく設定されていますか？	P.24
	本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.13
コントローラーで操作できない	コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → 詳細については、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	施工説明書→「接続」
	初期アカウントの設定をしましたか？ → 初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。	P.26
	本機に対応するためにコントローラーのアップデートが必要です。 → アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。 日本語 : https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav 英語 : https://pro-av.panasonic.net/en/	---
操作と逆方向に回転する	据え置き設置は正しく選択されていますか？	P.57、P.86
	コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → 詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

症 状	原因・対策	参照ページ
Web ブラウザーからアクセスできない	• IP制御用LAN端子<LAN LINK/ACT>にカテゴリ5e以上のLANケーブルは接続されていますか？	施工説明書→「接続」
	• IP制御用LAN端子の[LINK] LEDは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LANケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	P.16
	• 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	P.29
	• 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	P.108
	• 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 【Windows の場合】 Windows のコマンドプロンプトで > ping [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 【Mac の場合】 macOS のターミナルで > ping -c 10 [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。	---
	• HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	P.120
	• 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本機およびアクセス機器（パーソナルコンピューター・コントローラーなど）、他のカメラのIP アドレスを確認してください。	P.61
	• 設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ → 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	P.61
	• Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？（本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合） → Web ブラウザーの[プロキシ設定]でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機のIP アドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。	---
	• 本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていないですか？（本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合） → 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	P.61

症 状	原因・対策	参照ページ
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	【Windows の場合】 ・ パーソナルコンピュータのキーボードの [F5] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Mac の場合】 ・ パーソナルコンピュータのキーボードの [Command] + [R] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。	---
	・ 以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windows の場合】 ① Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 ② [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 ④ [OK] ボタンをクリックする。 【Mac の場合】 ① Safari で [開発] - [キャッシュを空にする] を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。	---
	【Windows の場合】 ・ インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」が「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、Web 設定画面がうまく表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 ② [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイル] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] の [Web サイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK] ボタンをクリックする。	---
	・ ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
設定ファイルのダウンロードができない	【Windows の場合】 ・ ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 ② [セキュリティ] タブをクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 ③ [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK] ボタンをクリックする。 ⑤ [OK] ボタンをクリックする。	---
タリーランプが点灯しない	・ [Tally] の設定が [Disable] になっていませんか？ → [Tally] の設定が [Disable] の場合には、本機のタリーランプは点灯しません。設定を [Enable] に変更してください。	P.56、P.85
状態表示ランプが点灯しない	・ [Status Lamp] の設定が [Disable] になっていませんか？ → [Status Lamp] の設定が [Disable] の場合には、本機正常動作中の状態表示ランプは点灯しません。設定を [Enable] に変更してください。	P.57、P.85
認証画面が連続して表示される	・ ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ → 本機にアクセス中に、別の Web ブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたりするたびに、認証画面が表示されます。Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。	P.107
	・ ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ → [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。	P.106

症 状	原因・対策	参照ページ
画面表示に時間がかかる	• HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。	---
	• 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ → プロキシを経由しないようにWeb ブラウザーの設定を行ってください。	---
	• 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照していませんか？ → 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP映像の更新速度が遅くなったりする場合があります。	---

■ 映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	• 接続した機器と正しく接続されていますか？	施工説明書→「接続」
	• 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.30
	• 映像信号設定は正しく選択されていますか？	P.52、P.82
映像が上下逆になる	• 据え置き設置は正しく選択されていますか？	P.57、P.86
複数の色の帯(カラーバー)が表示される	• カメラ映像に切り替えてください。	P.34
メニュー画面が表示される	• カメラメニューを終了してください。	P.42
メニュー画面が見にくい	• お使いのHDMIモニターによっては、下記のような現象が見られる場合があります。 • カメラメニュー表示の文字の解像度が背景の映像変化によって変化する • モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの黒影の前に白い線が出る • モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの白部分に背景の色が載る	---
自動でフォーカスが合わない	• フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	P.34
	• 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	P.36
マニュアルフォーカスのとき、ズームでフォーカスが合わない	• テレ端でフォーカスは調整されましたか？ → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズームしてください。	---
	• 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。	P.34
映像がカクカクした感じに見える	• [Frame Mix] が [Off] 以外の値になっていませんか？ → [Frame Mix] が [Off] 以外の場合、低照度の環境下では [Frame Mix] によるゲインアップによって、映像がカクカクした感じに見えることがあります。 解除するには、[Scene] で [Full Auto] 以外 ([Scene1]/[Scene2]/[Scene3] のいずれか) を選択し、[Frame Mix] を [Off] に設定してください。	P.31、P.45
[AW-UE50] 1080/29.97PsF 時に映像が カクカクした感じに見える	• 正常に動作しています。 → PsF (Progressive segmented Frame) 方式では、1 フィールドと2 フィールドの両方に同じ画を収録することでプログレッシブと同様の映像を出力しますので、若干カクカクした感じに見えることがあります。	---
映像の色がおかしい	• ATW (自動追尾式ホワイト調整) を有効にしてください。	P.39
	• 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	P.38～P.39

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が明るすぎる、または暗すぎる	・アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	P.36
	・アナログ映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。	---
被写体がゆがんで見える	・本機はMOS撮像素子を使用しており、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、被写体がすばやく横切った場合、ゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	・MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	・蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このような時は以下のいずれかをお試しください。 - MENU設定の[Flicker Suppression]を[On]にする。 - 電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターOFFに設定する。	P.46、P.99
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	・撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。	---
音声入力にノイズが発生する	・以下のことが考えられます。 - カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない - 電力線などが近くに配線されている - 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある(テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど) 周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出力インピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。	P.6

■ IP映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が表示されない	【Windows の場合】 ・表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ → 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	P.27
	【Windows の場合】 ・インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」が「Webサイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、ライブ画面[Live]のIP映像が表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[設定]ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイル]ダイアログボックスで、「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」の[Webサイトを表示するたびに確認する]ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。	---
画像がぼやける	・フォーカスは正しく調節されていますか？ → フォーカス調節を確認してください。	---
画像が更新されない	・ご使用のWebブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 ・ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。 ・本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。 → 本機へのアクセス状況を確認し、中断可能なアクセスを停止してください。 その後、以下の手順を確認してください。 【Windowsの場合】 パーソナルコンピュータのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Macの場合】 パーソナルコンピュータのキーボードの[Command] + [R]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。	---

症 状	原因・対策	参照ページ
画像がうまく更新されない、表示されない	以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windowsの場合】 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[削除]ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除]ダイアログボックスで、「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」チェックボックスをオンにして[削除]ボタンをクリックする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。 【Macの場合】 ① Safariで[開発] - [キャッシュを空にする]を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか?」ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。	---
	ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
H.264画像が表示されない	表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	---
	- ルーター経由(たとえばインターネット経由)でカメラとパーソナルコンピューターを接続していませんか? → UDPのポート転送が正しく設定されない、H.264画像は表示されません。 [Internet mode(Over HTTP)]の設定を[On]にすると、HTTPでH.264を伝送することができます。 - セキュリティソフトや、ファイアウォールで、UDP通信がブロックされていませんか? → [Internet mode(Over HTTP)]が[Off]の場合、H.264はUDPで伝送されます。 → セキュリティソフトや、ファイアウォールの設定を変更し、ご使用のWebブラウザの通信を許可する設定を行ってください。	P.90
画像が乱れる	伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れる場合があります。 → ネットワーク管理者にお問い合わせください。	---
	伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れる場合があります。 → インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピューター側で同一のものにすることで回避できる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	---
複数のWebブラウザを起動してH.264画像を表示したとき、1つのWebブラウザに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	【Windowsの場合】 パーソナルコンピューターのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 それでも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows 10を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。 ① デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから[ディスプレイ設定]を選択する ② [ディスプレイの詳細設定]をクリックする ③ [トラブルシューティング]タブを選択し、[設定の変更]をクリックする ④ [ハードウェアアクセラレータ]の項目を一番左の[なし]に変更し、[OK]ボタンをクリックする	---
NDI® HX2対応スイッチャーで音声が出ない	「音声設定画面 [Audio]」の [Audio] が [Off] に設定されている可能性があります。 → 設定を [On] にしてください。	P.96

■ Web画面

お使いのパーソナルコンピュータのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

症 状	原因・対策	参照ページ
画像がコマ落ちして見える	パーソナルコンピュータの性能が不足している可能性があります。 → 必要なパーソナルコンピュータの環境を確認してください。	P.7
	リアルタイム更新切替ボタンで、Web ブラウザーのリアルタイム更新機能を無効化することで現象が改善される場合があります。	P.78

【Windowsの場合】

下記の説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer 11に表示されるメッセージバーのことです。「情報バー」は、Internet Explorerの下方に表示されます。



症 状	原因・対策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co., Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。」	[許可 (A)] を選択してください。	---
下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co., Ltd.' からの 'nwcw4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。」	[インストール (I)] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。	---
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。	---
IP映像が表示用の枠と一致していない	画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、「ディスプレイの設定」-「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」をクリックし、「100% (推奨)」に設定してください。	---
	Internet Explorerのズーム機能における拡大レベルが100%以外に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → Internet Explorerのメニューバーから「表示 (V)」-「拡大 (Z)」を選択し、「100%」をクリックしてください。	---
画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない	Internet Explorerのメニューバーから「ツール (T)」-「互換表示設定 (B)」を選択し、本機を互換表示しないように設定してください。	---

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、4Kインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	4K インテグレートッドカメラ
品 番	AW-UE50W AW-UE50K AW-UE40W AW-UE40K
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

電源電圧: DC === 12 V (10.8 V - 13.2 V) (ACアダプター付属)
DC === 42 V - 57 V (PoE+電源)
消費電流: 1.8 A (ACアダプター付属)
0.6 A (PoE+電源)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C

保存温度 : -20 °C ~ 50 °C

動作周囲湿度 : 20% ~ 90% (結露なきこと)

質量 : 約 1.8 kg (取付金具を除く)

寸法 (幅 × 高さ × 奥行)
: 160.0 mm × 192.1 mm × 166.0 mm
(突起部、取付金具を除く)

仕上げ : AW-UE50W / AW-UE40W : ホワイト
AW-UE50K / AW-UE40K : ブラック

対応コントローラー
: AW-RP150、AW-RP60

■ 入力

入力端子

DC IN 12 V

AUDIO IN : マイク/ライン入力対応 (SDI*¹ / HDMI / IP)
AAC対応 (IPのみ対応)
φ 3.5 mm ステレオミニジャック 不平衡
・マイク入力時
入力レベル :
-40 dBV (0 dB = 1 V/Pa, 1 kHz)
プラグインパワー対応、
供給電圧: 2.5 V ± 0.5 V
入力インピーダンス :
約 2 kΩ (プラグインパワー ON 時)
約 20 kΩ (プラグインパワー OFF 時)
・ライン入力時
入力レベル: -10 dBV
入力インピーダンス: 約 3 kΩ
・入力ボリューム可変範囲:
-36 dB ~ 12 dB (3 dB step)
L/R 独立でのボリューム設定可能
・エンベデッドオーディオ出力レベル:
-12 dBFS
・サンプリング周波数: 48 kHz
・量子化ビット数:
24bit (SDI*¹、HDMI)、16bit (IP)

*¹ AW-UE50のみ

■ 出力

映像出力

HDMI : HDMI 1.4 コネクター
4:2:2/10bit、4:2:0/8bit
・HDCPには対応していません。
・ピエラリンクには対応していません。

[AW-UE50]
3G SDI OUT : SMPTE424M / SMPTE292M /
75 Ω (BNC × 1)
・Level-A/Level-Bに対応

■ 入出力

入出力端子

LAN : RJ-45
IP制御・映像配信用LAN端子
PoE+電源端子 (IEEE802.3at準拠)

RS-422 : CONTROL IN RS-422A (RJ-45)

USB : USB2.0 DEVICE、Type Cコネクター、
USBバスパワー機能なし
・UVC(USB Video Class)対応のみ

■ 機能／性能

【カメラ部】

撮像素子 : 1/2.5型4K MOS × 1

レンズ : 電動24倍光学ズームF1.8~F4.0
(f=4.12 mm ~ 98.9 mm
35 mm換算: 25.0 mm ~ 600.0 mm)
i.Zoom (UHD: 28倍、FHD: 36倍)

コンバージョンレンズ

: 非対応

画角範囲 : 水平画角: 74.1° (wide) ~ 3.3° (tele)
垂直画角: 46.0° (wide) ~ 1.9° (tele)
対角画角: 81.8° (wide) ~ 3.8° (tele)

フォーカス : オート/マニュアル切り替え

フォーカス距離 : ズーム全域: 1200 mm
ワイド端 : 100 mm

色分解光学系 : 1MOS

最低照度 : 3 lx (条件: F1.8、59.94p、50 IRE、42 dB、
蓄積なし)

水平解像度 : 1500TV本Typ (中心部、UHDモード、Wide端)
1000TV本Typ (中心部、FHDモード、Wide端)

ゲイン切り替え : Auto、0 dB ~ 36 dB (1 dBステップ刻み)
・Super Gain機能搭載: 37 dB ~ 42 dB

フレームミックス

- : Auto, 0 dB, 6 dB, 12 dB, 18 dB, 24 dB [AW-UE50]
- フォーマットが2160/29.97p、2160/23.98p、2160/24p、2160/25p、1080/29.97p、1080/23.98p(59.94i)、1080/23.98p、1080/24p、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/25p、1080/25PsFのときは設定できません。
- [AW-UE40]
- フォーマットが2160/29.97p、2160/23.98p、2160/24p、2160/25p、1080/29.97p、1080/23.98p、1080/24p、1080/25pのときは設定できません。

電子シャッター :

- 59.94p/59.94iモード
1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000
- 29.97pモード
1/30、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000
- 23.98p/24pモード
1/24、1/48、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000
- 50p/50iモード
1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000
- 25pモード
1/25、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/10000

シンクロスキャン :

- 59.94p/59.94iモード
60.00 Hz ~ 7200 Hz
- 29.97pモード
30.00 Hz ~ 7200 Hz
- 23.98p/24pモード
24.00 Hz ~ 7200 Hz
- 50p/50iモード
50.00 Hz ~ 7200 Hz
- 25pモード
25.00 Hz ~ 7200 Hz

ガンマ : Normal / HD / Cinema1 / Cinema2 / Still Like

ホワイトバランス

- : ATW、3200K、5600K
AWB : AWB-A/AWB-B
VAR (2000K ~ 15000Kを指定された数値で選択可)
- ATW Speed 3段階可変あり

クロマ量可変 : OFF、-99% ~ 99%

シーンファイル : Full Auto、Scene1、Scene2、Scene3

出力フォーマット

SDI出力 : [AW-UE50]

[HDフォーマット]

1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p*1、1080/25p*1、1080/23.98p*2、1080/29.97PsF、1080/25PsF、1080/23.98PsF、1080/24p*1、1080/23.98p*1、720/59.94p、720/50p

HDMI出力 : [AW-UE50][AW-UE40]

[4Kフォーマット]

2160/29.97p*1、2160/25p*1、2160/24p*1、2160/23.98p*1

[HDフォーマット]

1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p*1、1080/25p*1、1080/23.98p*3、1080/24p*1、1080/23.98p*1、720/59.94p、720/50p

*1 Native出力

*2 OVER 59.94i出力(ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*3 OVER 59.94p出力(ご使用になるモニターは、59.94pの信号として認識されます) (AW-UE50のみ対応)

同期方式 : 内部同期

[回転台部]

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
• 安全のため、指定の取付金具にて固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール :

IP接続ケーブル	• PoE+イーサネットハブありの場合 LANケーブル*4、最大100 m • PoE+イーサネットハブなしの場合 LANケーブル*4、最大100 m
AWプロトコル接続ケーブル	LANケーブル*4、最大1000 m

*4 LAN ケーブルは、カテゴリ5e以上、STP (Shielded Twisted Pair)、ストレートケーブルをご使用ください。

PAN/TILT 動作スピード

: 速度範囲 : 0.08° /s ~ 60° /s (通常モード)

※速度3モード搭載

Normal : 60° /s、Fast1 : 90° /s、Fast2 : 180° /s

- 高速では駆動音が大きくなることがありますのでご注意ください。
- 駆動音が気になる場合は、Normalモードをご使用ください。

PAN動作範囲 : ±175°

TILT動作範囲 : -30° ~ 90°

- PAN、TILTの位置によっては、本体が映像に映りこむことがあります。

静粛性 : NC25以下

■ ACアダプター

入力 : AC (〰) 100 V - 240 V、50/60 Hz、1.2 A
出力 : DC (—) 12 V、3.0 A、36 W

 は安全項目です。

付属のACコードは、定格がAC 125 V以下です。
AC 100 Vのコンセントに接続してください。

海外で使用する場合は、その国に合ったACコードを準備してください。

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

〰 AC (交流)
— DC (直流)

数字

× 1.0 ボタン	130
3G SDI Out	54, 84
3G SDI	54, 56, 82, 84, 85
3G SDI OUT 端子	16
802.1X	115, 116
3200K	39
5600K	39

A

ABB	101
Access level	107, 108
Activation	124
Adaptive Matrix	49, 102
Add host	108
Address (IPv4)	95
Add user	107
Advanced	111
AF Sensitivity	51, 103
AGC Max Gain	45, 99
All	62
Angle	53
Aperture (Iris)	132
ATW	39
ATW Speed	47, 101
ATW Target B	47, 101
ATW Target R	47, 101
Audio	55, 96
Audio bit rate	96, 97
Audio Input Mixer Properties	132
Audio Level Meter 表示ボタン	78
Audio over IP	96, 97
Audio transmission	96, 97
Authentication	106, 114
Auto	87
Auto F.Mix Max Gain	46, 99
Auto Iris Speed	44, 98
Auto Iris Window	44, 98
Automatic installation of viewer software	87
Auto port forwarding	112
Auto Tracking	73, 79
Auto Tracking Mode	53
Auto Tracking Tally	56, 85
AVIO	61, 124
AWB	38, 100
AWB Color TEMP. Info	46, 100
AWB Gain Offset	46, 100

B

B	56, 85
Backlight Comp	131
Backlight COMP.	46, 99
Backlight COMP. Level	46, 99
Backup	126
Bar	55, 85
Basic	82
B Gain	46, 100
Brightness	44, 45, 98, 131

C

CA Certificate	
CA Certificate install	113, 120
Generate Certificate Signing Request	113, 119
Information	113
CA Certificate install	116
Camera	43, 44, 60, 124
Camera Control	129, 132
Camera control/Setup Menu ボタン	97
Camera title	87
Check active network setting	111
Chroma Level	47, 101
Chroma Phase	47, 101

Client(Caller) port	94
Client certificate install	116
Client certificate type	116
Cloud Server	106
Cloud URL	106
Color bar	75
Color Bar Type	55, 85
Color Correction	50, 51, 102
Color Enable	131
Color Temperature	46, 100
Common	110
Common setup	93
Compression	75
Config data type	126
Connect	64
Connection	113, 120
Contact	115
Contrast	131
Control Area	130
CPU Software	60, 124
CRT key generate	113, 118

D

Date & Time	123
Date/Time	87
Date&Time	87
DC IN 端子	15
Default gateway	109
Default Gateway	61
Default reset	125
Delete host	108
Delete user	107
Description	123
Destination port	93
Destination URI	93
Detail	47, 101
Detail Coring	47, 101
DHCP	109
DHCPv6	109
Digital Extender	51, 103
DNR	48, 101
DNS	109
Download	126
DRS	48, 101

E

EAP authentication method	116
Easy IP Setup accommodate period	110
Easy IP Setup Tool Plus	116
EasyIP Setup Tool Plus	25
EEPROM	61, 124
ELC Limit	45, 99
Enable	132
Encryption	94
Encryption method	114
Error code	123
Error description	123
Error log	123
Error Status	60, 64
Event code	123
Event log	123
Exposure	132
External Output	57, 85

F

Firmware file	124
Firmware version	124
Firmware Version	60, 61, 81
Flicker Suppression	46, 99
Focus	77, 132
Focus Adjust With PTZ.	57, 82, 86, 105
Focus (AUTO)/Iris (AUTO) ボタン	130

Focus Mode	51, 103
Format	52, 54, 55, 64, 82, 84
FPGA	61, 124
Frame Mix	45, 99
Frame rate	91, 92
Freeze During Preset	59, 106
Frequency	52, 53, 82
From	62, 97
Full Auto	62

G

G	56, 85
Gain	45, 78, 99, 131
Gamma	48, 101, 131
Gamma Mode	48, 101
Group	96

H

H.264	88, 90
H.264 transmission	90
H.265	88, 92
H.265 transmission	92
HDMI	55, 56, 82, 84, 85
HDMI Status	60, 64
HDMI端子	16
Home Position	53
Homeボタン	130
Host auth.	107
Host IP address	107
Hour Meter	60, 63
HTTP max segment size (MSS)	110
HTTP port	110
HTTP Port number	111
HTTPS	113, 117, 120
HTTPS mode	114
HTTPS port	113
HTTPS Port number	111
HTTPS Status	111
HTTP Status	111
Hue	131

I

Image adjust	97
Image/Audio	88
Image capture size	89, 90, 92
Image quality	89, 91
Index number	115
Initial display setting	88, 89
Initialize	60, 62, 63
Input Type	55, 96, 97
Install Position	24, 57, 82, 86
Internet mode(Over HTTP)	90
IP address	108
IP Address	61
IP address(IPv4)	109
IP address(IPv6)	109
IP/NDI HX	56, 85
IP Network	60, 61
IPv4 network	109
IPv6 network	109
IP映像伝送出力	18
IP簡単設定ソフトウェア	25
IP制御用LAN端子	16
Iris	77
Iris Limit	44, 98
Iris Mode	44, 98

J

JPEG	88, 89
JPEG transmission	89

K

Knee Mode	48, 101
-----------------	---------

L

Latency	94
Lens	44, 51, 60, 64, 103, 124
Limitation Setting	105
Linear Matrix	49, 102
Linkage	106
Live	73, 74
Live page	87
Location	115
Lock	76
Low Light Compensation	132

M

MAC address	124
Main/Network	60, 61, 124
Maintenance	43, 60, 123
Manual	87, 109
Master Detail	47, 101
Master Pedestal	47, 101
Matrix	44, 49, 50, 51, 102
Matrix Settings	102
Matrix Type	49, 102
Max bit rate(per client)	91, 92
Max Digital Zoom	51, 103
Max RTP packet size	110
mDNS	115
Memory	87
Mode	88, 93, 106, 107
Model no.	81, 124
Monitor	64
MPEG2-TS over UDP	94
Multicast address	91, 92
Multicast address(IPv4)	95
Multicast port	91, 92
Multicast Port	95
Multicast Transmit	95
Multicast TTL/HOPLimit	91, 92, 95

N

Name	96
NDI HX V2	95
Network	108
No.	123
NTP	87, 112
NTP port	112
NTP server address	112
NTP server address setting	112

O

O.I.S. Mode	52, 103
Operation	63
Operation time	123, 124
OSD Menu	75
OSD Mix	56, 85
OSD Off With R-Tally	56, 85
OSD Status	56, 85
OSS license display	124
Other Menu	75
Output	43, 54, 55, 56, 57, 82, 83
Output1	57, 85
Output2	57, 85

P

Pan	132
Pan/Tilt	43, 57, 64, 82, 86
Pan/Tilt Lens Control	105
Passphrase	94
Password	106, 107, 114, 116
PC Synchronization	87
PC画面切り替えボタン	78, 130
PEAP	116
Phase	50, 51, 102

Picture	44, 46, 47, 48, 100
Picture Level	44, 98
Plain text usage	116
Plugin Power	55, 96, 97
Power Line Frequency (Anti Flicker)	131
Power ON	76
Power On Position	58, 86
Preset	43, 58, 59, 77, 104
Preset Digital Extender	59, 105
Preset Iris	59, 105
Preset Name	59, 105
Preset Number	58, 86
Preset position	104
Preset Scope	58, 105
Preset Setting	105
Preset Shutter	59, 106
Preset Speed	58, 105
Preset Speed Table	58, 105
Preset Speed Unit	58, 105
Preset Thumbnail Update	59, 105
Preset Zoom Mode	59, 106
Presetサムネール一覧表示ボタン	78
Primary server address	109
Privacy Mode	57, 86
Private Key password	116
Private Key password usage	116
Product info.	124
Profile type	90
Protocol	95
P/T Speed Mode	57, 82, 86
P/T Speed/Zoom切り替えボタン	130
P/T Speed/Zoom操作エリア	130
PTZ/Focus切り替えボタン	130
PTZ/Focus操作エリア	130
Push UDP	95

R

R	56, 85
Reboot	125
Recommended Cloud Server Platform Setting	106
Recommended network setting for internet	111
Referrer check	115
Refresh interval	89
Reset to the default (Except the network settings)	125
Retype password	107
R Gain	46, 100
Roll	132
Router global address	111
RS-422端子	15
RTMP	93
RTSP	114
RTSP port	114
RTSP request URL	114

S

Saturation	50, 51, 102, 131
Scene	44, 78, 97
Scene1	62
Scene2	62
Scene3	62
Scene All	62
Scene Copy	60, 62, 97
Secondary server address	109
Self-signed Certificate	
Generate	113, 118
Information	113
Serial no.	124
Server address(IPv4)	96
Server setup	93
Server URL	93
Servo	60, 124

Set Execute	61
Setting status	81, 88, 96, 106, 107, 111
Setup	73, 80
Sharpness	131
Shutter	78
Shutter Mode	45, 98
Skin Detail	47, 101
Skin Detail Effect	47, 101
Smoother live video display on the browser(buffering)	87
SNMP	114
Source name	95
Speed	77
Speed With Zoom Position	57, 82, 86, 105
Spotlight COMP.	46, 99
SRT	93
SRT/MPEG2-TS/RTMP	78
Standby	76
Status Lamp	57, 85
Step/Synchro	45, 98
Stream	75, 89
Stream ID	94
Streaming format	93, 94, 95, 96
Streaming mode	81, 88
Stream key	93
Stream Menu	75
Subnet(IPv4)	96
Subnet mask	109
Subnet Mask	61
Super Gain	45, 99
Synchronization with NTP	112
System	43, 52, 53, 82
System Format	81
System Frequency	81
System log	123
System name	115
System status	82
System Version	60

T

Tally	56, 85
Tally Brightness	56, 85
Tally Color	56, 85
Tally LED Limit	56, 85
Target Marker	53
Temperature	64
Tilt	132
Time adjustment interval	112
Timecode Overlay	89
Time Zone	87
TLS	116
TLS User name	116
To	62, 97
Tone	55, 85
Top Menu	43
Tracking Auto Start	53
Tracking Start	53
Tracking Status	53
Tracking Stop	53
Transmission priority	90
Transmission type	91, 92, 94
TSL5.0	115
TSL5.0 Port	115
TTL/HOP Limit	94, 96

U

Unicast address(IPv4)	94
Unicast Port	94
Unicast port(Audio)	91, 92
Unicast port(Image)	91, 92
Upload	126
UPnP	112

URL	93
URL type	93
USB	52, 82, 83
USB Auto Active	52, 82, 83
USB Auto Standby	52, 82, 83
USB Mode	52
USB 端子	16
Use discovery server	96
User auth.	106
User ID	106
User mng.	106
User name	107, 114, 116

V

VAR	39
V Detail Level	47, 101
Video Conference Mode	52, 82, 83
Video over IP	88
Video Proc Amp	131
Video Sampling	64
Viewer software installation counter	124
Volume Level CH1	55, 96, 97
Volume Level CH2	55, 96, 97

W

Wait time mode	107
WB	78
Webカメラ機能	131
Web 画面	71
White Balance	131
White Balance Mode	46, 100
White Clip	48, 101
White Clip Level	48, 101
Wireless Control	52, 82, 83
Wireless ID	24, 52, 83

Z

Zoom	77, 132
Zoom Mode	51, 103

あ

アイリス	36
------------	----

お

音声入力端子	16
--------------	----

か

各映像フォーマットの出力条件	17
拡張パネル表示ボタン	74
カメラ台座部固定用穴	14
カメラタイトル表示部	78
カメラ取り付け用ねじ穴	16
カメラヘッド部	14
カメラメニュー	43, 65

く

黒レベル	41
------------	----

け

ゲイン	36
ケーブル抜け止めクランプ	15

こ

コントロールパッド/ボタン	77
---------------------	----

さ

サービススイッチ	15
撮影	28, 33
撮影モード	31

し

シーンファイル	31
自動追尾式ホワイト調整	39
シャッタースピード	36

周波数	53
状態表示ランプ	14
初期アカウント	26, 72
初期化	63

す

スナップショットボタン	78
-------------------	----

せ

セーフモード	135
セキュリティ証明書	121
接地	6
接地端子	16
設置面用取付金具	14
設定	42
全画面表示ボタン	78

そ

操作画面表示ボタン	74
-----------------	----

た

タッチパネル用 Image adjust 操作エリア	128
タッチパネル用 Image Adjust 操作画面表示ボタン	127
タッチパネル用 Preset 操作エリア	128
タッチパネル用 Preset 操作画面表示ボタン	127
タッチパネル用 PTZ 操作エリア	127
タッチパネル用 PTZ 操作画面表示ボタン	127
タッチパネル用 SRT/MPEG2-TS/RTMP 操作エリア	127
タッチパネル用スナップショットボタン	127
タッチパネル用操作画面からの復帰ボタン	127
タッチパネル用操作画面の切り替えボタン	127
タリーランプ	14

て

電源	29
----------	----

は

バンヘッド部	14
--------------	----

ひ

表示用プラグインソフトウェア	27
----------------------	----

ふ

フォーカス	36
フォーマット	54
付属品	10
ブラックバランス	40
プリセットサムネール操作エリア	130
プリセットメモリー	37

へ

別売品	10
-----------	----

ほ

ホワイトバランス	38
----------------	----

ま

マスターベデスタル	41
マニュアル撮影	36

め

メインエリア	76
--------------	----

ら

ライブ画面用操作メニュー表示ボタン	130
落下防止ワイヤー	14

り

リアルタイム更新切替ボタン	78
リミッター	133, 134
リモコンID	24

わ

ワイヤレスリモコン	13, 22, 24
ワイヤレスリモコン信号受光部	14

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dashed lines.

